

# SHIZUOKA

# J • O • U • R • N • A • L

## Vol.33 No.3 2024 (通巻219号)

### 目 次

巻頭言	「私のちっちゃな危機察知能力」 組織理事(中部)中村 英明 ……	1
告知	2024年度静岡県放射線技師会会費納入について ……	2
会告	第13回 公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会の開催について(5/26) ……	3
	第28回 静岡県放射線技師学術大会開催について(5/26) ……	4
	第28回 静岡県放射線技師学術大会プログラム(5/26) ……	5
	第53回 放射線技師のためのセミナー(7/13) ……	8
報告	第3、4回診療放射線技師法改正に伴う告示研修(実技研修)(10/14~15) ……	9
	第57回アンギオ部会研修会(10/21) ……	11
	令和5年度原子力緊急時災害対策研修会(11/18) ……	12
	第5、6回診療放射線技師法改正に伴う告示研修(実技研修)(11/18~19) ……	13
	秋季公開講演会(11/23) ……	15
	第15回中部放射線医療技術学術大会(福井県)(11/25~26) ……	16
	第17回医療安全セミナー(12/9) ……	18
	第7、8回診療放射線技師法改正に伴う告示研修(実技研修)(12/16~17) ……	23
	新春公開講演会、アール祭(1/13) ……	25
	令和5年度 診療放射線技師基礎技術コース 乳房撮影(1/21) ……	27
	第52回放射線技師のためのセミナー(1/27) ……	28
	第8回ワークライフバランス検討委員会研修会(1/27) ……	29
	第64回東海四県診療放射線技師学術大会(愛知県)(2/4) ……	30
	第9、10回診療放射線技師法改正に伴う告示研修(実技研修)(2/17~18) ……	32
学術論文	第57回アンギオ部会研修会(10/21) ……	34
連載企画	突撃!!となりの放射線科 ……	36
メッセージボード	……	41
本会の歩み	……	46
会員動静	……	50
本会への寄贈図書	……	51
議事録	令和5年度 第3回理事会議事録(12/16) ……	52
	令和5年度 第4回理事会議事録(2/17) ……	67
令和6年度静岡県放射線技師会事業計画(案)	……	81
行事予定カレンダー	……	82



## 『私のちっちな危機察知能力の話』

(公社) 静岡県放射線技師会 組織理事 (中部) 中村 英明



みなさんの施設の男性育児休暇の取得はどのような状況でしょうか？私の施設でも子育て世代の職員が何人かいて、一部の男性職員が育児休暇の取得を検討している状況です。これまでの実績は10日間程度の取得にとどまっています。きっと満足できるほどではないのかも知れませんが、職場の台所事情を感じ取りながら取得してくれているのだと思います。数年前のことですが、職場での雑談の中で「男が育休をとって何かすることある？毎日、家にいて嫌がられない？嫁さんも毎日旦那がいたら面倒でしょう？」などとまさに時代錯誤な発言をしてしまったことがありました。我が子は今や成人し、手がかからなくなっていますが我が子の誕生、幼少期はその当時としてはそれなりに子育てを満喫し、ほぼすべてのイベントにも皆勤賞で参加してきました。当時の私の上司や職場は、それに対して（快くかどうかは知らないが）ちゃんと協力してくれました。それなのに自分が上司となった時にそのような発言をしてしまったのです。当然その場は凍り付き若い職員からは白い眼を向けられました。私のちっちな危機察知能力はその場の雰囲気を感じ取り、体裁を整えましたが、信頼を確実に失いました。家に帰り家内にそのことを話すと、呆れられる始末でした。もう少し危機察知能力があれば発言する前に止められたのかも知れませんが…。

運動不足を解消するため、近くの草薙運動場でランニングをしています。走るタイミングによっては「あっ、この人いつも走っているな」と思うことがあります。たまたま女性の後をつけて走るようなシチュエーションになることがあり、なぜか自分の走るコースと

同じになるのです。その女性からしてみればちょっと薄暗い夕方、息をハアハアさせたおじさんがあとをつけてくる（こんな恐ろしい状況はない）。自分としては、一気に前のランナーを追い抜きたいところですが、もうそんな余力は残っていないのです。「キヤー変なおじさんがあとをつけてくる」などと叫ばれたら、私の社会的信頼はなくなる。家族は悲しむ。私はここで危機察知能力を発揮し、コースを変えて違うコースを選択します。満員電車で両手をあげてつり革を持つと同じ思考です。同じような思考から、女性が一人で乗っているエレベーターに駆け込み乗車しない。エスカレーターでスマホを使用しない。スイミングで隣同士並んで泳ぐような状況になった時、並列にならないようにする、息継ぎの向きを反対側にする。おじさんには生きづらい社会なのです（^^;）。

みなさんの施設では、院内スマホや個人スマホをポケットに入れたまま患者様の撮影にあたっていることはありませんか？私の施設ではありうる状況です。最近の報道で男性保育士が園児のわいせつ画像をスマホに残していたというニュースを聞き、私の危機察知能力が思いついたのは、我々がスマホを持っているだけで大半の方はそうではないにしろ、きっとこうした観点から不審を抱く方がいるのではないかということです。我々にあらぬ疑いをかけられないためにも、自己防衛、組織防衛の観点から撮影室内にスマホの持ち込みを制限することを検討した方が良いのではないかと考えています。

ちょっと考えすぎな私のちっちな危機察知能力、きっと役に立つときもあるでしょう。

# 告 知

## 『2024年度静岡県放射線技師会会費納入について』

公益社団法人静岡県放射線技師会 会員登録規定一部改訂に伴い、2024年度の会費納入金額を以下のようにする。

### 【内 容】

- (1) 会費額は、年間8000円とする。
- (2) 診療放射線技師籍登録初年度内の入会者に限り、初年度会費額5000円とする。
- (3) 本会会員のうち、当該年数に65歳に達する者は、会費額を年間4000円とする。
- (4) 本会会員のうち、当該年数に70歳に達する者で、  
本会の35年勤続表彰を受けた者または日本放射線技師会に35年以上加入している者は翌年度以降の会費は終身にわたって免除される。

2024年度の該当生年月日は

該当年度に65歳に達する者→生年月日1955年4月1日～1960年3月31日の会員

該当年度に70歳に達する者→生年月日1955年3月31日以前の会員

# 会 告

## 『第13回公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会の開催について』

令和6年3月1日  
公益社団法人 静岡県放射線技師会  
会長 高橋 真

第13回公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会を、定款第14条第1項に基づき下記のとおり開催いたします。

### 記

【日 時】 令和6年5月26日（日） 9：30～10：30

【場 所】 富士市交流プラザ 多目的ホール  
〒416-0915 富士市富士町20番1号 Tel：0545-65-5523  
\*JR東海道本線富士駅から徒歩6分

【参加費】 無料

【次 第】 1. 開会の辞  
2. 会長挨拶  
3. 表 彰  
4. 報 告

令和5年度事業報告及び同附属明細書報告

令和5年度監査報告

5. 議長団選出

6. 議 案

第1号議案 令和5年度計算書類等一式承認の件

第2号議案 令和6、7年度 理事・監事候補者承認の件

第3号議案 その他

7. 議長団解任

8. 閉会の儀

\*第28回静岡県放射線技師学術大会と同時開催です

\*議案集・学術大会予稿集は後日送付いたします

# 会 告

## 第28回 静岡県放射線技師学会の開催について

第28回静岡県放射線技師学会を下記の通り開催します。

会員研究発表31演題、ランチョンセミナーおよび公開講演と充実した内容にて行います。  
多数の会員の皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

【日 時】 令和6年5月26日（日）

【開催方式】 Hybrid方式（現地開催+ZOOM Webinarを用いたWEB配信方式）

【会 場】 富士市交流プラザ 多目的ホール

〒416-0915 静岡県富士市富士町20番1号 TEL：0545-65-5523

【内 容】

9：00～	受付		
9：30～10：30	第13回公益社団法人静岡県放射線技師会通常総会		
10：40～	第28回静岡県放射線技師学会		
10：40～12：00	会員研究発表 午前の部		
	セッションⅠ 放射線管理・情報管理・その他	7 題	
	セッションⅡ 放射線治療	3 題	
12：10～13：00	ランチョンセミナー		
	『Latest GECT technologys』		
	GEヘルスケア・ジャパン株式会社 Imaging本部 CT部		
		平本 卓也 先生	
	『フォトンカウンティングCT』		
	シーメンスヘルスケア株式会社		
			未 定
13：10～14：10	公開講演		
	『認知症とは？』		
	総合病院聖隷三方原病院 認知症疾患医療センター		
		センター長 磯貝 聡 先生	
14：20～15：32	会員研究発表 午後の部Ⅰ		
	セッションⅢ X線TV・血管撮影	4 題	
	セッションⅣ X線撮影	5 題	
15：45～17：21	会員研究発表 午後の部Ⅱ		
	セッションⅤ MRI・RI	6 題	
	セッションⅥ X線CT	6 題	
17：21～	閉会の辞		

【参加費】 正会員 1,000円

非会員 3,000円

賛助会員 1,000円

学 生 無 料

※技師会員はIDカードをご持参ください。

# 第28回静岡県放射線技師学術大会 プログラム

研究発表 午前の部

10:40~12:00

セッション I	放射線管理・情報管理・その他	10:40~11:36
座長	静岡市立静岡病院 放射線技術科 聖隷沼津病院 放射線課	千葉 和宏 勝浦 拓也

- 1、当院における放射線防護衣の管理方法について  
中東遠総合医療センター 診療放射線室 坂本 里織
- 2、当院における診断用X線防護衣の管理方法の改善  
静岡県立総合病院 放射線技術室 阿部 慎也
- 3、一般撮影の線量管理としてMPPSとRDSRの比較検討  
静岡県立総合病院 放射線技術室 澤口 文哉
- 4、自作霧箱による至適作製条件の検討  
静岡県立総合病院 放射線技術室 鈴木 萌
- 5、小児股関節撮影における生殖腺防護の廃止に向けての線量評価  
浜松医療センター 診療放射線技術科 有本 旭宏
- 6、Deep Learning解析のための環境構築  
静岡県立総合病院 放射線技術室 福田 翔吾
- 7、PTPシート誤飲時CT画像の見落としを減らす為の対策  
国際医療福祉大学熱海病院 放射線室 森田 祐介

セッション II	放射線治療	11:36~12:00
座長	静岡県立静岡がんセンター 放射線・陽子線治療室	古宮 泰三

- 8、IGBT導入にむけての環境整備  
静岡県立総合病院 放射線技術室 佐野ゆき乃
- 9、外部放射線治療装置から生じた放射化物の廃棄作業経験  
浜松医科大学医学部附属病院 放射線部 高松 達朗
- 10、当院IGRTにおけるCBCTの線量管理  
藤枝市立総合病院 放射線科 佐藤恵梨子

ランチョンセミナー

12:10~13:00

座長 岡村記念病院 放射線科 清水 賢介

テーマ：CT装置の最新技術

『Latest GECT technologies』

GEヘルスケア・ジャパン株式会社 Imaging本部 CT部 平本 卓也

『フォトンカウンティングCT』（仮）

シーメンスヘルスケア株式会社 未定

公開講演

13:10~14:10

座長 富士市立中央病院 中央放射線科 増田 裕司

『認知症とは?』

総合病院聖隷三方原病院 認知症疾患医療センター

センター長 磯貝 聡 先生

研究発表 午後の部 I

14:20~15:32

セッションⅢ X線TV・血管撮影

14:20~14:52

座長 富士宮市立病院 中央放射線科 酒井 洋和

- 11、TV装置導入におけるI-FLUOROの有用性の評価  
聖隷浜松病院 放射線部 森脇 未咲
- 12、X線透視装置における線量表示値検証の変動因子の評価および測定方法 確立の検討  
浜松医療センター 診療放射線技術科 小杉香奈美
- 13、移動型Cアーム透視装置における椎体撮影プロトコルの検討  
静岡県立総合病院 放射線技術室 深津 宏太
- 14、頭蓋内静脈3DRA撮影法の検討  
浜松労災病院 中央放射線部 山本 裕之

セッションⅣ X線撮影

14:52~15:32

座長 有隣厚生会富士病院 放射線科 上棚 稔之

- 15、デジタルブレストトモシンセシスを用いた横刺しステレオガイド下マンモトーム生検におけるスパーサーの検討  
順天堂大学医学部附属静岡病院 放射線室 廣瀬 知世
- 16、マンモグラフィにおける再撮影の検討  
聖隷予防検診センター 放射線課 豊田 真咲
- 17、ローゼンバーグ撮影における補助具使用の有用性について  
聖隷沼津病院 放射線課 鈴木 奏
- 18、人工股関節および髄内釘挿入患者における股関節正面XP撮影の再撮低下への取り組み  
国際医療福祉大学熱海病院 放射線室 井原 夢菜
- 19、陽極の違いによる撮影条件と画像に対する影響について  
静岡県立総合病院 放射線技術室 中島 幹太

セッションⅤ MRI・RI	15 : 45 ~ 16 : 33
座長 医療福祉大学熱海病院 放射線室 杉山 正樹	

- 20、MRgFUS (MRガイド下集束超音波療法) 使用経験  
豊田えいせい病院 放射線科 乗松 美月
- 21、SMS-DWIにおける展開精度の検証  
静岡県立総合病院 放射線技術室 荻島 諒也
- 22、肝臓Dynamic検査における4 D-Free Breathingの使用経験  
島田市立総合医療センター 放射線科 池田 安澄
- 23、99mTc-TFにおける心筋集積増加率の正常値の検討  
聖隷浜松病院 放射線部 柘植 新輔
- 24、Symbia Pro.spectaにおける仮想Static画像の基礎検討  
静岡県立こども病院 放射線技術室 村松 涼平
- 25、半導体検出器PET/CT装置における頭部FDG-PET検査の撮像条件について  
静岡県立総合病院 放射線技術室 孕石 圭

セッションⅥ X線CT	16 : 33 ~ 17 : 21
座長 沼津市立病院 放射線科 岡藤 康明	

- 26、64列MDCTによる冠動脈CTにおけるTest Injection法による撮影タイミングの検討  
高伸循環器クリニック 長屋 重幸
- 27、Dual Energy CTにおける腰椎物質密度カラー画像のウィンドウレベルとウィンドウ幅の最適化に関する研究  
浜松医療センター 診療放射線技術科 渡辺恵太郎
- 28、当院のCT検査における造影剤副作用発生時の診療放射線技師の対応  
順天堂大学医学部附属静岡病院 放射線室 柏葉 大河
- 29、当院の頭部CT検査における被ばく低減の試み  
静岡医療センター 中央放射線室 松浦 大介
- 30、迅速なCT撮影が必要な場合の画像再構成法の検討  
富士市立中央病院 中央放射線科 塩崎 博人
- 31、寝台辺縁部上肢CT撮影における寝台横移動機能が被ばく線量と画質に及ぼす影響  
順天堂大学医学部附属静岡病院 放射線室 黒坂 勇貴

# 会 告

## 『第53回放射線技師のためのセミナー』開催のご案内

今回のテーマは「放射線取扱主任者業務と放射線MS（放射線被ばく管理に関するマネジメントシステム）」です。令和5年にRI法施行規則の一部改正があり、予防規定の改定等、苦勞された施設が多かったと思います。その過程の中で、施設間での主任者同士のネットワークの構築が必要であることが分かり、管理士部会がその一助になればと思い、今回のセミナーを企画致しました。また、普段放射線管理に従事していない技師も放射線管理について知る・考える機会になればと考えています。本セミナーは皆様の情報交換・情報共有の場といたく、**会場型開催およびWEB配信のHybrid型**で開催致します。

皆様の御参加をお待ちしております。

### 記

- 【日 時】 令和6年7月13日（土） 13時30分～17時15分  
【会 場】 静岡市立静岡病院 西館12階講堂（静岡市葵区追手町10番93号）  
および ZOOM Network Meeting（WEB配信）  
【参加費】 会員・非会員：500円（事前オンライン決済）  
【申込方法】 静岡県放射線技師会ホームページ 「セミナーの参加申込フォーム」  
もしくは右のQRコードよりお申し込みください



### 【内 容】

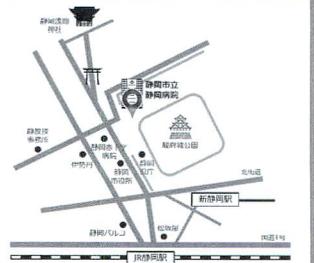
- 13：35～14：35 企業講演 「RI法改正の概要と情報提供」  
長瀬ランダウア株式会社
- 14：40～15：50 会員発表  
「主任者業務の紹介」  
順天堂大学医学部附属静岡病院 小野 直人 会員  
「予防規定改定の経験」  
藤枝市立総合病院 河井 淑裕 会員  
「放射線MSの取り組み」  
聖隷三方原病院 鈴木 千晶 会員
- 16：00～17：10 特別講演 「放射線被ばく管理に関するマネジメントシステム（放射線MS）の紹介と今後の展望」（仮）  
帝京大学 医療技術学部 診療放射線学科 教授  
公益社団法人 日本診療放射線技師会 副会長 富田 博信 先生

セミナー受講者には、  
日本診療放射線技師会  
学術研修カウントが付与されます

### 会場のご案内

静岡市立静岡病院  
西館12階講堂  
（静岡市葵区追手町10番93号）

公共交通機関をご利用ください  
（病院駐車場は有料です）  
● JR静岡駅（北口）徒歩15分  
● 静岡鉄道新静岡駅徒歩10分



主催：公益社団法人 静岡県放射線技師会 管理士部会

# 令和5年度第3、4回告示研修（実技研修） 報告

令和5年10月14日15日  
静岡医療科学専門学校

令和5年度第3、4回告示研修（実技研修）を令和5年10月14日15日の2日間にわたり、静岡医療科学専門学校にて開催しました。

令和3年7月9日医政発0709第7号「臨床検査技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令等の公布について」が厚生労働省医政局長より発出され、診療放射線技師の業務範囲の見直し等が行われました。具体的には①静脈路に造影剤注入装置を接続する際に静脈路を確保する行為、②動脈路に造影剤注入装置を接続する行為（動脈路確保のためのものを除く。）及び造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為、③下部消化管検査のために肛門に挿入したカテーテルから注入した造影剤及び空気を吸引する行為、④上部消化管検査のために鼻腔に挿入されたカテーテルから造影剤を注入する行為及び当該造影剤の注入が終了した後に当該カテーテルを抜去する行為、⑤核医学検査のために静脈路に放射性医薬品を投与するための装置を接続する行為、当該放射性医薬品を投与するために当該装置を操作する行為並びに当該放射性医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為です。以上の業務を行うための絶対条件として、医療の安全を担保することが求められています。そのため、日本診療放射線技師会が主催し各県で業務追加に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とした研修を基礎講習の修了者を対象に実施しました。受講者数は7月22日が46名、7月23日は46名でした。

午前中は動画視聴を行いました。1. 造影剤を使用した検査や核医学検査のために、静脈路を確保する行為、放射性医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為を30分。2. 核医学検査

のために、放射性医薬品を注入するための装置を接続し、装置を操作する行為を40分。3. 動脈路に造影剤注入装置を接続する行為、動脈に造影剤を投与するために造影剤注入装置を操作する行為を60分、4. 下部消化管検査（CTコロノグラフィ検査を含む。）のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為を45分。5. 上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為を20分行いました。

午後からはシミュレーター、実習機材等を用いた静脈実技、動脈実技、上部下部消化管実技、核医学及び静脈（CT）実技の実習に入りました。医師1名、看護師1名、ファシリテータ6名のもと、受講生を6チーム（A～F）に分割し、2名1組として1チーム8名4組で実技研修を受講していただきました。

静脈実技では8ブースを準備して看護師とファシリテータが講師となり、1ブース2名1組で穿刺役、患者役をそれぞれが担いました。その都度、講師からチェックが入りその場で指導を受けており、シミュレーション通りに終えないので刺激がある実習になりました。

動脈実技では4ブースを準備して医師とファシリテータが講師となり、1ブース4名2組で清潔役、補助役をそれぞれが担い、ガウンテクニック、造影剤注入装置に接続する行為について、講師からのデモンストレーション後に順次手順に沿って各人が実習を行いました。

上部下部消化管実習では、各4ブース準備をしてファシリテータが講師となり、1ブース2名1組で行いました。下部消化管は肛門からカテーテ

ルを挿入、造影剤及び空気を吸入する行為の実習を、上部消化管では鼻腔カテーテルより造影剤を注入する、抜去する行為の実習をシミュレーターを使用して行いました。

RI実技及び静脈（CT実技）では、各4ブースを準備してファシリテータが講師となり、1ブース2名1組で行いました。造影検査手技の操作手順、核医学検査の操作手順の実技を講師よりその都度指導を受けながら行っていました。

告示研修は厚生労働大臣が指定する研修であり、令和6年4月1日前に診療放射線技師の免許を受けた者は、追加された行為を行う際はあらかじめ受講が義務付けられています。

追加された行為を診療放射線技師が実施するか否かはそれぞれの施設の考え方によります。いつ何時、実施するように依頼されても良いように準備しておくことがこの研修会に参加する意義だと思えます。この研修会をベースに、更に各施設において教育、研修を行い安全、安心な医療を提供するようにお願いしたいと思います。

生涯教育委員 曾我 隆正

# 第57回 静岡県放射線技師会 アンギオ部会研修会

令和5年10月21日(土)  
WEB開催

令和5年10月21日(土)に、第57回静岡県放射線技師会アンギオ部会研修会をWEB型にて開催いたしました。

今回の研修会は「アンギオの最新のトピックス」をテーマとして企画し、2社のメーカー様より情報提供、会員発表を3演題、特別講演を1講演、演者に発表を賜りました。

まず共催メーカーでありますバイエル薬品株式会社様よりマルチユースインジェクター(Medrad社製Centargo CT Injection System)について情報提供をいただきました。

GE HealthCare Japan様からは「インターベンションを支援する最新アプリケーションのご紹介」という内容で情報提供をいただきました。CT、MRI、Angiographyと「All in one」のGE様ならではのマルチモダリティワークステーションの様々な機能をご紹介いただきました。

会員発表では、静岡県立総合病院の近藤 大祐会員、聖隷浜松病院の信岡 由実子会員、岡村記念病院の田代 幸大会員に「アンギオの最新のトピックス」をテーマとして発表を賜りました。近藤会員からは頭蓋内ステント(フローダイバーターステント)の撮影条件・画像再構成方法について症例を提示いただきながら発表をしていただきました。フローダイバーターステントを使用する施設も多くなった今、各施設大変参考になるデータをご紹介いただきました。信岡会員からは、カテ室での新たな取り組みと、新デバイスSHOCKWAVEを使用した血管内破碎術(IVL)を紹介いただきました。石灰化病変に対する新たな治療法について貴重な使用経験をお話ししていただきました。田代会員からは、FFRangioシステムについてご紹介いただきました。実際に使用する際の流れを臨床での経験を基に説明していた

だき、人工知能と高度なアルゴリズムを組み合わせた信頼性の高いFFRangioシステムに聞き入れる参加者も多かったのではないのでしょうか。

特別講演では、浜松医療センター 循環器内科 新井 淳司先生より「EVTについて」ご講演賜りました。EVT:抹消血管治療と言っても様々な部位に対する治療がこれに当てはまりますが、下肢・上肢・頸動脈・透析シャントと、先生の豊富な経験を基に様々なEVTについてわかりやすく説明していただきました。下肢閉塞性動脈硬化症治療において、ご紹介いただいた「IVUSを先行するKnuckle法」は、①先端が鈍な形状IVUSを用いることで安全に施行できること②血管内超音波で血管内の通過部位を確認できる といった利点があり、EVTにおけるテクニックとして非常に勉強になりました。先生が最後に技師への期待の言葉としてもおっしゃっていましたが、高度なテクニックを勉強することも重要ですが、透視を無駄に出させないために視野を絞るなど、技師として基本的なことを徹底してやるべきことも重要だと改めて感じました。

今回は「アンギオの最新のトピックス」をテーマとして会員からの発表と、EVTなど循環器領域の最前線で治療をされている新井先生から講演を賜りました。日々進化をしているデバイスや治療技術に放射線技師が置いてかれぬように、アンギオ部会としては今後も有意義な研修会を企画していきたい所存です。

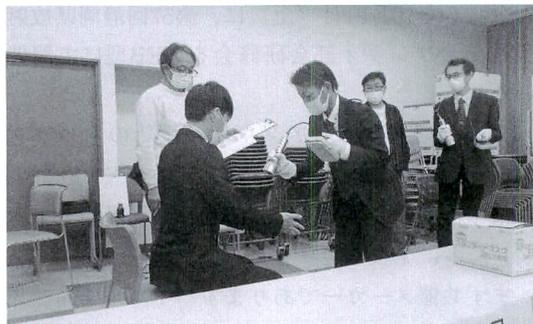
最後にWEBにて参加いただいた会員の皆様、快く発表をお引き受けいただいた会員の皆様、貴重な講演を賜りました新井先生、ご協力いただいたメーカーの皆様、この場を借りまして心より御礼申し上げます。

アンギオ部会/萩原 雄三

# 令和5年度 原子力緊急時災害対策研修会 報告

令和5年11月18日(土)  
静岡市立静岡病院

令和5年11月18日(土)に、静岡市立静岡病院にて、令和5年度原子力緊急時災害対策研修会を災害対策委員会、企画調査委員会、管理士部会合同で開催した。今回の研修会では、原子力発電所における原子力災害時に放出される放射性物質、防護措置実施基準(運用上の介入レベル基準OIL)について住民検査に必要な知識の講演とGM管取り扱いと緊急被ばく汚染スクリーナー養成を目指した実習等を行い、原子力災害対応についての理解を深め実習では昨年度静岡県原子力防災訓練で実施された実演が36名の参加で行われた。講義では講師 中部電力(株)原子力本部原子力部防災・核物質防護グループ 可児 和広 課長による「原子力発電所原子力災害時の放射性物質とは」「原子力災害での避難退域時検査要員任務」と題し原子力発電所の原理から放出される放射線物質、浜岡原子力発電所と同様のタイプの福島第1原子力発電所で起こった災害の経緯から災害時に放出された核種、地震・津波時の電力供給への対策、静岡県の住民避難計画での避難経路、検査場所の想定、一週間以内に退避するために日夜検査員が必要な事、検査要員の服装がタイバックスーツから使い捨てのビニルガウンに変更になっ



ていることなどを講演頂いた。避難退域時検査(スクリーニング検査)時には、指定箇所検査(頭部・顔面、手指及び掌、靴底)があり、放射性物質が衣服や体の表面に付いているかどうかを調べ、そこで指定のカウント以上があった対象は簡易検査でその範囲を確定し除染を行って再度除染後の簡易検査を実施し、避難退域時検査証が発行されることなど検査の流れを説明いただいた。

実習では管理士部会が主体となり、住民検査時にサーベイするGM計数管の取り扱い、セグメント法でのスクリーニング方法を講義し、県内の原子力災害対策のサーベイだけでなく他県へ協力で出向いた各自治体の消防士などの被災地救援活動から帰還した際、車両・隊員のサーベイの可能性もあると結んだ。実技では参加者全員がサーベイを体験し、3分で検査を終える技術を習得した。

実技では実際の県防災の経験から指定箇所検査、簡易検査のスクリーニングと記録係として実際使用した用紙を配布して汚染箇所への記載の方法を学んだ。国の原子力災害指針、静岡県の指針は改正を繰り返しより実践的なものへと変化しています。新しい指針を学ぶ事とともに原子力災害への協力・理解が深まった研修会であった。

災害対策委員長 牛場 克明



# 令和5年度第5、6回告示研修（実技研修） 報告

令和5年11月18日19日  
富士宮市立病院

令和5年度第5、6回告示研修（実技研修）を令和5年11月18日19日の2日間にわたり、富士宮市立病院にて開催しました。

令和3年7月9日医政発0709第7号「臨床検査技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令等の公布について」が厚生労働省医政局長より発出され、診療放射線技師の業務範囲の見直し等が行われました。具体的には①静脈路に造影剤注入装置を接続する際に静脈路を確保する行為、②動脈路に造影剤注入装置を接続する行為（動脈路確保のためのものを除く。）及び造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為、③下部消化管検査のために肛門に挿入したカテーテルから注入した造影剤及び空気を吸引する行為、④上部消化管検査のために鼻腔に挿入されたカテーテルから造影剤を注入する行為及び当該造影剤の注入が終了した後に当該カテーテルを抜去する行為、⑤核医学検査のために静脈路に放射性医薬品を投与するための装置を接続する行為、当該放射性医薬品を投与するために当該装置を操作する行為並びに当該放射性医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為です。以上の業務を行うための絶対条件として、医療の安全を担保することが求められています。そのため、日本診療放射線技師会が主催し各県で業務追加に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とした研修を基礎講習の修了者を対象に実施しました。受講者数は11月18日が46名、11月19日は45名でした。

午前中は動画視聴を行いました。1. 造影剤を使用した検査や核医学検査のために、静脈路を確保する行為、放射性医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為を30分。2. 核医学検査

のために、放射性医薬品を注入するための装置を接続し、装置を操作する行為を40分。3. 動脈路に造影剤注入装置を接続する行為、動脈に造影剤を投与するために造影剤注入装置を操作する行為を60分、4. 下部消化管検査（CTコロノグラフィ検査を含む。）のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為を45分。5. 上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為を20分行いました。

午後からはシミュレーター、実習機材等を用いた静脈実技、動脈実技、上部下部消化管実技、核医学及び静脈（CT）実技の実習に入りました。ファシリテータ8名のもと、受講生を6チーム（A～F）に分割し、2名1組として1チーム8名4組で実技研修を受講していただきました。

静脈実技では8ブースを準備してファシリテータ2名が講師となり、1ブース2名1組で穿刺役、患者役をそれぞれが担いました。その都度、講師からチェックが入りその場で指導を受けており、シミュレーション通りに終えないので刺激がある実習になりました。

動脈実技では4ブースを準備してファシリテータ4名が講師となり、1ブース4名2組で清潔役、補助役をそれぞれが担い、ガウンテクニック、造影剤注入装置に接続する行為について、講師からのデモンストレーション後に順次手順に沿って各人が実習を行いました。

上部下部消化管実習では、各4ブース準備をしてファシリテータ2名が講師となり、1ブース2名1組で行いました。下部消化管は肛門からカテーテルを挿入、造影剤及び空気を吸入する行為

の実習を、上部消化管では鼻腔カテーテルより造影剤を注入する、抜去する行為の実習をシミュレーターを使用して行いました。

RI実技及び静脈（CT実技）では、各4ブースを準備してファシリテータ2名が講師となり、1ブース2名1組で行いました。造影検査手技の操作手順、核医学検査の操作手順の実技を講師よりその都度指導を受けながら行っていきました。

告示研修は厚生労働大臣が指定する研修であり、令和6年4月1日前に診療放射線技師の免許を受けた者は、追加された行為を行う際はあらかじめ受講が義務付けられています。

追加された行為を診療放射線技師が実施するかどうかはそれぞれの施設の考え方によります。いつ何時、実施するように依頼されても良いように準備しておくことがこの研修会に参加する意義だと思います。この研修会をベースに、更に各施設において教育、研修を行い安全、安心な医療を提供するようにお願いしたいと思います。

生涯教育委員 曾我 隆正

# 令和5年度 静岡県放射線技師会 県民公開講座 秋季公開講演会

令和5年11月23日  
もくせい会館 第1会議室+WEB配信(Hybrid開催)

令和5年11月23日(祝・木)にもくせい会館にて会場・WEB配信(Hybrid開催)で、令和5年度県民公開講座 秋季公開講演会を開催いたしました。

秋季公開講演会は、例年がん検診の受診率向上を目指し、がん検診をテーマに県民向けに開催しております。

今回は乳がん検診に絞り、開催をいたしました。

参加者の会場参加は医師1名、会員16名、非会員1名、一般6名、学生2名 計26名。WEB参加は、会員37名、非会員15名、一般8名、学生3名 計63名 合計89名の方の参加を頂き開催することができました。

## 【内容】

### [学生発表]

『乳がん検診啓発に関する取り組み～SGE♡プロジェクトって何?～』 聖隷クリストファー大学

看護学部 看護学科 池田梨菜・大長みなみ様

### [患者発表]

『乳がんを経験して～患者の立場から～』 鶴田季子様

### [会員発表]

『乳がん検査のはなし～診療放射線技師の立場から～』

JA静岡厚生連 清水厚生病院 放射線科

望月有美会員

### [特別公演]

『乳がん検診 ミクロからマクロへの探求』

東京慈恵会医科大学 外科学講座

乳腺・内分泌外科

伏見 淳先生

### [パネルディスカッション]

会場、WEB参加者からの質問に対しての討論、意見交換

今回の公開講演会は、県民の皆様にごがん検診を積極的に受診していただくため、検診の必要性、新たな生活習慣として推奨されている『プレストアウェアネス』に関して理解を深めることを目的に開催いたしました。

伏見先生のご講演では、乳がんの特徴や、年々増加する罹患数、50～74歳の女性へのマンモグラフィ検診の死亡低減効果が証明されていること、課題としては、不利益となる過剰診断と偽陽性をいかに減らすか、また、受診率を上げるための啓発活動が非常に重要であることなどお話ししました。

学生発表では、看護学生の視点での啓発活動や、聖隷保健事業部の専門職、浜松市等の行政、登壇頂いた伏見先生が代表を務められている『BC Tube』等専門医とのコラボ活動などの報告。患者発表ではご自身の体験から感じたことなどを含めてお話ししました。乳がんにご罹患された方が、罹患していない方々と気楽に体験など共有できる場が必要で、身近な経験が啓発になり受診に繋がるということご意見は、とても印象に残る内容でした。診療放射線技師からは、マンモグラフィ、乳腺超音波検査の特徴などをわかりやすくお話ししました。

パネルディスカッションでは、会場とWEB参加者共に質問があり、今後の検診のあり方、啓発活動に関して意見交換を行うことができました。

各々異なった立場での活動内容、視点からのご意見から学ぶことが多く、とても有意義な講演会となりました。

乳がんはご自身の生活習慣にセルフチェックを取り入れることで早期発見に繋げることができるがんです。この講演会がきっかけとなり、20歳になったらプレストアウェアネスを始め、40歳になったら乳がん検診受診を一人でも多くの方が始めて頂けるとありがたいと思います。

研修会開催に関してご尽力いただいた登壇者の皆様、遠方よりご講演頂いた伏見先生、参加者の皆様ありがとうございました。

静岡県放射線技師会 聖隷予防検診センター 齋藤 忍



# 第15回中部放射線医療技術学術大会 報告

令和5年11月25日～11月26日  
AOSSA（福井駅東口再開発ビル）

第15回中部放射線医療技術学術大会が、令和5年11月25日（土）、11月26日（日）の両日、福井県福井市にあります「AOSSA」において開催されました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、一昨年は金沢にてオンラインでの開催、昨年は愛知県名古屋市で会場+オンデマンドでの開催となりました。今回も会場型での開催となりました。会場は多くの参加者で昨年に劣らない活気のある大会となりました。4会場に渡り、特別講演、特別企画、委員会報告、教育セミナー、ランチョンセミナーが開催され、一般演題数は120を超えるエントリーがありました。参加者は420名にのぼり、オンデマンドのみが40名で、初日の朝の受付前は大変盛況な状況でした。



開会式では、山崎大会長より福井での開催ができたことに対する関係者へのお礼とともに、今回の大会テーマであります「放射線技術の革新と展望」について、特別企画での技師教育およびタスクシフト、特別講演での最新画像診断装置について、シンポジウムでの人工知能（AI）テーマにも触れ、この大会に対する思いを語られておりました。

初日は、拡大会長会議、教育委員会への出席もあったことから、会場でのセッションへの参加はできませんでした。国政報告会での畦元 将吾衆議院議員のセッションに参加ができました。その中で日本診療放射線技師会とともに政策要望書を作成し、提出された内容について確認ができました。これはJART Vision2040にも通じる内容であり、われわれ診療放射線技師が進んでいく方向性を示している、との認識を持ちました。1.「報告書管理体制加算」の対象範囲拡大の要望、2.「医療用画像表示用ディスプレイの医療機器化と管理」の評価要望、3.「小児等への腹部骨盤部単純X線検査被ばく説明」の評価要望、4. 災害時における診療放射線技師の病院外活動についての要望、5. 診療放射線技師の定数配置基準の策定の要望、6. 在宅医療充実のための体制整備の要望、があげられていました。医師の働き方改革が



いよいよ来年度以降評価が始まる中、タスクシフト、タスクシェアはますます進んでいきます。診療放射線技師が今後、進まなければならない方向性は常にアンテナを高くして情報を収集しておきたいと考えます。

2日目は業務改善推進委員会シンポジウムを聴講いたしました。「タスクシフトを成功させる組織づくりのコツと事例紹介」ということで4施設の事例の紹介がありました。日々の業務をこなす中、タスクシフトに向けた取り組みを行うことは、計画作り、病院経営のトップが理解をしていただくことなど、大変な労力を投入して行われていることが良く理解できました。自施設で取り組みを行う際には、準備、計画、キーマンの設定などを、一人でなく多くの仲間を巻き込みながら進めていくことをあらためて理解することができました。



中央 河井理事

午後は優秀演題の表彰がありました。静岡からは、静岡県放射線技師会常任理事でもあります、藤枝市立総合病院の河井淑裕会員が表彰を受けることとなりました。おめでとうございます。

演題名「単一アイソセンタVMAT法を使用した脳定位放射線治療における成績」

CCRTは全国学会とは違い、地元だからこそその集まりができ、参加者との情報交換ができます。これからも横のつながりを大切に、そして多くの情報発信をして、放射線業務の発展に寄与できるようみなさんの学会への参加を楽しみにしております。来年は岐阜でお会いできることを楽しみにしております。

副会長（西部） 小林 秀行



福井城址より

# 第17回医療安全セミナー（STAT画像報告）

令和5年12月9日  
WEB開催

令和5年12月9日（土）第17回医療安全セミナーを昨年同様WEB（ZOOM）で行いました。テーマは、『“STAT画像報告への取り組み” “STAT画像報告ガイドライン” “覚えておきたいSTAT画像所見” を学ぶ』と致しました。



講演1では『持続可能なSTAT画像報告をめざして』～“STAT画像報告への取り組み” “STAT画像報告ガイドライン” “覚えておきたいSTAT画像所見” を学ぶ～として、刈谷豊田総合病院赤井先生よりSTAT画像報告への取り組みや新たに示されたガイドライン、STAT画像所見などをご講演していただきました。

まず、近く発表されるSTAT報告ガイドラインの現段階での内容についてお知らせしていただきました。対象疾患、所見は12所見ということで準備の段階からだいぶ絞り込みがあり必要最低限となっていて、これに関してはだいぶ少ないなあと感じる方もいるとは思いますが、あくまでも第1弾と

して掲げられたものであり今後ガイドラインの改定が進むにつれて項目は増えていくだろうということでした。12所見に絞られたことに関してはこれから始める施設にとってはある意味始めやすくなったと考えることもできると思いました。今後の正式な公表を待ちたいと思います。

次に刈谷豊田総合病院での取り組みについて示していただきました。まずSTAT画像報告を始めるにあたって技師の所見一致率を高める目標を掲げたそうです。そこで、技師の実力を把握するためのフィードバック体制を確立しました。夜勤時CT等撮影後RIS内のフリーコメント欄の電子カルテに反映されないところへの所見の記載を必須化したそうです。夜勤者はExcelへ記入した所見を貼付する→チェック者は放射線科医師レポートを参考にしながら所見が合っているのか間違っているのかの所見のマッチングを行いアドバイスできるのであればコメントを入れる→所見記載者は翌出勤日にチェック者のコメントを見て自分の所見報告を振り返る。こういったフィードバック体制をExcelで行っているそうですが、これが一番大変な労力を要するとのことでした。しかしSTAT画像報告を組織的に行うためにはこれをやらないで行うのは難しいと考えられており、このフィードバック体制がSTAT画像報告のKeyであるとのことでした。また、週一回のWEBカンファレンス、月一回の若手放射線科医師を巻き込んだカンファレンス、年二回の放射線科医師によるレクチャーを受けているとのこと継続的に実力をつけるための活動を行っていました。STAT画像報告を始めて2年目に行った研修医へのアンケートで、技師の所見報告が間違っている

ことはあるものの技師の報告が間違っていたことで重大なリスクを負うことはなかったという結果から所見が間違っていたらどうしようという不安はどうしても技師には存在するものの医師は様々な身体所見などとともに診断していくので技師としては画像から所見報告をしていけば良いのであるとの自信を得たと述べられていました。そして報告の方法はPHSへの直接の電話で行うことが良いとの結果も得られていました。ここまでの取り組みでは異常所見の拾い上げスキルを上げることに重きを置いていましたが、取り組みの2nd.ステージとして検査の質を上げることに取り組んでいるとのことで比較（過去、左右、正常健常との）に着目し取り組んでいる事例を示していただきました。例えば頭部CTにおいて脳梗塞を把握するため左右対称な画像を提供する重要性を示していました。私の施設のことでいえば頭部CTでしっかりOMに合わせて左右対称なMPRを作成していないスタッフが多くいるので是非気づいてほしいと思いました。また、検査の質をあげる目的で、見せる画像を提供することに取り組んでいました。Pointを絞った画像を提供することは言葉で伝えなくても読影補助の一環となっていると考えているということで、例えば胆、脾、虫垂疾患を疑うような依頼内容であるときは病変が無くてもCoronalなどのMPR作成をすることとしていてFOVも無駄のないようにPointをしばって提供する重要性を示していました。



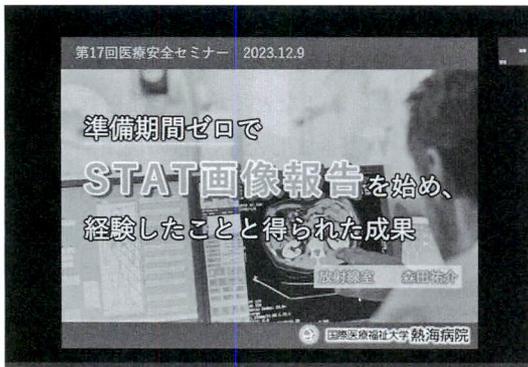
そして画像報告を行う上で放射線科医師にはできなくて技師には可能なこととして、技師は直接

患者様に痛みの場所を聞く事ができることが技師の最大の強みであるとされていました。例えばピンポイントで痛いところを伝えられればそのMPR画像を作成することができる。これが何よりもSTAT画像報告となるということを訴えていました。そしてSTAT画像報告が行いやすくなるとのことで、もしやっていないのであれば是非試してほしいと言っていました。ターゲットがしばらく良質な画像を提供することができるということです。撮影時のポジショニングなどのタイミングでこういったコミュニケーションをとることは、撮影方法、撮影範囲を工夫する上でとても重要なのですが私の施設ではこれできていない人は意外に多く見受けられるように思います。

講演の終盤では先生の施設で行われているWEBカンファレンスなどで取り上げられた画像を供覧していただきました。①右の後頭部の打撲症例で血腫が左の後頭部にあった症例。打撲した右後頭部またはその対側の血腫を見込んで画像を見てしましますがそうではないところに血腫があった症例で、Windowを変えて観察する重要性。②右鎖骨部の痛みでXPにて右鎖骨骨折の症例。しかし同時に気胸を呈しており観察部位を疼痛部にとらわれていると大きな取りこぼしがある注意喚起の症例でした。おすすめとしては疼痛部を最後に観察することを勧めていました。またこれもCTではWindowを変えて観察する重要性を示していました。③息切れを主訴として胸部XPを撮影した症例で、右の横隔膜下にフリーエアーがあった症例。ターゲットとなるところ以外の隠れたところに所見があることを示していました。ターゲット以外のところを観察する重要性をここでも示していました。④交通事故で膀胱壁が破綻して尿が腹腔内へ漏れ出た症例。ここでは、腹水のROIを測る重要性を説いていました。

最後にSTAT画像報告を行うためのフィードバック体制を整えることは一番大変でこれを行う組織づくりの重要性とポイント等を示していただ

きました。こうした体制づくりは一部の人が頑張れば成立するものではなくSTAT画像報告を実施することで組織づくりの難しさも同時に考えさせられます。赤井先生の施設の人材の厚みを感じ、また組織をここまで作り上げたことに感心しました。赤井先生はこういったことについてきてくれたスタッフの皆さんのことをねぎらっており、そしてこういった取り組みが病院に評価されてそれまでは1名で行っていた夜勤を2名で行えるようになったとのことでした。結果スタッフにも良い状況を提供できたことから、こういったことを目標に取り組みをすることもいいのではないかと話していました。



森田先生

講演2では、国際医療福祉大学熱海病院の森田先生から「準備期間ゼロでSTAT画像報告を始め、経験したことと得られた成果」としてご講演いただきました。準備期間なしで開始し取り組みを行いながら振り返り、集めた情報の分析を行って1年で体制を整えることを目標にされていました。その中で浮かび上がった課題は報告件数が少

ないこと、報告体制の構築という2つの課題でした。これらの課題への対応として若手技師の読影力を向上することが報告件数を増やす大きな要素であるとし、読影教育の構築が必要と考え以下の取り組みをされました。取り組みとしては医師へのアンケート、症例報告の記録統計、放射線技師の教育、報告体制の構築。アンケートでは報告を必要と考える医師が100%であったとしアンケートが医師の考えを知る良い機会になったそうです。症例報告の記録統計では所見報告時にSTAT画像報告書を提出してもらい毎月の医療安全委員会へ件数報告などとともにSTAT画像報告書を提出しているそうです。放射線技師の教育では報告すべき疾患所見の設定、ベテランから若手への勉強会、若手によるカンファレンス、教育ツールのTeaching Fileの作成を行い、その結果報告件数増加につながりました。報告体制の構築ではフローチャートを作成し、それに従いPHS、口頭連絡等を行っているそうです。

次に経験したことの課題点としては、研修医に所見を報告したが上級医へ伝達されず対応が遅れた事例を経験したため、報告は研修医、看護師を絡めず主治医へ直接電話連絡する事を基本としました。また、教育体制の問題としてTeaching Fileの作成に苦勞したそうでインターネット上の放射線科医が解説しているレジデントノートというサイトを活用されたということでした。Teaching Fileはインターネットの症例ファイルと院内症例のファイルも作成しテスト形式にはし



鈴木座長

なかったそうです。

症例報告では、静脈血栓症の症例等を示していただき静脈血栓症の危険因子は長期臥床よりも悪性腫瘍の方が多いということを紹介していただきました。日本医療安全機構のIncidental Findings（画像診断においてその目的範囲、関心領域以外に偶発的に認められた異常所見のこと）の中に掲載され、また肺塞栓症、深部静脈血栓症のガイドラインにも悪性腫瘍が静脈血栓塞栓症（VTE）危険因子として掲載されていることを示しながら紹介していただきました。

今後の展望ではSTAT画像報告を上司が確認する体制を必要としていること。このSTAT画像報告の取り組みをチームとして取り組むこと。医師を交えた多職種合同での勉強会を行いたいこと等を示していただきました。森田先生は他職種への取り組みの広報活動を行ったとのことで、これによりSTAT画像報告を行いやすい環境ができることを願っているということでした。

講演1、2共に紹介していただいたアンケートでSTAT画像報告は我々に確実に求められていることが重ねて示されておりました。これは刈谷豊田総合病院、国際医療福祉大学熱海病院だけでなく他の施設でも求められていることは間違いありませんので我々はそれにこたえていかなければなりません。これらの施設の取り組みを参考にさせていただきながらしっかりやっていきたいと思いました。



会員発表「STAT画像報告の一步を踏み出す」では、2つの施設から発表いただきました。まずは「ここから始めました STAT画像報告への

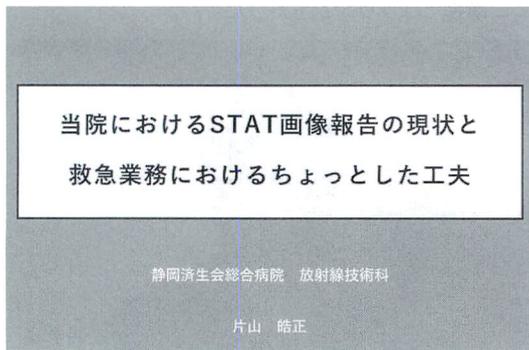
道」というテーマで静岡市立静岡病院 三浦篤様にご講演していただきました。



取り組みは3人で構成されたSTAT画像報告チームを中心に行い、要望などから症例検討会を行うこと、寝台から患者を降ろす前に画像確認することなどを行うこととしていました。症例検討会は1回/月 2人程度（1人15分程度）で当直時に経験した症例を紹介していただき、放射線科医も巻き込んで取り組みを始めています。症例検討会は、症例提示者とは別の人に指摘してもらう形式で行っておりました。実際の症例報告形式で胸部挫傷（フレイルチェスト）、卵巣囊腫茎捻転の症例を提示していただきました。感心したのはしっかり疾患のレクチャー付きで行っているところでした。産婦人科的な急性腹症として、骨盤炎症性疾患（PID）、子宮外（異所性）妊娠、卵巣出血、卵巣囊腫茎捻転の大きく4つあるとのことでした。卵巣捻転は若年女性の下腹部痛で発症することが多く、左卵巣はS状結腸の存在により右よりも捻転しにくいことを教えていただきました。こうした報告はあとからサーバーから見直すこともできるようにしているそうです。

今後は、STAT報告検討会と放射線科医主催の症例検討会の2本立てで、STAT画像報告検討会はこれまで通り続けて、さらにSTATだけでなく他の異常所見も学んでいくこと、また研修医などの他職種を巻き込んで症例検討会を行い病院へアピールしていきたいと考えているとのことでした。疾患のレクチャー付きで症例を提示するには発表者はしっかり勉強しなければならないと思うので

力がつくのだらうと思いました。



次に「当院におけるSTAT画像報告の現状と救急業務におけるちょっとした工夫」ということで静岡済生会総合病院 片山皓正様からご講演いただきました。



ここでは、アンケートからSTAT画像報告の必要性を感じてはいるものの自信がないため報告に至らないという状況でした。そのためまずは報告すべき疾患を決めることから始めておりました。また症例はホワイトボードに掲示してファイリングし共有していました。これからとしては、1回/月で症例報告会を行い、RISを使用して症例の振り返りをできるようにしていきたいとのことでした。

救急業務のちょっとした工夫の中で、撮影前の工夫で患者情報の把握では、ポジショニングの時に脳卒中の眼位の変化、腕の動き、名前を聞いた時のろれつの状態などを重要視しているそうです。また、外傷における耳介後部の内出血（Battle

Sign)、パンダの眼徴候（Black Eye）は側頭骨、頭蓋底骨折を示唆する所見として紹介していただきました。また、高エネルギー外傷の中で交通外傷が8割を占めるということでWaddleの3徴候を紹介していただき、この考えが生きた症例を示していただき患者情報の把握の重要性を感じました。続いて撮影中の工夫に関しては、患者の負担軽減と検査内容をよくすることを挙げていました。患者移動ではログロール、フラットリフト、撮影中の体位では起座呼吸している人や脳出血患者での撮影体位の注意点として臥床させないセミファウラー体位（15～30度）を保つことを示していただきました。検査の内容をよくするという目的で脳幹梗塞ではCor.DWIを、また椎骨脳底動脈が描出不良であればBPASを追加すること、分水嶺梗塞、散在性梗塞、頸椎脱臼骨折は頸部MRAを追加することも教えていただきました。撮影後の工夫としてMPR作成の重要性を訴え、脾炎、肝外傷、腸閉塞、解離などで有効としていました。左延髄梗塞の症例に対してtPA治療を始めようとしていたがBPASを撮影することで椎骨解離の可能性があることに気づき、その結果tPA治療を中止した経験を教えてくれました。技師が工夫できることは意外とあり、また工夫を凝らすことでスキルアップできるということでした。

今回のセミナーでは各施設から色々学べることが多くあり大変勉強になりました。まずはSTAT画像報告をどこから始めたらよいか考えている施設はこのような施設を参考に取組んでみてはいかがでしょうか。

医療安全推進委員長

静岡済生会総合病院 中村 英明

# 令和5年度第7、8回告示研修（実技研修） 報告

令和5年12月16日17日  
静岡県立総合病院

令和5年度第7、8回告示研修（実技研修）を令和5年12月16日17日の2日間にわたり、静岡県立総合病院にて開催しました。

令和3年7月9日医政発0709第7号「臨床検査技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令等の公布について」が厚生労働省医政局長より発出され、診療放射線技師の業務範囲の見直し等が行われました。具体的には①静脈路に造影剤注入装置を接続する際に静脈路を確保する行為、②動脈路に造影剤注入装置を接続する行為（動脈路確保のためのものを除く。）及び造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為、③下部消化管検査のために肛門に挿入したカテーテルから注入した造影剤及び空気を吸引する行為、④上部消化管検査のために鼻腔に挿入されたカテーテルから造影剤を注入する行為及び当該造影剤の注入が終了した後に当該カテーテルを抜去する行為、⑤核医学検査のために静脈路に放射性医薬品を投与するための装置を接続する行為、当該放射性医薬品を投与するために当該装置を操作する行為並びに当該放射性医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為です。以上の業務を行うための絶対条件として、医療の安全を担保することが求められています。そのため、日本診療放射線技師会が主催し各県で業務追加に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とした研修を基礎講習の修了者を対象に実施しました。受講者数は12月16日が44名、12月17日は41名でした。

午前中は動画視聴を行いました。1. 造影剤を使用した検査や核医学検査のために、静脈路を確保する行為、放射性医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為を30分。2. 核医学検査

のために、放射性医薬品を注入するための装置を接続し、装置を操作する行為を40分。3. 動脈路に造影剤注入装置を接続する行為、動脈に造影剤を投与するために造影剤注入装置を操作する行為を60分、4. 下部消化管検査（CTコロノグラフィ検査を含む。）のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為を45分。5. 上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為を20分行いました。

午後からはシミュレーター、実習機材等を用いた静脈実技、動脈実技、上部下部消化管実技、核医学及び静脈（CT）実技の実習に入りました。ファシリテータ8名のもと、受講生を6チーム（A～F）に分割し、2名1組として1チーム8名4組で実技研修を受講していただきました。

静脈実技では8ブースを準備してファシリテータ2名が講師となり、1ブース2名1組で穿刺役、患者役をそれぞれが担いました。その都度、講師からチェックが入りその場で指導を受けており、シミュレーション通りに終えないので刺激がある実習になりました。

動脈実技では4ブースを準備してファシリテータ4名が講師となり、1ブース4名2組で清潔役、補助役をそれぞれが担い、ガウンテクニック、造影剤注入装置に接続する行為について、講師からのデモンストレーション後に順次手順に沿って各人が実習を行いました。

上部下部消化管実習では、各4ブース準備をしてファシリテータ2名が講師となり、1ブース2名1組で行いました。下部消化管は肛門からカテーテルを挿入、造影剤及び空気を吸入する行為

の実習を、上部消化管では鼻腔カテーテルより造影剤を注入する、抜去する行為の実習をシミュレーターを使用して行いました。

RI実技及び静脈（CT実技）では、各4ブースを準備してファシリテータ2名が講師となり、1ブース2名1組で行いました。造影検査手技の操作手順、核医学検査の操作手順の実技を講師よりその都度指導を受けながら行っていきました。

告示研修は厚生労働大臣が指定する研修であり、令和6年4月1日前に診療放射線技師の免許を受けた者は、追加された行為を行う際はあらかじめ受講が義務付けられています。

追加された行為を診療放射線技師が実施するか否かはそれぞれの施設の考え方によります。いつ何時、実施するように依頼されても良いように準備しておくことがこの研修会に参加する意義だと思います。この研修会をベースに、更に各施設において教育、研修を行い安全、安心な医療を提供するようにお願いしたいと思います。

生涯教育委員 曾我 隆正

# 報告 令和6年新春公開講演会 第30回アール祭・叙勲祝賀会

令和6年1月13日(土)  
静岡商工会議所 5階

令和6年1月13日(土)に静岡商工会議所5階において「新春公開講演会」が開催されました。今回の新春公開講演会は1月1日に発生した能登半島地震の影響で県内の災害派遣医療チームも派遣される事態となりました。公開講演を予定していた『アフターコロナにおける救急医療の現状』の講師である中東遠総合医療センターの松島先生も当然多忙となり、残念ながら講演中止、教育講演のみとなりました。当日は、冷たい1日でありましたが晴天にも恵まれ、賛助会員17名、診療放射線技師39名、WEB参加8名の合計54名の方が出席され盛大に開催されました。時間に余裕が生まれたため、多くの質疑を受けることができ、会場が一体となり大学院などによる卒後教育の在り方や施設の対応など多くの議論ができ、盛り上がった講演会でありました。



会場の様子

り組みなど実体験を含む多くの情報を共有していただき、普段知ることのできない知見を得ることができた。以下に、各演者講演内容のうち、印象に残った内容について要約を記す。

坂本昌隆様「修士、博士取得の経験談1（群馬県立医療大学と浜松医科大学の場合）」：社会人として大学院に修学することの課題の一つに、現地での講義および研究室ゼミへの参加がある。これに対してはWEB形式が現在は主流となっているため、遠方の学生の負担は少なくなっている。

大学院教育にて得られるスキルとしては①臨床現場における問題解決能力、②新しい医療技術へ



新年の挨拶をする高橋会長

詳細については下記に記します。

今回の教育講演は「修士、博士取得を目指して」というテーマで開催され、浜松医科大学医学部附属病院の坂本昌隆様と順天堂大学医学部附属静岡病院の平入哲也様の2名に講演いただいた。

各演者からは大学院進学の内情や大学院での取



講演する坂本技師



講演する平入技師

の対応、③研究者としての活躍などがある。これらは個人のスキルアップだけに留まらず、施設のレベルアップにつながると考えられる。そのため、職場側にも進学への理解や協力の雰囲気が広がり、多くの方が学位取得に挑戦できる環境が望まれる。

平入哲也様「修士、博士取得の経験談2（金沢大学の場合）」：

大学院で学位を得る意味は次の5つが考えられる。一つ目は研究手法を学ぶ、二つ目は同じ分野で研究する仲間を得る、三つ目は考え方を学ぶ、四つ目は他者からの評価を得る、五つ目は研究で社会に貢献することである。大学院進学を少しでも迷っているならば進学するべきである。現在は数多くの大学院があるため、自分に合った研究室が見つかるかもしれない。

いずれの講演も大学院修学に関する生の声を多く聞くことができ、大学院進学を検討している方には非常に有用な内容であったと考える。本講演が聴講者の大学院進学への後押しの一助になれば幸いである。

### 第30回アール祭・叙勲祝賀会

静岡商工会議所静岡事務所会館 5Fホール

静岡第一ホテル 2F富士の間

新春公開講演会に引き続いて第30回アール祭・叙勲祝賀会が開催されました。今回は、新型コロナウイルスの関係で3年ぶりの開催と瑞宝双光章を受章された森佳久会員の叙勲祝賀会を兼ねて賛助会員25

名、会員26名の51名の参加があり盛大に開催されました。

森会員を囲んで大変に有意義な時間を過ごすことができました。



叙勲の挨拶をする森会員

最後に

県技師会役員に方々、会員の方々、そして賛助会員の方々のご協力があり、無事に新春公開講演会とアール祭・叙勲祝賀会を終える事ができました。この場を借りてお礼申し上げます。



森会員を囲んで

(学術委員 平井 健太、寺田 理希)

# 令和5年度診療放射線技師基礎技術講習「乳房撮影」報告

令和6年1月21日  
アクトシティ浜松研修交流センター

2024年1月21日（日）にアクトシティ浜松研修交流センターにおいて、診療放射線技師基礎技術講習「乳房撮影」を開催しました。

平成22年度より日本診療放射線技師会が実施することになった診療放射線技師基礎技術講習は、すべての診療放射線技師を対象とした基礎技術講習です。医療の担い手として必要な基礎知識と技術を身につけ、医療及び保健、福祉の向上に努めることを目的としています。今年度、静岡県は中日本地域において乳房撮影を担当しました。実は4年前より開催を希望しておりましたが、COVID-19の蔓延により、会場の確保が難しいことなど会場参集型の講習会の開催が出来ず、延期が続き開催を中止せざるを得ませんでした。本年度は規制が緩和されようやく開催することができました。もちろんJARTの会場型講習会開催ガイドラインに基づいて感染防止に努め最善の注意を払い開催しました。

受講者は当日の欠席者もあり15名という少し寂しい感じとなってしまいましたが、県外からの方や若手、中堅の幅広い年齢層の方に受講していただきました。

講義は1科目60分を午前3科目。1科目45分を午後4科目。計7科目行われ、最後に臨床技術能力検定を行いました。

講義内容としては、「乳がんの臨床」を静岡県立静岡がんセンター 伊東 孝宏会員。「読影とカテゴリー分類」を中東遠総合医療センター 竹山有希会員。「マンモグラフィの基礎と品質管理」を総合病院聖隷三方原病院 中村 陽子会員。「デジタルマンモグラフィ」を有隣厚生会富士病院 上棚 稔之会員。「撮影技術と臨床画像評価基準」

を浜松ろうさい病院 内田 千絵会員。「乳腺超音波」を静岡県立総合病院 早坂 みさを会員。「乳腺MRI」をJA静岡厚生連遠州病院 筒井 亜季会員より行われました。

カリキュラムの範囲が広く、45分から60分で行う講義の内容としては時間的にも大変厳しかったのですが、県内でも選りすぐりの乳房撮影に精通した講師陣でしたので、内容も講義資料も解りやすく、時間をフルに使って講義をしていただきました。しかし、受講生にとっては一瞬たりとも気を抜くことができず、皆、大変緊張した真剣な面持ちで講義を受けていました。最後に臨床技術能力検定を行い終了となりました。

本講習会の開催に際して、乳腺部会長 中村 陽子会員を始め、ご尽力いただいた皆様、また講師をお引き受けくださった皆様に厚く御礼を申し上げます。来年度は「MRI検査」の開催を予定しております。多くの方々のご参加お待ちしております。



生涯教育委員 曾我 隆正

# 第52回放射線技師のためのセミナー 報告

令和6年1月27日  
Hybrid開催(会場+WEB)

令和6年1月27日(土)に「第52回放射線技師のためのセミナー」を静岡市立静岡病院西館12階講堂にて会場型+WEB配信のHybrid形式にて開催致しました。

テーマは「小児撮影技術と性腺防護の考え方」とし、小児撮影技術や患者および家族への配慮を学ぶとともに、性腺防護についての世界的な動向と日本国内での取り組みについて学ぶ機会になればと思います、セミナーを開催しました。

セミナー申込の際に行ったアンケート調査(回答数51施設74名)では、小児股関節撮影で性腺防護を行っている施設は49%、小児胸部撮影で性腺防護を行っている施設は33%、AYA世代の胸部撮影で性腺防護を行っている施設は22%となりました。

企業講演では、コニカミノルタジャパン株式会社と株式会社フィリップス・ジャパンの2社よりご講演頂きました。コニカミノルタからは、動態撮影とその臨床応用、AI技術を用いた胸部単純写真におけるCXR finding-i(結節、腫瘤影、浸潤影検出)や骨減弱処理、経時差分処理についてご紹介頂きました。フィリップスからは、AIカメラを用いたポジショニングサポート技術や、最新の2層検出器を搭載したCT装置Spectral CT 7500をご紹介頂きました。

会員発表では、「小児撮影技術と性腺防護の現状」をテーマに3施設の会員よりご発表頂きました。静岡県立こども病院の佐野恭平会員からは、一般撮影における撮影技術と性腺防護についてご報告頂きました。立位臥位の選択、呼吸タイミング、ポジショニングのコツなど、臨床ですぐに役立つワザをご教授下さいました。聖隷浜松病院の渡邊浩一会員からはCT検査における撮影技術と性腺防護についてご報告頂きました。検査前のブ

レパレーションの重要性や症例を提示しながら分かりやすく撮影のポイントをご教授頂きました。聖隷富士病院の松井隆之会員からは、小児Aiの撮影についてご報告頂きました。成人Aiではあまり行われない一般撮影やMRIでのAi撮影の方法や検査運用など、症例を交えながらご教授頂きました。

特別講演では、国際医療福祉大学成田病院放射線技術部副部長の五十嵐隆元先生より、「性腺防護の考え方とリスクコミュニケーション」をテーマにご講演頂きました。世界的な動向から日本国内でのこれからの課題についてお話し頂き、性腺防護は不要ではあるものの、すべての足並みがそろうにはまだまだ時間がかかることを痛感しました。また、放射線被ばくへの不安もつきものであり、しっかり患者の話に耳を傾け、コミュニケーションをとる重要性を学びました。

本セミナーは、会場参加28名、WEB参加47名の計75名(静放技会員40名、その他35名)の方にご参加頂きました。ご参加・ご講演頂いた皆様、またHybrid開催にご尽力頂きました関係の皆様、厚く御礼申し上げます。皆様と小児撮影や性腺防護について情報共有・情報交換でき、とても有意義な時間を共有できたと考えています。今後も皆様の業務の一助となるようなセミナーを開催していきたいと思っております。



管理士部会 千葉 和宏

# 第8回ワークライフバランス検討委員会研修会 報告

令和6年1月27日  
WEB開催

令和6年1月27日（土）に第8回ワークライフバランス検討委員会研修会を開催いたしました。今回のテーマは、「新生涯教育制度（ラダーシステム）」と、「STAT 画像診断医が診療放射線技師に期待すること」でした。参加者130名、静岡県外の方々の参加も大変多い研修会となりました。

まず、日本診療放射線技師会の川守田龍理事に「日本診療放射線技師会の新生涯教育制度について」講演していただきました。医療事故を背景に生涯教育システムを含む専門的資格設立がなされたとのことでした。2003年度に運用を開始した生涯教育システムは、アドバンス・シニア・マスタという技師格制度がありましたが、知識の習熟度レベルと到達目標が把握できるクリニカルラダー方式を取り入れた新生涯教育システムが2022年度から開始されました。誰でも、何時でも、何処でも学べるようにe-learning等も準備されています。技能的ラダーは各施設で構築していただき、知識的ラダー（クリニカルラダー）は技師会で担うとのことでした。印象となった理事の言葉に、自己研鑽できない組織・職種や安全が保つことができない人・病院は無くなっていくのが世の常＝（学ばない施設は選ばれない）と言われたことです。キャリアにとらわれることなく常に学び続けることが重要だと感じました。

次に、会員発表です。刈谷豊田総合病院の福岡秀彦先生に「当院におけるラダーシステムの取り組みについて」発表していただきました。人材育成で重きを置いているのが教育者教育で、教育者教育を通して教育風土を構築していくビジョンを掲げているとのことです。人材育成はあくまでも手段、人材を育成する過程をもって教育者を教育するということでした。

次に、聖隷健康診断センターの小林秀行先生に

「ラダーシステムを導入している施設の取り組み事例～聖隷放射線部門～」について発表していただきました。ラダーは、明確な目標が明示されていることで自身の成長につながり、実感できるものでなければならない、成長が可視化できるものであることが必要とのこと。今後はJARTコンテンツの利用や連携を考えているとのことでした。

続いて、島田市立総合医療センターの塚本慶先生に「STAT画像診断医が診療放射線技師に期待すること」としてSTAT画像報告が必要な症例を交えて講演していただきました。放射線科医が不在となる夜間休日の診療放射線技師によるSTAT画像報告の期待が高いためKiller disease【見逃すと死につながる病気】を報告しなければなりません。大事なのはKiller diseaseの画像所見を習熟すること。とにかくたくさん画像を見て答え合わせをし、分からないままにしないこと。また、気づいてもらう画像を出すことでアピールできるとのことでした。印象に残った内容として、腸閉塞や腹腔内出血はslab MIP（slab厚：5-15mm）coronalが有用とのこと。絞扼性腸管閉塞では、厚みを持たせてMIP処理してcoronalにすることで、血流障害のない小腸と比べやすいため腸管血流が低下しているのがわかりやすいとのことでした。放射線科医と良好なコミュニケーションをとり、メッセージ性のある画像を意識して送る。大事なのは放射線技師として何ができるか、何をすべきなのかを考えて行動するモチベーションとのことでした。

大変学びの多い研修会となりました。最後に講演並びに発表を引き受けてくださった先生方、参加してくださった皆様、技師会関係者様に心より御礼申し上げます。

ワークライフバランス検討委員会 金原明日香

# 第64回東海四県診療放射線技師学術大会 報告

令和6年2月4日(日)  
ミッドランドホール(ミッドランドスクエア オフィスタワー5F・名古屋)

第64回東海四県診療放射線技師学術大会が、令和6年2月4日(日)、名古屋市の「ミッドランドスクエア ミッドランドホール」において開催されました。前回に続き、会場型のみで開催となりました。昨年は静岡県が当番県で浜松市での開催でしたが、今回は愛知県が当番県となり、名古屋での開催となりました。会場ロビーでは5社による協賛企業の展示も行われ、会場にある座席は空きがなく、すべて埋まっている状況となり、大変活気のある大会となりました。参加者は265名との報告があり、(事前登録280名の内訳：愛知162名、岐阜45名、三重43名、他県3名 内学生10名含む) 静岡県の会員は27名が参加したとの報告がありました。



会員発表4演題、特別講演、ランチョンセミナー、基調講演、シンポジウムの構成で大会テーマである「診療放射線技師の知識とスキルを更新する」に相応しい内容が盛り込まれたプログラムとなりました。

会員発表では静岡県を代表して、聖隷浜松病院 長谷川 晋也 会員より、「はじめの一步 ～基礎から応用まで～」の発表テーマに対して「放射線治療 放射線治療の基本～応用」について発表がありました。発表では放射線治療の概要から最

先端で治療を実施している聖隷浜松病院での取り組みなどを紹介いただき、放射線治療の業務に携わらない技師でも理解ができるよう話を聴くことができました。放射線治療の分野に興味が湧く内容で大変勉強になりました。



会員発表後のディスカッションの様子  
一番右が 長谷川会員

特別講演では「明日の撮影に役立つ!? 救急診療における画像検査のポイント」と題しまして名古屋掖済会病院救急センター長の後藤 緑 先生の講演でした。シンポジウムでSTAT画像がテーマであることから、その基調講演ともなる内容のお話して、3次救急を担っている医療機関の救急患者の受け入れの大変さ、それでも救急患者を断らず受け入れをしている、医師を中心とするスタッフのみなさんの熱意を感じる発表を聴くこ



とができました。

シンポジウムでは「STAT画像報告への取り組みを学ぶ」というテーマに、静岡県を代表して、国際医療福祉大学熱海病院 森田 裕介 会員より「当院のSTAT画像報告の今までとこれから」について発表がありました。運用の確立まではもちろんですが、STAT画像報告ができるようになるための教育体制構築についてのお話もあり、他の医療機関でも参考になる内容で大変勉強になりました。



シンポジウムの様子 右から2番目が森田会員

東海四県の会長会議も行われ、来年実施の本大会の確認、各県の状況について情報共有が行われました。最後に次回当番県となります岐阜県診療放射線技師会 川口 範洋 副会長より来年の開催について多くの方の参加が呼びかけられておりました。

本大会は全国学会とは違い、地元、東海地区の現場の最前線で活躍されている会員、先生方の声を直接聴くことができる数少ない機会でもあります。来年は岐阜での開催となりますが、CCRTも岐阜で開催されるとのことで、岐阜が熱くなる一年となることが紹介されていました。また、皆さんとお会いし、情報交換ができることを楽しみにしております。

副会長（西部） 小林 秀行

# 令和5年度第9、10回告示研修（実技研修） 報告

令和6年2月17日18日  
静岡県立総合病院

令和5年度第9、10回告示研修（実技研修）を令和6年2月17日18日の2日間にわたり、静岡県立総合病院にて開催しました。

令和3年7月9日医政発0709第7号「臨床検査技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令等の公布について」が厚生労働省医政局長より発出され、診療放射線技師の業務範囲の見直し等が行われました。具体的には①静脈路に造影剤注入装置を接続する際に静脈路を確保する行為、②動脈路に造影剤注入装置を接続する行為（動脈路確保のためのものを除く。）及び造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為、③下部消化管検査のために肛門に挿入したカテーテルから注入した造影剤及び空気を吸引する行為、④上部消化管検査のために鼻腔に挿入されたカテーテルから造影剤を注入する行為及び当該造影剤の注入が終了した後に当該カテーテルを抜去する行為、⑤核医学検査のために静脈路に放射性医薬品を投与するための装置を接続する行為、当該放射性医薬品を投与するために当該装置を操作する行為並びに当該放射性医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為です。以上の業務を行うための絶対条件として、医療の安全を担保することが求められています。そのため、日本診療放射線技師会が主催し各県で業務追加に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とした研修を基礎講習の修了者を対象に実施しました。受講者数は2月17日が45名、2月18日は46名でした。

午前中は動画視聴を行いました。1. 造影剤を使用した検査や核医学検査のために、静脈路を確保する行為、放射性医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為を30分。2. 核医学検査

のために、放射性医薬品を注入するための装置を接続し、装置を操作する行為を40分。3. 動脈路に造影剤注入装置を接続する行為、動脈に造影剤を投与するために造影剤注入装置を操作する行為を60分、4. 下部消化管検査（CTコログラフィ検査を含む。）のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為を45分。5. 上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為を20分行いました。

午後からはシミュレーター、実習機材等を用いた静脈実技、動脈実技、上部下部消化管実技、核医学及び静脈（CT）実技の実習に入りました。ファシリテータ8名のもと、受講生を6チーム（A～F）に分割し、2名1組として1チーム8名4組で実技研修を受講していただきました。

静脈実技では8ブースを準備してファシリテータ2名が講師となり、1ブース2名1組で穿刺役、患者役をそれぞれが担いました。その都度、講師からチェックが入りその場で指導を受けており、シミュレーション通りに終えないので刺激がある実習になりました。

動脈実技では4ブースを準備してファシリテータ4名が講師となり、1ブース4名2組で清潔役、補助役をそれぞれが担い、カウンテクニク、造影剤注入装置に接続する行為について、講師からのデモンストレーション後に順次手順に沿って各人が実習を行いました。

上部下部消化管実習では、各4ブース準備をしてファシリテータ2名が講師となり、1ブース2名1組で行いました。下部消化管は肛門からカテーテルを挿入、造影剤及び空気を吸入する行為

の実習を、上部消化管では鼻腔カテーテルより造影剤を注入する、抜去する行為の実習をシミュレーターを使用して行いました。

RI実技及び静脈（CT実技）では、各4ブースを準備してファシリテータ2名が講師となり、1ブース2名1組で行いました。造影検査手技の操作手順、核医学検査の操作手順の実技を講師よりその都度指導を受けながら行っていました。

告示研修は厚生労働大臣が指定する研修であり、令和6年4月1日前に診療放射線技師の免許を受けた者は、追加された行為を行う際はあらかじめ受講が義務付けられています。追加された行為を診療放射線技師が実施するか否かはそれぞれの施設の考え方によります。いつ何時、実施するように依頼されても良いように準備しておくことがこの研修会に参加する意義だと思います。この研修会をベースに、更に各施設において教育、研修を行い安全、安心な医療を提供するようにお願いしたいと思います。

生涯教育委員 曾我 隆正

第57回アンギオ部会研修会

当院のフローダイバーターステント治療について

令和5年10月21日(土)  
静岡県立総合病院 近藤 大祐

はじめに

コイル塞栓術と並ぶ脳動脈瘤の治療法としてフローダイバーターステント治療がある。今回は当院でのフローダイバーターステント治療の撮影条件や画像再構成方法、および実際に行った症例の一部を紹介する。

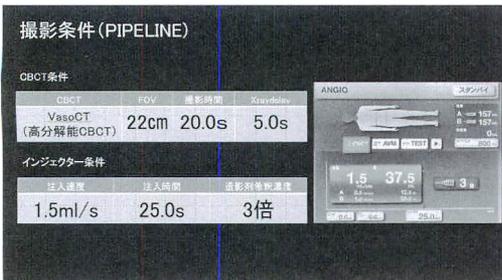
1. フローダイバーターステントについて

脳動脈瘤の母血管にメッシュ状のステントを留置することで、瘤内に流入する血流を減少させ、血栓化を促すことで破裂を防ぐことを目的としたデバイスである。本邦ではPipeline (Medtronic) とFRED (TERUMO) の2つが薬事承認されており、当院は現在Pipelineのみを5例経験している。

2. 撮影条件について

当院ではフローダイバーステント留置後に高分解能CBCT (以下VasoCT) を撮影している。使用装置は以下のとおりである。

- ・使用装置 Azurion 7 B20/15 (PHILIPS)
- ・使用ワークステーション Xtravision



撮影条件、造影剤注入条件は上記の通りである。希釈濃度についてはメーカー推奨の3倍を使用している。VasoCTの撮影プロトコルではFOVの選

択として22cmと27cmがあるが、より分解能の高い22cmのFOVを使用している。

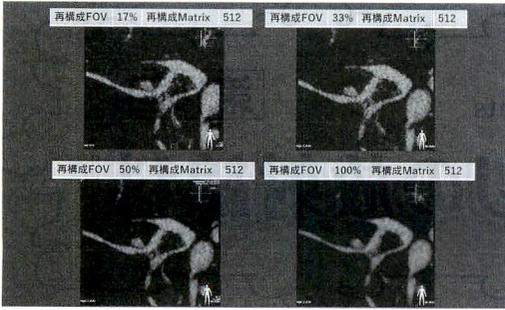
3. 画像再構成について

VasoCTで撮影した画像からMPR画像を作成し医師に提供している。作成したMPR画像ではステントの圧着具合を確認している為、できるだけステントが長尺になるような角度で作成を行いたい。しかしステントが長尺になる角度は症例によって様々であり、一定の角度で作成するといった運用は難しいため、治療時のワーキングアングル2方向をMPRにて作成する運用で行っている。

画像再構成は細部を評価するため、Matrixを最大の512で作成し、関数は高周波強調のstentを用いている。

全てのFOVで比較検討したところ、視覚評価ベースであるが17%、33%はノイズが目立ちステント評価が難しく、75%、100%については空間分解能が不十分と考えられたため、最も空間分解能とノイズ特性のバランスがとれた50%を採用している。

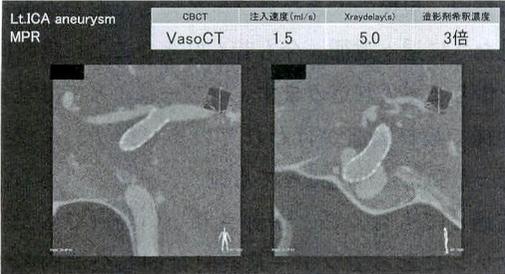
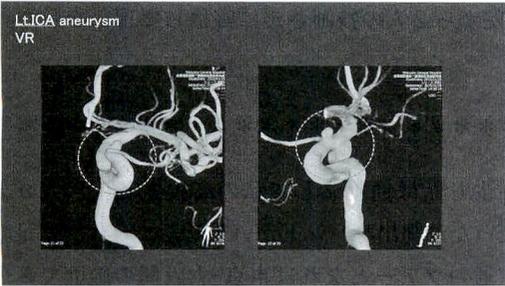




#### 4. 症例提示

症例① 40代 女性

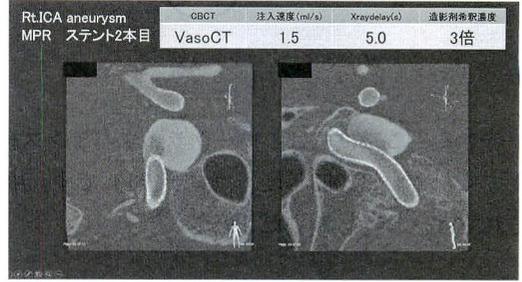
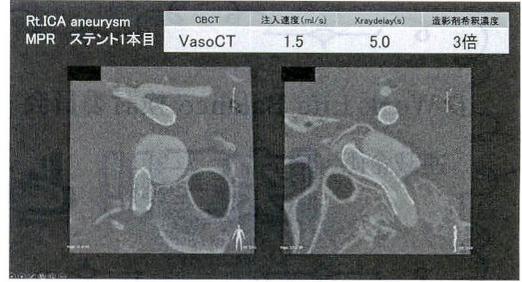
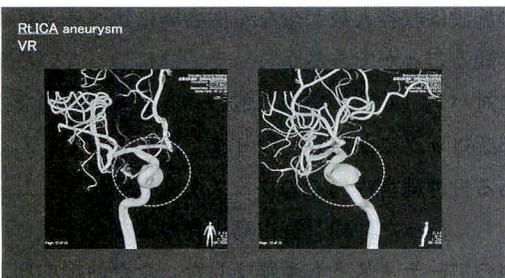
左ICA C2に2ヶ所の動脈瘤を認める。



当院初例であったが、造影もムラがなくステントと血管のコントラストもはっきりしている画像となった。

症例② 60代 女性

右ICA C4に動脈瘤を認める。



当症例はステント留置後に、動脈瘤のカバーが不十分だったため更にステントを追加した症例であり、それぞれの留置後にVasoCTを撮影している。同一条件で撮影したものの、2回目のステント内は造影ムラにより造影能が不十分であった。原因としては、造影剤注入のカテーテルが異なっていたことが考えられる。1回目はガイディングカテーテルから注入したが、2回目はステント近くの間中カテーテルから注入した為、ステント内で血流と十分に混ざりきらずこのような結果になったと考えられる。フローダイバータースtent治療に限ったことではないが、造影の際は注入するカテーテルとターゲット間において、適切な距離をとることが重要だと考えられる。

おわりに

当院のフローダイバータースtent治療での撮影条件や画像再構成について述べた。フローダイバータースtent治療では高分解能CBCTを用いたステント留置後の評価がやはり不可欠だと感じた。今後症例数やデバイスが増えていく上で希釈率等の更なる検討を行っていきたい。



Work Life Balance 検討委員会 presents

第16回

連載企画

# 『突撃!! となりの放射線科』

ワークライフバランス検討委員会  
後藤 英樹

皆さん、こんにちは！ワークライフバランス検討委員の後藤です。今回のテーマは「あなたの一年教えてください（2023年度 コロナ後）」です。中部の病院から2人の技師さんに寄稿して頂きました。それでは、お楽しみください！

\*\*\*\*\*

## 推し活 2023

静岡市立清水病院 大野 遥香

今回「なんでも好きに書いていいよ」と言われたので、推し事について好き勝手書いてみようと思います。私は旅行好きで、4連休以上あれば某航空券検索サイトで行き先は決めずに日付のみで検索をかけ、どこかい場所はないかと漁り、良い便が見つければ相方が見つからなくても旅に出ます。検索するのが航空券なのは元々海外好きなのと、新幹線よりも飛行機の方がワクワクするから。パッキングは大嫌いですが、空港に着いただけで気分は高揚してきます。そんな私もコロナ最盛期は旅行することができず、コロナ前に更新したパスポートは引き出しの中で数年間出番なしでした。全国旅行支援が開始してからはこれまであまり縁のなかった国内旅行へ行く機会ができて、それはそれで良かったなと今になって思います。どうしても移動時間が長くなりがちな海外よりも、国内の方がゆったり旅行することができ、また歳を重ねたせいいか何もしない時間の贅沢さを楽しめるようにもなりました。例えばホテルステイを楽しむ、海辺でポーッと夕日を待ってみる等々。

少し話は遡りまして私の高校生時代、大好きだった沖縄出身バンドがいました。ライブに足繁く通いツアーとなれば東京-大阪間の範囲で3公演参戦、規模の大きな夏フェスにもただただ彼ら見たさに遥々遠征。今も昔も好きなことには時間を惜しまず入れ込みます。ツアーによっては地元沖縄で最終公演が行われていましたが、高校生だった私には沖縄はとても遠く、一人はもちろん友達とでも行くことが許されない場所でした。ファンにとってツアー最終日は同じ公演内容であっても他の日とは違う特別な日で、加えて彼らの地元公演なのに!!と、とても悔しかったです。人気が出てからは関東の大きなアリーナで最終公演が行われていたので行くことができていましたが、沖縄でないと意味がないと当時は強く感じていました。なぜならまずは地元だから。次に沖縄の施設は収容人数が少なく他会場に比べると近くで観ることができるから。ライブに通っている間に対バン（共演）で観た他のバンドも好きになり、邦楽ロックにかなりハマりました。そしてそんなある日沖縄宮古島でのフェスが発表されました。待ちに待った沖縄（宮古島出身ではないけれど）、他のアーティストも豪華でした。ただ沖縄本島よ

りも遠い宮古島・・・到底高校生には無理でした。それから時は経ちファンは卒業しましたが、いつか宮古島に行きたい、という思いだけが残り憧れの地となっていました。ちなみに旅先の好みは都会より田舎、海より山派なので、沖縄の優先順位はそれほど高くありません。

そして2023年のGW、奇跡的に連休だったので例によって目的地空欄のまま航空券検索。まずは羽田発、その後名古屋セントレア発で上部に出てきたのが、その宮古島でした。航空券は確保できたものの海が綺麗だということ以外何も知らず、調べてみたところやはりそれに尽きる。同じ沖縄離島でも石垣島はリゾート、宮古島はリゾートとしてはまだ途上でそれが逆にいい、らしい。海しかないのなら潜らなくては！と謎の使命感に駆られ、航空券予約から1週間後にはダイビングライセンス取得講習を申し込んでいました。改めて自分の行動力に驚きです。最初は水中で呼吸する違和感と浮遊感がなんだか奇妙でした。無事ライセンスも取得でき30mまで潜れるようになり、見られた宮古島の海の光景は綺麗なブルーに、自然にできたとは思えないダイナミックな洞窟や岩、沈船、何種もの珊瑚にカラフルな魚たち。これまで知らなかった世界に魅了されました。海はあまり得意ではありませんでしたが、他の綺麗な海の中も見てみたいと思うようになりました。季節によって海の澄み具合が変わり、時期によって魚の



群れがやってきたりする場所もあるようです。高校生の頃の推しから繋がって新しい推し事候補ができました。宮古島は海が綺麗、人がいい、時間の流れが緩やかで広すぎず良いところでした。海辺に新しい大きなホテルが建設中でしたがリゾートになりすぎず、程よく田舎で、混みすぎず、自然が守られ美しい海、街が次回も見られるといいなと感じました。

もう一つ、2023年の大きな変化といえば海外からの帰国時、新型コロナウイルスワクチン接種証明または陰性証明が不要になり、再び海外への扉が開かれました。ようやくパスポートの出番です。コロナ禍中もまた海外へ行けるようになったらまずはどこへ飛ぼうか、とよく考えていました。ずっと行きたかったアメリカのイエローストーンカスミス鉄道旅か、はたまた魔女の宅急便のモデルとも言われるクロアチアか。遠方ならウユニ塩湖やナスカの地上絵も見てみたい。他の行ったことのある国の違う都市にも行ってみたいし、過去に行って再訪したい場所もある。でもやはりまずは近場で、食べて美味しいし買い物も楽しめる韓国か。コロナ前は韓流ドラマとK-POPの影響で覚えた韓国語を現地で使って旅するのが楽しみで、1年に複数回渡韓した年もありました。食べ物なら飲茶にタピオカミルクティーやマンゴーかき氷が美味しい台湾もアリ。そんな終わりのない希望欲望と妄想で脳内海外旅行を楽しんでいました。コロナ以降初めての海外は夏休みを利用して行くことに決めました。ただ、ようやく海外に行けるようになったのに、絶望的な円安で欧米は金銭的に厳しく、友人と話し合いこれまで中途半端に遠いことを懸念して行けていなかった東南アジアへ狙いを定め、タイ料理VSベトナム料理で悩んだ結果、ランタン祭が観たいという私の我儘に賛同してもらう形でベトナムに決まりました。長めの連休が取れたので祭りが行われるホイアン以外の都市も巡り周遊することに。出発前は久しぶりの海外ということで英語と、楽しむのに十分な体力

があるかが不安でした。行ってみると都市部は静岡なんて比ではない位に栄えていて、人よりバイクの方が多いのではないかという位にバイクが道に溢れ、信号は機能していたりいなかったりで、走り蠢くバイクは停まってくれないまま道を横断しないといけない場面が多くありました。日本人にはかなり怖いシチュエーションですが、上手く渡るコツは“目を瞑って一定速度で真っ直ぐ止まらずに歩くこと”とどこかで読みました。心配していた体力は湿度と暑さのせいなのか体調万全とはいかず、休憩兼水分補給のカフェタイムが多く、昼寝しにホテルへ戻ることもありました。英語はホテル以外ではほとんど通じず、皆Google翻訳を使いこなしていました。英語が通じないせいでマッサージ店で事前に聞いていた内容と施術が違って一悶着あったりもしましたが、帰ってくれば全て良い思い出で、この件はお酒でも飲みながらネタとして愚痴りたいと思います。

旅行後半になると帰りたくない気持ちと同じ位に家に帰りた、自分のベッドで寝たいと思うようになります。でも帰りの機内ではいつも決まって『帰りたくない、明日から働くのか、、、はあ。』という思いの方が大きくなり、あとは大量の洗濯物への憂鬱感に支配されます。新しい発見、見た



事のない景色や初めての食べ物、時には新しい出会いがあったりと旅行の魅力は話しきれませんが、結局は帰る場所、戻る環境があるから旅行が楽しい、一種の現実逃避になっているのだと思います。これからも体力の続く限り、程々に、全力で、推し事を極めていきたいと思います。

\*\*\*\*\*

## コロナ禍の前後での生活の変化

静岡済生会総合病院 片山 皓正

私にはもうすぐ3歳になる息子がおりますが、丁度コロナ禍であったこともあり、妻の出産に立ち会うことはできませんでした。出産後は、1週間程で妻子共に大事なく退院を致しましたが、その間で2人に会えたのは出産直後のたった15分だけでした。そんな状況でしたが、妻は息子の毎日の様子を写真や動画で送ってくれたので、とても感謝しております。その後、息子は大きな病氣もすることなく成長し、1年が経過した頃、託児所

で運動会がありました。その時は、今より厳しい感染対策が敷かれていたので、現地に行けるのは母親だけでした。私は、家でZOOMを使用して見ておりましたので、その環境を逆手にとって実家の両親や祖母にも息子のはしゃぎ回る姿をリアルタイムに届けることができました。

コロナ禍が明けてからは、父親も参観会やハロウィンパーティなど、多くのイベントに参加できるようになりました。息子は低年齢であったこともあって、コロナ禍でもマスクをすることなく過ごせました。マスクをしまうと何だか表情も分かりにくいし、子供の健康的にもあまり良くな

と思っていたので、そういった面では助かりました。昨年、9月にあった運動会には、家族みんなまで参加できたので、バナナ踊りや親子障害物競走など多くのイベントを楽しむことができました。現在の託児所は今年3月をもって卒園なので、それまでたくさんの思い出を作りたいと思います。



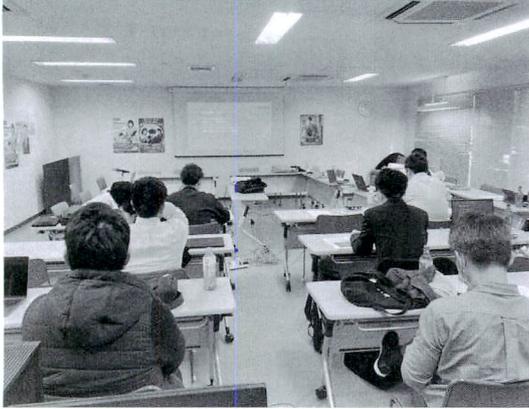
また、コロナ禍での勉強会の数々は多くが中止やWEB開催となり、現地で顔を合わせながら学ぶ機会は減っていきました。ですが、現在はZOOMなどを使用したハイブリッド形式の勉強会も増えており、他県の勉強会に参加できる機会に恵まれております。これらの変化は、いい意味でコロナ禍の副産物であると思っています。ZOOMを使用すれば、自宅に居ながら勉強会に参加できるので、家族と過ごす時間も増えたように感じます。

昨年、11月に行われた静岡県放射線技師中部地区会主催のレクリエーションボウリング大会は、コロナ禍の行動制限が明けて実に5年振りに行われました。今回は30名を超える参加者がいて、久々のイベントに会場は熱気に包まれていました。私は体を動かすこと自体が久しぶりでしたが、少しでも良いスコアを出そうと躍起になって頑張りました。くじ引きの景品こそ今ひとつでしたが、全体の4位という好成績を残せました。調子に乗って頑張りが過ぎたせいで、翌日から酷い筋肉痛に見舞われましたが、とても楽しい時間を過ごす



ことができました。今回は誰にでも豪華景品が当たるチャンスがあったので、くじ引きの最後の瞬間まで盛り上がっていたように感じました。次回こそは、もっと良い景品を持って帰りたいと思います。

昨年、12月に行われた静岡県放射線技師会主催の医療安全セミナーでは、「当院におけるSTAT画像報告の現状と救急業務におけるちょっとした工夫」というテーマで会員発表をさせていただきました。講演発表をされたのは、STAT画像報告に関していずれも最前線で活躍されている先生方で、とても勉強になりました。WEB上ではできない直接の対面交流を図らせてもらい、刺激的な時間を過ごせました。当院はSTAT画像報告に関してはまだまだこれから部分が多いですが、部署内で実施したアンケートなどを通して具体的な課題が浮き彫りになってきたように感じています。技師全員のモチベーションをどうやって維持していくか、医師や施設側のコンセンサスをどうやって得ていくかといったところが眼前の課題になりそうです。STAT画像報告は努力義務とはいえ、厚生労働省医政局長通知の中で、診療放射線技師は異常所見に対する客観的な情報を医師に報告するよう明示されており、日本診療放射線技師会が定めるガイドラインも近々公表される予定です。もう撮影するだけが技師の仕事ではないことを技師全員が認識する必要があると改めて感じました。



関係者の方々、この度は貴重な機会を頂き本当にありがとうございました。

振り返ると、コロナ禍の前後で私の生活は大きく変化したように感じます。当たり前のようにできていた事が突然できなくなるということに不便さを感じることもありましたが、それによって思わぬ副産物を発見できたり、何気ない日々の有り難さに気づくことができました。今後も1日1日を大切に過ごしていきたいと思えます。

\*\*\*\*\*

大野さん、片山さん、ありがとうございました。まずは大野さんの行動力には驚かされました。「推し事」に出会え、「推し活」に励むことができるのは、素晴らしいことだと思います。いつか「推し事」が「お仕事」になるときがくるのでしょうか。次に片山さんは家庭のことと仕事のことについて書かれていました。充実ぶりが窺えます。そんなお二人に共通するのは、前向きな考え方と行動力だと思えました。謎の使命感に駆られたり、脳内旅行を楽しんだり、思わぬ副産物を発見できたり。年頭から様々なことが起こっていますが、当たり前の日常に改めて感謝し常に前向きに物事に取り組んでいけたら、充実したワークライフバランスが送れるのではないかと思います。

# メッセージボード

令和6年2月現在

## 東部地区

### ◎経過報告

2023.10.26(木) 19:00～

第3回幹事会 WEB開催

事務局「国際医療福祉大学熱海病院」配信

- ①静岡県放射線技師会報告
- ②第1回胃がん検診X線従事者講習会・放射線セミナーについて
- ③地区会たよりVol.3について
- ④地区会費について
- ⑤技師長等会議について

2024.1.27(土)

「三島商工会議所会議室」よりZOOMにてWEB配信

第2回 胃がん検診X線撮影従事者講習会

第2回 放射線セミナー



線セミナーについて

- ③地区会たよりVol.4について
- ④地区会費について

### ◎行事予定

2024.2月中旬

東部地区だより vol. 4 発行予定

2024.3月上旬

第61回東部地区会通常総会

ハガキ決済による開催予定

2024.2.8(木) 19:00～

第4回幹事会

「三島商工会議所会議室」参集にて開催

- ①静岡県放射線技師会報告
- ②第2回胃がん検診X線従事者講習会・放射

## 中部地区

### ◎経過報告

(10月後半～2月前半)

2023/10/27(金)

第5回中部地区会幹事会

令和5年度レクリエーション大会(ボウリング大会)、第2回放射線セミナー、胃がん検診X線撮影従事者講習会、令和4年度中部地区会総会について検討

2023/11/11(土)

中部地区会レクリエーション大会(ボウリング大会)

4年ぶりの開催

於：静岡市「プラザアピア」



福引  
1位



優勝者

参加者 31名(8施設)

優勝 和田 和也さん(島田市立総合医療センター)

2ゲーム合計 354点。成績上位から景品の福引をしていただき、必ずしも成績が良い人がよい景品を獲得できるとは限らない形式としまし

た。その結果、福引1位は斎藤 友紀さん(桜ヶ丘病院)がゲットしました。みなさん来年も是非参加してください。

2023/11/22(水)

地区会ニュース秋号発行

2024/1/12(金)

3月の第2回放射線セミナー、胃がん検診X線撮影従事者講習会の会場(島田市立総合医療センター)の下見

2024/1/19(金)

来期中部地区選出理事、幹事の係の割り振り会議

2024/1/26(金)

第6回中部地区会幹事会開催、3/2の第2回放射線セミナー、胃がん検診X線撮影従事者講習会、令和5年度中部地区会総会について検討。

2024/2/3(土)

地区会ニュース(新春号)発行、総会資料(議案書)郵送

2024/2/22(木)

第7回中部地区会幹事会開催、3月の放射線セミナー胃がん講習会の直前打ち合わせ、総会の打ち合わせ

### ◎行事予定

(4月から7月)

2024/3/2(土) 14時～16:30

令和5年度第2回胃がん検診X線撮影従事者講習会、放射線セミナー、総会開催予定。

プログラム

第2回胃がん検診X線撮影従事者講習会

デジタルX線透視撮影システムの最新画像処理技術と、装置の機構について：富士フイルムヘルスケア株式会社 中部・北陸支店診断システム営業本部 画像診断営業部 主任須賀健悟 /

SUGA, KENGO

「X線透視装置 CUREVISTA Openの使用経験」

島田市立総合医療センター 村松恵太 技師

「当院の胃部X線撮影検査の業務の現状と課題」

静岡済生会総合病院 栗原春雄 技師

第2回放射線セミナー

島田市立総合医療センター施設概要説明、見学

2024/4 上旬

令和6、7年度新幹事への送り

2024/7

地区会ニュース夏号発行

## 西部地区

### ◎経過報告

○社会活動 可美公園祭り2023 参加予定

日時：令和5年10月22日(日) 10:00~15:00

場所：可美公園総合センター

参加者数 207名(男性:521名、女性:155名)



○社会活動 メディメッセージ2023 参加予定

日時：令和5年10月28日(土) 10:00~16:30

令和5年10月29日(日) 10:00~16:30

場所：アクトシティ浜松展示イベントホール

来場者数 約4,500名



喉を哽らして笑顔で説明してきました！

○令和5年度 第1回西部地区会勉強会

日時：令和5年11月11日(土) 13:00~17:00

場所：アクトシティ浜松研修交流センター

62研修交流室 + WEB配信

参加者：126名(会場：14名、WEB：112名)

内容

・「胃がん検診従事者のためのX線撮影技術  
～3Dモデルを使用して～」

公益財団法人神奈川県結核予防会

放射線技術部 主任 中村 真 先生

・「画像診断に活かすための上腹部撮像のコツ」

浜松医科大学 放射線診断科 診療助教

舟山 慧 先生

・「不整脈カテーテルアブレーション治療」

浜松医療センター循環器センター長兼

循環器内科部長 武藤 真広 先生

共催：バイエル薬品株式会社



○令和5年度 西部地区会レクリエーション  
ウォーキングイベント

コロナに負けるな！スマホdeウォーキング

期間：令和5年11月3日(金)～11月30日(木)

参加者：94名



○西部TIPS 2023年度 第2号を発行

令和6年1月

◎行事予定

○令和5年度 第2回西部地区会勉強会

日時：令和6年3月2日(土) 14:00～16:10

場所：コンgresセンター

52・53・54会議室 + WEB配信

内容：胃がん従事者講習会、放射線セミナー

演題1

「消化器のインターベンション関連」(仮)

講師 聖隷三方原病院 消化器内科

大原 和人 先生

演題2

「STAT画像(医師と技師の連携)関連」(仮)

講師 京都市立病院 放射線診断科

IVR科 部長 谷掛 雅人 先生

共催：GEヘルスケアファーマ株式会社

○令和5年度 西部地区総会

日時：令和6年3月2日(土) 16:30～17:00

場所：コンgresセンター52・53・54会議室

○第3回西部地区会誌 「西部TIPS」

3月末発行予定

# 本会の歩み

(令和5年10月1日～令和6年1月27日)

R5/10/7

中部地区 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会及び放射線セミナー

(静岡県放射線技師会事務所：WEB参加者54名)

## ①放射線セミナー

・教育講演

放射線治療 ～基本から最新のトピックまで～

静岡市立静岡病院 放射線治療科

主任科長 飯塚 裕介 先生

## ②胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

・「当院における胃透視の流れと取り組み」

静岡市立静岡病院 放射線技術科

森田 知宏 会員

・「胃がんX線検診撮影部門検定試験受験の振り返り」

SBS健康増進センター 杉山 大介 会員

R5/10/12

第13回常任理事会(技師会事務所)

高橋 牛場 佐藤 小林 河井 中村 福地

野沢 齋藤 常葉 菅原

協議事項

・秋季公開講演会について

・新春公開講演会及びアール祭について

・企画申請書・報告書

・次期役員改選について

・第3回理事会の内容について

・その他

R5/10/14

第17回静岡県MRI技術研究会

B-nest静岡市産学交流センター ベガサート

参加者169名

(会員113名 非会員56名)

企業講演

・「VINCENT定量技術に関する情報提供」

富士フイルムヘルスケア株式会社

会員発表

・「頸部MRIにおける脂肪抑制法について考えてみる」

浜松医科大学付属病院 白木 一史 会員

・「当院の頸部領域の撮影方法」

静岡医療センター 石田ちさき 会員

教育講演

・「頭頸部領域における最新のMRI撮影方法と画像診断」

東京医科大学 放射線医学分野 講師

勇内山大介 先生

R5/10/14

令和5年度第3回告示研修(実技研修)

静岡医療科学専門大学校 参加者 46名

R5/10/15

令和5年度第4回告示研修(実技研修)

静岡医療科学専門大学校 参加者 46名

R5/10/21

第57回静岡県放射線技師会アンギオ部会研修会：WEB

参加者 40名(会員33名 非会員7名)

・情報提供

「造影剤について」

バイエル薬品株式会社

・情報提供

「最新のアンギオ装置について」

GE HealthCare Japan Interventional部

芝草 高一

・会員発表「アンギオの最新のトピックス」

静岡県立総合病院 近藤 大祐 会員

聖隷浜松病院 信岡由美子 会員

岡村記念病院 田代 幸大 会員

・特別講演

「EVTについて」

浜松医療センター 循環器内科

新井 淳司 先生

R 5 / 10 / 22

可美公園まつり

参加者 207名

・骨密度測定無料体験

・骨密度測定の照会・説明パネル展示

R 5 / 10 / 24

編集委員会 初校

常葉 遠藤 杉山 福地

R 5 / 10 / 26

第14回常任理事会(WEB)

R 5 / 10 / 28～29

メディアメッセージ2023

会場：アクトシティ浜松 展示イベントホール

・放射線の紹介

・診療放射線技師の仕事について

・臨床画像読影体験

・画像ワークステーションを用いた3D画像作成の実演

・乳がん検査の紹介と乳がん検診受診啓発

・MRI、CTを始めるとする画像診断装置の紹介

R / 5 / 11 / 7

編集委員会 二校

常葉 遠藤 堀 杉山 福地

R / 5 / 11 / 9

第15回常任理事会(技師会事務所)

高橋 牛場 佐藤 小林 河井 中村 福地

野沢 齋藤 常葉 菅原

協議事項

・秋季公開講演会について

・新春公開講演会及びアール祭について

・企画申請書、報告書

・次期役員改選について

・第3回理事会の内容について

・その他

R / 5 / 11 / 11

第1回西部地区会勉強会・胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

アクトシティ浜松研修交流センター：Hybrid開催

参加者 126名

①胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

「胃がん検診従事者のためのX線撮影技術～3Dモデルを使用して～」

公益財団法人神奈川県結核予防会

放射線技術部 主任 中村 真 先生

②放射線セミナー

「画像診断に活かすための上腹部撮像のコツ」

浜松医科大学 放射線診断学講座

診療助教 丸山 慧 先生

③地区会勉強会

「不整脈カテーテルアブレーション治療」

浜松医療センター循環器センター長兼

循環器内科部長 武藤 真広 先生

R 5 / 11 / 18

「令和5年度 原子力緊急時災害対策研修会」

(第51回放射線技師のためのセミナー合同研修会)

静岡市立静岡病院 西館12階講堂

参加者37名

(会員31名 非会員1名 中部電力5名)

①「原子力発電所原子力災害時の放射線物質とは」

②「原子力災害での避難退域時検査要員任務」

講師 中部電力(株) 原子力本部 原子力部

防災・核物質防護グループ

可児 和広 課長

「GM管取り扱いとスクリーニング」講義と実習

静岡県放射線技師会管理士部会

千葉部会長 勝浦部会員

中部電力(株)浜岡原子力発電所

運営基礎部 放射線管理課

R 5 /11/18

令和 5 年度第 5 回告示研修(実技研修)

富士宮市立病院 2F 講義室 参加者 46名

R 5 /11/19

令和 5 年度第 6 回告示研修(実技研修)

富士宮市立病院 2F 講義室 参加者 45名

R 5 /11/23

「令和 5 年度 秋季公開講演会～乳がん検診受診率向上を目指して～」

静岡県総合研修会「もくせい会館」第 1 会議室+WEB配信

参加者89名

(会員53名 非会員16名 一般14名 学生 5名 講師 1名)

・「乳がん検診啓発に関する取り組み～SGE♡プロジェクトって何?～」

聖隷クリストファー大学 学生

・「患者の立場から～乳がんを経験して～」

鶴田 季子 様

・「乳がん検査のはなし」

JA静岡厚生連 清水厚生病院

望月 有美 会員

公開講演

「BC TUBEによる乳がん検診啓発活動を通して」

東京慈恵会医科大学 外科学講座乳腺・内分泌外科 伏見 淳 先生

パネルディスカッション

R 5 /11/23

第16回常任理事会(WEB)

R 5 /11/24

ジャーナルVol.33 No.2 2023(通巻218号) 発行

常葉 遠藤 堀 杉山 三輪 福地 中村

野沢

R 5 /12/09

第17回医療安全セミナー (STAT画像報告):

WEB

参加者 67名(会員63名 非会員 4名)

講演 1「持続可能なSTAT画像報告をめざして」～“STAT画像報告への取り組み”“STAT画像報告ガイドライン”“覚えておきたいSTAT画像所見”を学ぶ～

刈谷豊田総合病院 赤井 亮太 先生

講演 2「準備期間ゼロでSTAT画像報告を始め、経験したことと得られた成果」

国際医療福祉大学熱海病院

森田 祐介 先生

会員発表「STAT画像報告の一步を踏み出す」

・ここから始めました STAT画像報告への道

静岡市立静岡病院 三浦 篤 会員

・当院におけるSTAT画像報告の現状と救急業務におけるちょっとした工夫

静岡済生会総合病院 片山 皓正 会員

R 5 /12/14

第17回常任理事会

高橋 牛場 佐藤 小林 中村 福地 野沢

齋藤 常葉 菅原

協議事項

・新春公開講演会及びアール祭について

・次期役員改選について

・第 3 回理事会の内容について

・企画申請書、報告書

・その他

R 5 /12/16

第 3 回理事会(技師会事務所+WEB)

高橋 牛場 佐藤 小林 中村(真) 福地

野沢 齋藤 常葉 菅原 和田 山本

大多和 寺田 中村(英) 栗田

1. 会長挨拶

2. 報告事項

・会長報告

・副会長報告

・常任理事報告

・地区選出理事報告

・常設委員会理事報告

・監事

### 3. 協議事項

- ・新春公開講演会及びアール祭について
- ・令和6年度静岡県放射線技師学術大会、総会について
- ・令和6・7年度役員改選について
- ・企画申請書、報告書について
- ・その他

R5/12/16

令和5年度第7回告示研修(実技研修)  
静岡県立総合病院

R5/12/17

令和5年度第8回告示研修(実技研修)  
静岡県立総合病院

R5/12/28

第18回常任理事会(WEB)

R/6/1/11

第19回常任理事会

高橋 牛場 佐藤 小林 河井 中村 福地  
野沢 齋藤 常葉 菅原

協議事項

- ・新春公開講演及びアール祭について
- ・次期役員改選について
- ・令和6年度静岡県放射線技師会事業計画について
- ・企画申請書、報告書
- ・次年度事業計画(案)、スケジュール
- ・その他

R6/1/13

新春公開講演会

静岡商工会議所 5F ホール+WEB  
参加者 54名(会員37名 一般17名)

教育講演

修士、博士取得を目指して～

『修士、博士取得の経験談1(群馬県立医療大学  
と浜松医科大学の場合)』

講師 浜松医科大学医学部附属病院  
坂本 昌隆 会員

『修士、博士取得の経験談2(金沢大学の場合)』

講師 順天堂大学医学部附属静岡病院  
平入 哲也 会員

R6/1/13

第30回アール祭(叙勲祝賀会)  
静岡第一ホテル 2F 富士の間  
参加者51名(会員 26名 賛助会員 25名)

R6/1/21

令和5年度診療放射線技師基礎技術コース 乳房撮影  
アクトシティ浜松研修交流センター62  
研修交流室

- ・開講式
- ・乳がんの臨床
- ・読影とカテゴリー分類
- ・マンモグラフィの基礎と品質管理
- ・デジタルマンモグラフィ
- ・撮影技術と臨床画像評価基準
- ・乳腺超音波
- ・乳腺MRI
- ・確認テスト

R6/1/25

第20回常任理事会(WEB)

R6/1/27

第52回放射線技師のためのセミナー

静岡市立静岡病院 西館12階講堂+WEB:  
参加者75名

- ・企業講演「最新情報提供」

コニカミノルタジャパン株式会社  
株式会社フィリップス・ジャパン

- ・会員発表

「小児撮影技術と性腺防護の現状」

【一般撮影】静岡県立こども病院

佐野 恭平 会員

【X線CT】聖隷浜松病院 渡邊 浩一 会員

【小児Ai】聖隷富士病院 松井 隆之 会員

・特別講演  
「性腺防護の考え方とリスクコミュニケーション」

国際医療福祉大学成田病院

放射線技術部副部長 五十嵐 隆元 先生

R6/1/27

第8回ワークライフバランス検討委員会研修会：WEB開催

参加者131名 会員99名 非会員32名

『新生生涯教育システム(ラダーシステム)』について

日本診療放射線技師会 川守田 龍 理事  
会員発表

ラダーシステムを導入している施設の取り組み事例

刈谷豊田総合病院 福岡 秀彦 会員

聖隷健康診断センター 小林 秀行 会員

講演

STAT画像報告について

高田市立総合医療センター 塚本 慶 医師

夏目 瑠依

すずかけセントラル病院

伊藤 光代

静岡医療科学専門学校

【再入会】2名

東部：山口 統

市立伊東市民病院

西部：山村 拓也

常葉大学リハビリテーション病院

【転入】0名

【転出】3名

東部：杉山 二郎

東京都

中部：中平 賢志

長野県

西部：赤石 聡美

愛知県

【勤務先移動】6名

東部：木村 拓馬

沼津市立病院

← 聖隷富士病院

中部：久保 幸功

自宅

← 榛原総合病院

久保田健吾

岡本石井病院

← 静岡リウマチ整形外科リハビリ病院

西部：天野真由美

八州会 はいなん吉田病院

← 自宅

長屋 重幸

高仲循環器クリニック

← 自宅

信岡由美子

聖隷浜松病院

← 聖隷予防検診センター

【退会】12名

東部：深澤 徳光

中部：広田 黎歩

佐野 裕文

渡邊 優香

山崎 俊樹

上田 信司

中道 善章

望月 勇人

神山 司

西部：鈴木 優良

大場 繁雄

県外：篠原絵里子

## 会 員 動 静 (敬称略)

(令和5年10月1日～令和6年1月31日)

【入会】14名

東部：齋藤 実桜 国際医療福祉大学熱海病院

伊原 夢菜 国際医療福祉大学熱海病院

村瀬 瑠菜 国際医療福祉大学熱海病院

藤井美保里 聖隷富士病院

和田 将虎 静岡医療センター

飯塚 竜也 順天堂大学医学部附属病院

山下あいり 順天堂大学医学部附属病院

中部：市村 紗希 桜ヶ丘病院

中島 幹太 静岡県立総合病院

西部：望月 博典 磐田市立総合病院

乗松 美月 豊田えいせい病院

峯村 諒 聖隷三方原病院

会員総数	1068名
東部	298名
中部	314名
西部	448名
県外	8名
(令和6年1月31日現在)	

【電報】3件

玉木 潤耶 祝電  
 青木 茂生 弔電  
 高橋 弘 弔電



- 11/30 かながわ放射線だより Vol.76 No.4  
Nov.2023 307
- 12/1 福島放技ニュース 2023 11月24日号
- 12/5 京放技ニュース(京都府放射線技師会)  
12/2023 通算763号
- 12/5 大放技会報 No.353 大阪府診療放射線  
技師会(11月30日発行)
- 12/7 東京放射線 2023年12月号 Vol.70 No.822
- 12/25 福岡県診療放射線技師会 会誌 第354号  
Dec.15.2023
- 12/27 愛知県診療放射線技師会 会誌 Vol.35  
No.2 Dec.2023
- 1/4 京放技ニュース(京都府放射線技師会)  
1/2024 通算764号
- 1/4 東京放射線 2024年1月号 Vol.71 No.823
- 1/10 富山県診療放射線技師会 会報 Vol.104  
2024
- 1/15 栃木県診療放射線技師会会誌 2024 No.115
- 1/18 新潟県診療放射線技師会会報 第99号  
2024.1.15
- 1/30 AART会誌 令和6年 第61号 秋田県  
診療放射線技師会
- 10/2 かながわ放射線だより Vol.76 No.3  
Sep.2023 306
- 10/3 宮崎県放射線技師会 会誌 2023.09  
Vol.113
- 10/4 東京放射線 2023年10月号 Vol.70  
No.820
- 10/5 京放技ニュース(京都府放射線技師会)  
10/2023 通算761号
- 10/5 大放技会報 No.352 大阪府診療放射線  
技師会(9月30日発行)
- 10/6 福島放技ニュース 2023 9月29日号
- 10/10 放射線 やまぐち 2023 Vol.297  
山口県診療放射線技師会
- 10/17 放射野 2023 No.138 長崎県診療放射  
線技師会
- 10/26 埼玉放射線 2023 No.4 埼玉県診療放  
射線技師会
- 11/6 兵庫県放射線技師会 会誌 2023.11.1  
Vol.83-2
- 11/6 東京放射線 2023年11月号 Vol.70 No.821
- 11/6 京放技ニュース 11/2023 通算762号
- 11/15 大分放射線第133号 October 2023

# 令和5年度 第3回 理事会 議事録

1. 開催日時 令和5年12月16日(土)  
14:00~16:10
2. 場 所 技師会事務所+WEB会議
3. 出席者 (敬称略)  
高橋 真・牛場 克明・佐藤 正明・  
小林 秀行・中村 真也・福地 大介・  
野沢 滋幸・菅原 和仁・齋藤 忍・  
常葉 勇介・大多和純一・中村 英明・  
寺田 理希・栗田 仁一・  
山本 英雄(顧問)・和田 健(顧問)  
中山 修(選挙管理委員長)  
欠席者  
河井 淑裕・神谷 正貴・廣澤 賢一・  
大倉 善郎

## 1. 会長挨拶

### 高橋会長

2023年第3回理事会をはじめます。

定款第6章の第34条に従いまして、私が議長を務めさせていただきます。

議事録につきましては、総務庶務の河井理事が欠席のため代わりに福地理事をお願いいたします。発言者以外はマイクをオフにしてください。

欠席は河井理事、神谷理事、廣澤理事、大倉監事の4名です。和田顧問は後ほどWEBで参加すると表明されています。

## 2. 報告事項

### I. 会長報告

#### JART報告

本県の会員数は1,060名程度、組織率は66.9%。

JARTvision2040にて組織率70%が目標とされる。

この調子で組織率向上を目指していきたい。

全国会員数33,342名程度で推移、別紙参照。

本県のこの組織率は東海地域の中ではかなり低位となっているのが現状。

告示研修実施状況について、今年度すでに6回実施し本日も7回目を開催中。県外の方も受講していることから県内としての受講率というものは不明。令和5年3月現在の実技研修修了予定者は20.8%。また今後、学生に対しての告示研修も始まる。

JARTvision2040について、長期目標として放射線業務以外の業務拡大、病院以外での業務拡大について掲げられる。これは今後患者数と比較し技師数の増加が大きく飽和する可能性があるためである。

中期目標としては5年後の組織率70%、四病協・養成機関との連携強化、管理者の育成とラダーの活用、診療放射線技師会の組織力強化が掲げられている。

短期目標は組織率向上に向けてオンラインコンテンツの充実など、事業関係としては各種委員会の見直しや学生告示研修の確立など、また事務局の体制強化や見直しなどが掲げられている。

2024年10月31日～11月3日の予定でJARTとJSRTとの合同学術大会がJCRTM 2024として沖繩にて開催される。

債務回収2名通知あり。

7/22 業務改善推進委員会がJARTとしては本年度で終了した。中日本地域としては継続したい意向であったが予算もなく終了となる。県内事業としては継続するが内容については検討が必要。タスクシフトや教育、ラダー、STAT研修などを組み込んでいく必要が有るのではないかと考えている。

本会へのJARTからの委託事業について締結。

8/26、地域医療介護総合確保基金事業区分VI申請に関する説明が行われた。基金としてタスクシフト事業に関して県からの助成がある。本県での該当は9施設。静岡がんセンター、静岡徳洲会病院、菊川市立病院など。診療放射線技師だけでない

く他職種も該当となる。

11/15 全国会長会議に牛場副会長が参加。日本放射線技師会・連盟より政策要望あり。1、「報告書管理体制加算」の対象範囲拡大の要望、2、「医療画像表示用ディスプレイの医療機器化と管理」の評価要望、3、「小児等への腹部骨盤部単純X線検査被ばく説明」の評価要望、4、災害時における診療放射線技師の病院外活動についての要望、5、診療放射線技師定数配置基準の策定の要望、6、在宅医療充実のための体制整備の要望。以上6項目が挙げられた。

11/29 医療関係職種の賃金引上げに対する要望を日本看護協会などと共同で厚生労働大臣に提出。  
12/13 認知症治療薬レカネマブの承認に伴い、保険適応上の留意事項に関する通知が厚生労働省より発出された。

## 中日本報告

11/25、26 CCRT開催。現地参加者460名と盛況であった  
拡大会長会議にて事業における食事予算を現行の1,000円から1,500円に上げてほしいとお願いをし、後日了承の連絡あり。

CCRTでの座長依頼について、今回は各県にも依頼があり調整に難渋した。今後の選出はどうあるべきか、可能な限り近隣県で賄っていただくように依頼。

優秀演題賞にて本県から河井淑裕会員の演題が選出。

インボイス制度について、JARTより学術大会の会費など「会員は不課税、非会員は税込み」とすればよいとの通知がきている。対応について改めて会計事務所と一度相談する。

来年度は12月7日、岐阜市じゅうろくプラザにて開催。17回が三重県、18回が富山県、19回が静岡県の子定。

東海四県診療放射線技師学術大会は2月4日、名古屋市ミッドランドホールにて開催。

## 会長報告

10/28、29 メディメッセージ2023（アクトシティ浜松）で行われ来場者数4,500名の参加

11/23 秋季公開講演会開催。

12/13 県医師会「国民医療を守るための静岡県総決起大会」佐藤副会長参加

## 教育委員会報告

告示研修実施状況について

7/22、23（藤枝市立）それぞれ47名48名の参加

10/14、15（静岡医療科学大学）いずれも46名の参加

11/18、19（富士宮市立）46名45名の参加

12/16、17（県立総合）

基礎講習について、今年度はマンモを1/21アクトにて実施。

来年度はMRIを12-1月に予定。

## 表彰委員会報告

勤続30、50年表彰を別紙の如く推薦。功労表彰にて愛甲会員を推薦。

12/21 県立ち入り監査実施予定

## II. 副会長報告

### 東部（委員会報告）

#### 東部 牛場副会長

#### 災害対策委員会

○令和5年度第1回 3会合同会議

・10/20 18:30-19:30 技師会事務所とWEB同時開催

・中村英明 土井龍典 増田和道 千葉和宏 廣澤賢一 大多和純一 勝浦拓也 牛場克明 深澤英史 岡部修平（WEB） 廣瀬和秀（WEB）（11名）

・今年度原子力緊急時災害対策研修会について/原子力緊急時災害情報伝達用連絡網について/静岡県原子力防災訓練参加について/次年度以降の原子力緊急時災害対策研修会について/浜

岡原子力災害時に県の依頼でサーベイ等要請があった時の派遣可能技師について

○令和5年度原子力緊急時災害対策研修会

- ・11/18 13:30-17:00 静岡市立静岡病院
- ・研修会では、原子力発電所における原子力災害時に放出される放射性物質、防護措置実施基準（運用上の介入レベル基準OIL）について住民検査に必要な知識の講演とGM管取り扱いと緊急被ばく汚染スクリーナー養成を目指した実習等を行い、原子力災害対応についての理解を深め実習では昨年度静岡県原子力防災訓練で実施された実演を行った。（参加者37名）

○令和5年度静岡県原子力防災訓練実施2024/1/30-2/4

- ・1/30（火）図上訓練 原子力緊急時災害連絡網伝達訓練を実施 10:00から随時
- ・2/4（日）実動訓練 新東名静岡SA上り 技師会に検査要員3名派遣依頼

**医療安全推進委員会**

○第2回医療安全推進委員会 会議

- ・11/17 18:00-19:20 WEB
- ・中村英明 柚木一雄 鈴木康太 望月大樹（4名）
- ・12/9 第17回医療安全セミナーについて/次期委員、委員長について

○第17回医療安全セミナー開催 WEB

- ・12/19 15:00-17:10 WEB開催
- ・STAT画像報告について2講演、施設発表2演題で、取り組みについて情報を共有すること、STAT画像所見の知識も得ること、またSTAT画像報告ガイドラインについて知ることを目的とした研修会（事前登録102名）

**ワークライフバランス検討委員会**

○第2回ワークライフバランス検討委員会会議

- ・10/9 21:00-22:00 WEB
- ・後藤英樹 金原明日香 川口彩子 落合臣人

後藤琢真 鈴木恵（6名）

- ・ジャーナル記事連載企画の進捗状況確認、今期の勉強会の開催日時及び内容について

○第8回ワークライフバランス検討委員会研修会

- ・1/27(土) 14:00-16:20 WEB開催
- ・2022年度から日本診療放射線技師会にて新生涯教育システム（ラダーシステム）の概要・目的を学ぶ。実際に取り組んでいる施設から、取り組み例や活用方法、今後の課題などを発表。また、STAT画像報告について医師から講演をしていただき、日常診療の場において診療放射線技師に求められることについて医師からメッセージをいただく。

**企画調査委員会**

○第1回 企画調査委員会会議

- ・10/20 20:00-20:30 技師会事務所とWEB同時開催
- ・廣澤賢一 大多和純一 中村英明 増田和道 土井龍典 廣瀬和秀（WEB参加） 岡部修平（WEB参加）（7名）
- ・令和5年度 静岡県放射線技師研修会について/第28回 静岡県放射線技師学術大会の大会テーマ選出について

**中部（会務報告）**

**中部 佐藤副会長**

**【令和5年度 秋季公開講演会】**

2023/11/23 開催

「乳がん検診」をテーマに看護学生の啓発活動報告、乳がん経験者の患者様、診療放射線技師、医師の様々な立場からお話をいただいた。

会場参加 会員16名、非会員1名、講師医師1名、一般6名、学生2名

WEB参加 会員37名、非会員15名、一般8名、学生3名

合計89名（事前登録122名）

12月14日（木）静岡県医師会主催「国民医療を守るための静岡県総決起大会」へ参加。県選出の自民党国会議員6名、県議員数十名、関係団体30団体約200名出席で行われました。6年に1度診療、介護、障害福祉の報酬のトリプル改定に向けた決議。物価高騰や人材確保に対する賃上げ、技術革新への対応に十分な原資が必要と訴えた。

## 西部（部会報告）

### 西部 小林副会長

○部会報告（9月～12月）

#### ☆超音波部会

・第81回超音波部会研修会

日時：2023年9月30日（土） 13：35～16：00

場所：静岡県放射線技師会事務所

方法：会場型

参加者：会員16名 非会員5名 合計21名

#### ☆MRI部会

・第17回静岡県MRI技術研究会

日時：2023年10月14日（土） 14：00～16：30

場所：B-nest静岡市産学交流センター ペガサート

方法：ハイブリッド開催

参加者：会員113名 非会員56名 合計169名

#### ☆アンギオ部会

・第57回静岡県放射線技師会アンギオ部会研修会

日時：2023年10月21日（土） 14：00～16：30

場所：静岡県放射線技師会事務所

方法：WEB開催

参加者：会員33名 非会員4名 不明3名 合計40名

#### ☆管理士部会

・第51回放射線技師のためのセミナー

（令和5年度原子力緊急時災害対策研修会 合同開催）

日時：2023年11月18日（土） 14：00～17：00

場所：静岡市立静岡病院 西館12階 講堂

方法：会場型

参加者：会員36名

## ○活動方向

☆第15回中部放射線医療技術学術大会

拡大会長会議参加

## Ⅲ. 常任理事報告

### 総務 中村理事

今年度の賛助会費、ジャーナル広告料、抄録広告料が完納されましたことを報告させていただきます。

### 総務庶務 河井理事（代理：高橋会長）

発番報告です。第63回静岡県病院学会における後援申請に対しR05-05の発番を施行。

### 庶務一般 福地理事

#### 【報告事項】

胃がん検診エックス線撮影従事者講習会終了後に、演者のスライドを提出して頂いていますが、スライドの提出が難しいとの声があり、県の方へ問い合わせをしました。

県の回答は講習会を確実に実施したという証拠のため、可能な限りスライドの一部を添付して頂きたいとのことでした。スライド提出が無理な場合は、演者とスライドまたは演者と垂れ幕等が写った写真で代用可能とのことでした。（演者だけの写真はNG）各組織理事に尽きましては、お手数ですがよろしくお願いします。

#### 【会員動静】

（令和5年8月1日から令和5年11月30日まで）

・新入会申請 32名

石井 達也（東部）・石川 凌聖（東部）

小林 健郎（東部）・佐々木喬弥（東部）

谷戸 健汰（東部）・伊原 夢菜（東部）  
村瀬 瑠菜（東部）・井 美保里（東部）  
和田 将虎（東部）・村 紗希（中部）  
中島 幹太（中部）・城 智紀（中部）  
戸塚 怜菜（中部）・藤 碧也（中部）  
惣島 征也（中部）・下 優（中部）  
栗本 航暉（中部）・藤 直弘（中部）  
堀田 朱里（中部）・木 萌（中部）  
土井 嶺虎（中部）・石 寛奈（中部）  
柴田 佳奈（中部）・田中 聖那（中部）  
長尾 大貴（西部）・井元 成美（西部）  
守屋 凌輔（西部）・登 竜輝（西部）  
望月 博典（西部）・乗松 美月（西部）  
夏目 瑠依（西部）・峯村 諒（西部）

・再入会 4名

山口 統（東部）・細越 大資（中部）  
曾根 良介（中部）・山村 拓也（西部）

・転入 1名

坂ノ下 隼也（中部）

・転出 2名

杉山 二郎（東部）・赤石 聡美（西部）

以上39名につきまして、定款第3章第6条に基づき、本理事会での承認をお願いします。

## 高橋会長

採択を取ります。

反対：0・保留：0・賛成：16

（全会一致承認）

県提出書類については必須となるので各組織理事は承知いただき、また各演者にその旨説明をお願いします。

## 寺田理事

胃がん講習会に関するものだけでしょうか？

## 高橋会長

そうです。県からの委託事業の内容に関してのみ該当になります。

## 庶務会員管理 野沢理事

2年会費未納者について、日放技より会員の自宅に除籍の通知が届きます。

未納会費再請求により最終納入期限は令和6年1月31日になります。

年会費2年未納者が8名（県のみ会員2名含む）います。

東部 1名、中部 3名、西部 3名 県外 1名です。

総会員数1,076名、東部297名、中部322名、西部448名、県外9名です。

会費は10月の納入分まで未納者は105名です。会費納入率は90.2%（10月納入分まで）です。未納者リストを各副会長へ後日送付させていただきますので、会費納入の呼びかけをお願い致します。

## 会計 斎藤理事

2023年度 上半期決算報告

### 【貸借対照表】

- ・当年度の現金預金は、8,564,672円。
- ・特定資産として、80周年記念事業積立金は、800,000円
- ・事務所営繕取得準備資金は、324,563円増加7,433,126円。
- ・その他固定資産は、建物の減価償却により193,276円減少、資産準備資金よりPC本体、サブモニタ購入しましたが、什器備品は100,894円減少。
- ・当年度上半期資産合計。34,573,389円。

### 【正味財産増減計算書】

1. 経常収益
  - ・受取会費、正会員受取会費、賛助会員受取会費共に増加。239,000円

・雑収益は広告掲載収益が減少。70,000円

## 2. 経常費用

・事業費は増加。213,174円

・旅費交通費は各部会、委員会の旅費が104,710円減少

・印刷製本費は公益法人10周年記念誌発行費用として393,048円増加

・管理費は減少。528,119円

・福利厚生費は旅費傷害保険が161,259円増加

・通信運搬費は前年とホームページの更新時期がずれたため、505,428円減少

・役員登記で郵送料は増加

消耗品費はPC、サブモニタを購入したため、130,805円増加

・保険料は火災保険料の支払い時期がずれたため、70,200円減少

## 3. 当期経常増減額

経常収益－経常費用＝8,674,270－6,011,579＝2,662,691

残金33,796,763円

### 【収支計算書】

予算額と決算額の比較。

予算に対して事業費支出が5,232,546円少なく、事業活動支出は5,252,721円の差異が生じている。

### 【収支計算書に関する注記】

次期繰越収支差額は 7,788,046円。

当期では総会、学術大会、会議、理事会などが開催され、事業費は増加し、管理費は支払いの時期のずれ等もあり、減少している。管理費の消耗品費は増加しており、WEBでの開催形式が主流になり環境整備のため購入品が増加しているが、この形式での開催に必要な物品への設備投資に関して、今後ちから会計様と相談して進めていきたい。

当期では総会、学術大会、会議、理事会などが

開催され、事業費は増加し、管理費は支払いの時期のずれ等もあり、減少している。

管理費の消耗品費は増加しており、WEBでの開催形式が主流になり環境整備のため購入品が増加しているが、この形式での開催に必要な物品への設備投資に関して、今後ちから会計様と相談して進めていきたい。

### 高橋会長

例年通りの事業として進んでいるので問題ないと思いますがいかがでしょうか。改めて確認をお願いします。

### 編集 常葉理事

・Vol.33 No.2 2023（通巻218号）JOURNALを1160部、11/24（金）に発送作業完了。

発送作業にご参加していただいた皆様ありがとうございました。

・次号ジャーナルVol.33 No.3 2024（通巻219号）の作業予定。

原稿期限：2/13（火） 初校：2/20（火）

二校：3/5（火） 最終確認：3/8（金）～11（月）

発行：3/22（金）

### 広報 菅原理事

#### 【報告事項】

#### 常任理事 広報

8/26 秋季公開講演会会場「もくせい会館」視察

音声、映像配信に必要な物品（評価↑安価商品検索）

・HDMIケーブル 10m 1,773円

・音響ケーブル 長さ3m S-L型プラグ 1,180円

9/7 ホームページ更新

事業報告・事業経過・決算報告・事業計画書・事業計画案

9/7 循環器画像技術研究会 ホームページ掲

## 載依頼対応

- ・再度、9/14常任理事会にて審議され承認されたら掲載されると説明。
  - ・開催日9/16、掲載期間なしと理解される。
  - ・定例会なので次回の掲載も依頼予定。
- 9/10 秋季公開講演会 演題提出用OneDriveホルダの作成、(佐藤副会長管理)
- 9/11 秋季公開講演会 後援依頼申請書類提出
- ・静岡県健康福祉部医療局疾病対策課 がん対策班宛て「電子書類提出」
  - ・静岡新聞社・静岡放送 地域ビジネス推進局事業部後援係宛て「郵送提出」
- 9/11 ジャーナル行事予定カレンダー(令和5年12月～令和6年3月)作成依頼、提出期限10/10まで
- 9/15 秋季公開講演会 チラシ発注(2,500部) 9/25事務所着
- 9/15 秋季公開講演会 静岡県疾病対策課より後援名義の承認書受理
- 9/15 第17回MRI技術研究会 ラジくる 掲載開始
- 9/29 「原子力緊急時災害対策研修会」静岡県後援申請の伺い  
(静岡県危機管理部原子力安全対策課)
- 9/29 「秋季公開講演会」チラシ追加発注 400部(2,101円)
- 9/29 「循環器画像技術研究会」主催者様へ10月7日開催ホームページ掲載間に合わない趣旨の回答
- 10/3 「秋季公開講演会」申込フォーム作成
- 10/11 「原子力緊急時災害対策研修会」静岡県後援申請断念
- 10/11 行事予定カレンダー(令和5年12月～令和6年3月)最終確認依頼
- 10/16 ジャーナルVol.33 No.2 2023に掲載される行事予定カレンダー 原稿提出
- 10/25 令和5年度 新春公開講演会
- ・静岡県健康福祉部医療局疾病対策課 宛てに後

援申請書提出。

- ・静岡放送・静岡新聞社への後援申請書提出依頼事務局へと書類提出。
- 10/27 令和5年度 新春公開講演会
- ・静岡県健康福祉部医療局「疾病対策課」より、課外案件とのこと
  - ・静岡県健康福祉部医療局「地域医療課」宛てに後援申請書再提出。
- 11/1 秋季公開講演会のリハーサル案内を常任理事メンバーリストで配信
- 11/6 静岡新聞社・静岡放送 後援名義使用許可証  
新春公開講演 受理(秋季公開講演会9/25受理)
- 11/7 HP掲載依頼 第28回静岡県放射線技師学術大会
- ・会告 演題募集(第28回静放技学術大会)
  - ・第28回静放技学術大会演題申込み用紙
  - ・第28回学術大会演題区分表
- 11/17 令和5年度 新春公開講演会
- ・静岡県健康福祉部医療局「地域医療課」静岡県後援の承認。
- 11/17 秋季公開講演会のリハーサル 開催
- 11/23 秋季公開講演会 参加者リスト集計
- 11/23 秋季公開講演会 開催
- 11/24 第30回アール祭 参加募集開始
- 11/24 秋季公開講演会 ZOOM参加者リスト提出
- 11/28 「新春公開講演会リハーサル」の案内配布
- 11/30 秋季公開講演会 後援報告書の提出
- ・静岡県健康福祉部医療局疾病対策課(メール)
  - ・静岡放送・静岡新聞社(郵送)
- 12/1 「新春公開講演会リハーサル」開催

## 情報管理

- 9/10 新規購入 レノボノートPCの設定
- 9/15 第17回 MRI技術研究会 参加者重複入金発生「返金対応」
- 9/19 ホームページ掲載 「第57回アンギオ部会

## 研修会」会告

9/19 ホームページ掲載 「令和5年度診療放射線技師基礎技術コース 乳房撮影」会告

10/1 申請書・各種書式のダウンロード 更新  
「後援申請書・ホームページ掲載申請書」

10/1 ホームページ掲載 「令和5年度第7回告示研修(実技研修)」 「令和5年度第8回告示研修(実技研修)」

10/7 MRI部会、アンギオ部会にて入金済、フォーム登録未実施者調査

- ・アンギオ部会 問題なし
- ・MRI部会 ・フォーム登録未実施：15名
- ・フォーム入力あり(振込なし)：6名
- ・重複入金4名

〈現在対応中〉

10/7 中部地区会第1回放射線セミナー胃がん検診X線撮影従事者講習会 開始作業 ZOOMホスト委譲

10/13 第17回 MRI技術研究会 参加申込者入金済未登録22名に対し情報管理より案内メール送信

10/20 第17回 MRI技術研究会 参加者への誤送信メールへの対応

内容：10/20早朝、参加者メールアドレスが付帯された本文が送信

原因：アシストデザイン・研修会リマインドメールの一括配信プログラムの修正を行っていた際、プログラムのミスで前回のMRI部会研修会の送信リストが配信されてしまいました。

対応：・メール送付された全員宛てに「お詫びメール」の送付

- ・ホームページトップに「誤送信メールのお詫び」の掲載(即日対応)

10/27 令和5年度緊急時災害対策研修会 会告差し替え、HPセミナー申込案内を追加

10/30 承認済機材購入(各公開講演会にて使用) 購入リストです。販売：アマゾンジャパン

- ・オーム電機 LANケーブル カテゴリ6 A対応 20m PC-N0148 ¥1,900 (新春公開講演会

会場にて使用)

- ・6.35mmRCA 変換ケーブル(2 RCA to6.35mm, 3M) ¥1,780 (もくせい会館オーディオインターフェース ミキサー 接続)

- ・エレコム 有線LANアダプター USB-A USB2.0 ブラック EDC-FUA 2-B 1,216 (LANインターフェイスのないPCで使用)

- ・XBOHJOE USB 3.0 延長ケーブル 5M データ転送5Gbps USB 延長オス メス金メッキコネクタ ¥1,199 (WEBカメラに使用)

- ・USB-C to USB-Cケーブル PD対応 Type-C機種対応 ¥2,299 (サブモニタ接続用)

11/22 秋季公開講演会 ZOOMミーティング規模拡大 大規模ミーティング500名購入

11/27 ・会告掲載

- ・第64回東海4県診療放射線技師学術大会

- ・第39回乳腺画像部会 第82回超音波部会 合同研修会

- ・会告基礎講習乳房撮影

- ・第28回静岡県放射線技師学術大会

- ・令和5年度静岡県放射線技師研修会

- ・第52回放射線技師のためのセミナー 会告

12/1 HP掲示物の終了依頼(ポスター) ・秋季公開講演会 ・CCRT

12/4 HP掲示物の掲載(ポスター) ・新春公開講演

12/6 「アール祭」申込フォームの改修

12/7 「第17回医療安全セミナー STAT画像報告」ZOOMミーティング規模拡大、購入済の大規模ミーティング500名を牛場副会長ライセンスに割り当て

12/11 会告の差し替え

- ・第52回放射線技師のためのセミナー

- ・セミナー募集開始

9/25 第57回アンギオ部会研修会

10/13 秋季公開講演会

11/9 第8回 ワークライフバランス検討委員会 研修会

11/24 令和5年度 新春公開講演会  
11/29 第52回放射線技師のためのセミナー

予定  
R6/3月上旬 東部地区会 第62回通常会を開催予定

## 求人求職

9/13 掲載 医療法人哲新会西焼津健診センター  
9/19 削除 医療法人社団いずみ会 メディカルはば伊豆高原  
9/19 掲載 横浜市立大学附属病院  
9/25 掲載 医療法人社団アールアンドオー  
10/1 掲載 医療法人好生会 三方原病院  
10/18 掲載 浜松医科大学医学部附属病院放射線部  
10/30 掲載 NTT東日本伊豆病院  
11/24 掲載 地方独立行政法人 静岡市立静岡病院

## その他

### 情報管理委員会から

・WEBセミナー申込ページのQRコードについて  
後程説明

## 高橋会長

地区選出理事からの報告に移ります。

## IV. 地区選出理事報告

### 東部 大和多組織理事

#### 活動報告

9/9 令和5年度 第1回 放射線セミナー・  
胃がん検診X線撮影従者講習会のWEB開催。他  
地区会会員様の参加を含め参加者50名  
9/28 東部地区技師長等会議をWEB開催  
10/26 第3回東部地区幹事会をWEB開催

#### 今後予定

12月上旬 東部地区会たよりvol.3配信予定  
R6/1/27 令和5年度 第2回 放射線セミナー・  
胃がん検診X線撮影従者講習会を開催予定  
R6/2月中旬 第4回 東部地区幹事会を開催

## 中部 中村組織理事

9/10(日)：第41回静岡ふれあい広場、令和元年～令和4年の間台風、コロナのため中止されました、5年ぶりの開催となりました。骨密度測定無料体験を行いました。来訪者128名（女性94名、男性34名）参加役員9名  
開始と同時に、多くの方に訪れて頂き、待合の椅子が足りなくなるほどの人気でした。終了まで来訪者は途切れることなく、合計128名の方に体験して頂きました。9名の幹事で行ったのですが慣れないせいもあり結構あわただしく、あっという間に終了の時間になっていました。

9/22(金)：令和5年度第4回中部地区会幹事会、  
胃がん講習会直前の打ち合わせ。ZOOMにて行  
いました。

10/7(土)：令和5年度第1回胃がん検診X線撮  
影従事者講習会及び第1回放射線セミナー  
(ZOOMセミナー)開催しました。参加者54名、  
会員43名、非会員11名。

11/11(土)：中部地区会レクリエーション大会  
(ボウリング大会)令和2年～令和4年の間コロ  
ナのため中止してしていました。静岡市プラザアピア  
で4年ぶりの開催となります。参加者31名、当日  
発熱のため欠席者がありましたが、何とか無事に  
開催できました。

11/22 地区会ニュース秋号発行

#### 今後の予定

1/26(金) 令和5年度第5回中部地区会幹事会  
ZOOMにて開催予定。3月の中部地区会総会、  
胃がん講習会放射線セミナーのテーマ内容確認。

1月下旬から2月上旬 地区会ニュース新春号発  
行。

2月中旬 第6回中部地区会幹事会、セミナー直

前の打ち合わせ。

3/2(土) 中部地区会総会、令和5年度第2回  
胃がん検診X線撮影従事者講習会、放射線セミ  
ナー開催予定。島田市立総合医療センターからの  
WEB配信で行いますが、現地参加者には島田市  
立総合医療センターの施設見学を予定しています。

## 西部 神谷組織理事（代理：小林副会長）

### 経過報告

①令和5年9月

編集委員会

西部TIPS 2023年度 第1号を発行

②令和5年10月21日(日)

社会活動 メディメッセージ2023参加

【浜松市可美公園総合センター】 骨密度測定無  
料体験：207名

③令和5年10月28(土)～29日(日)

社会活動メディメッセージ2023参加

【アクトシティ展示イベントホール】 参加者：  
4,500名

④令和5年11月1日(水)～11月30日(木)

レクリエーション委員会スマホを用いたウォー  
キングイベント開催参加者：94名

⑤令和5年11月11日(土)

西部地区会勉強会&第1回放射線セミナー&胃  
がん健診従事者講習会

日時：令和5年11月11日(土) 13：30～17：00  
(予定)

場所：アクトシティ浜松研修交流センター62研  
修交流室

形式：ハイブリッド開催

消化管に関する演題を2演題含む

共催：バイエル薬品株式会社

演題1、13：30～14：30

「胃がん検診従事者のためのX線撮影技術～  
3Dモデルを使用して～」

講師 公益財団法人神奈川県結核予防会

放射線技術部 主任 中村 真 先生

演題2、14：35～15：35

「画像診断に活かすための上腹部撮像のコツ」

講師 浜松医科大学 放射線診断学講座

診療助教

舟山 慧 先生

演題3、15：40～16：40

「不整脈カテーテルアブレーション治療」

講師 浜松医療センター 循環器センター長兼

循環器内科部長

武藤 真広 先生

⑥令和5年11月27日

第3回西部地区会幹事会

【浜松医科大学医学部附属病院放射線部カン  
ファレンスルーム】 参加者 9名

### 今後の予定

①令和6年1月

編集委員会

西部TIPS 2023年度 第2号を発行予定

②令和6年3月2日(土)

令和5年度 静岡県放射線技師西部地区会勉強  
会・胃がんX線撮影従事者講習会開催予定

日時：令和6年3月2日(土) 14：00～16：20

場所：コンGRESセンター52・53・54会議室

形式：ハイブリッド開催

内容：

演題1、14：00～15：00

「消化器のインターベンション関連」(仮)

講師 聖隷三方原病院 消化器内科

大原 和人 先生 (仮)

演題2、15：10～16：10

「STAT画像(医師と技師の連携)関連」(仮)

講師 京都市立病院 放射線診断科・IVR科

部長

谷掛 雅人 先生

共催：GEヘルスケアファーマ株式会社

③令和6年3月2日(土)

西部地区総会

日時：令和6年3月2日(土) 16：30～17：10

場所：コンGRESセンター53・54会議室

④令和6年3月

編集委員会

西部TIPS 2023年度 第3号を発行予定

⑤令和6年3月

西部地区会幹事会 役員引継ぎ

## V. 常設委員会理事報告

### 寺田学術理事

新春公開講演会が1月13日に開催されます。菅原理事にOne Driveにフォルダを用意して頂き、講師にはそちらにスライドを提出して頂く事になっております。

来年5月の学術大会の枠組みを考えています。ランチョンセミナーは、いくつか候補を出していただき、これから決めていきます。公開講演は認知症、放射線治療を候補にしています。学術大会の演題募集締め切りが1月末になります。演題数は例年通り15～20演題と考えています。

### 企画調査

#### 廣澤理事（代理：牛場副会長）

##### 報告事項

1) 10月20日 第2回企画調査委員会

①令和5年度静岡県放射線技師研修会の決定事項の確認と実行役員決めを行った。

講師依頼の発送は完了しており、今後の予定は、1月上旬に技師会セミナー申し込みフォームの申請を実施する予定。

②第28回静岡県放射線技師学術大会の大会テーマ候補の考案を依頼した。

12月の常任理事会に大会テーマ候補を5点提案し、常任理事会で3点に絞られましたので、本日の協議事項で最終決定をお願いします。

## VI. 監事報告

### 栗田監事

報告はありませんが、1つ質問よろしいでしょうか。アシストデザインのメール誤送信は、先方

から正式な謝罪と今後の対策はありましたか？

### 菅原理事

正式な謝罪は私の方にメールにて頂いております。共有した方が宜しかったですでしょうか。

### 栗田監事

大丈夫です。しっかりと今後の対策が成されればと思っただけです。

### 菅原理事

具体的な対策は頂いていません。人的なケアレスミスでプログラムを走らせる際に、添付メールを間違えたそうです。今後このような事が起こらないように徹底しますとメールを頂いています。

### 高橋会長

小さな会社なので、具体的な改善策は無いと思われれます。菅原理事の方から厳しく注意して頂きましたので、今後このような事が起きないと思います。

### 大倉監事

報告はありません。

## VII. 顧問、事務連絡

### 和田顧問

報告はありません。

### 山本顧問

会員数が1,000人を超えたのは喜ばしいことでもあります。1,050人を超えれば来年度の代議員数が7名になります。

現在、日放技の医療安全対策委員長をやっている、今年度から医療安全管理者養成研修を企画しましたが受講者が23人しかいませんでした。静岡県は0人でした。受講料も3万円と他団体で受講するよりも安いので、来年度以降に受講して頂き

たいと思います。

### 3. 協議事項

#### 高橋会長

協議事項です。

#### I. 新春公開講演会及びアール祭について

##### 中村理事

令和6年1月13日土曜日に、静岡商工会議所で14時からハイブリッド形式で新春公開講演会、17時より森会員の叙勲祝賀会を兼ねましたアール祭を17時より静岡第一ホテルで開催いたします。新春公開講演会ですが、初めに教育講演を行い修士・博士を目指してということで経験談を浜松医科大学医学部附属病院の坂本会員と順天堂大学医学部附属病院の平入会員にお話していただきます。続きまして、公開講演に移りまして、アフターコロナにおける救急医療の現状について中東遠総合医療センターの松島先生に御講演をいただきます。

昨日現在WEB参加の事前登録は会員7名、非会員4名の計11名、賛助会員27名が会場参加していただける旨の返事をいただいております。先日、リハーサルを行いまして、配信のテスト等行いました。先月、無線で秋季講演会を行った際に配信が不安定であったことを踏まえまして、今回は有線で配信を行いたいと思っております。ただ、会場全体にLANケーブルを這わせることとなりますので、ケーブルの固定等をしなければなりませんので、当日は佐藤副会長、菅原理事、福地理事、私の4名で設営準備を早目に進めていきたいと思っております。当日理事の役割分担に関しましては、進行表の通りとなっておりますのでご協力をお願いいたします。

アール祭についてですが、理事の方は除き、昨日現在支払いの有無は別としまして会員6名、賛助会員27名、森会員と前職場に島田市立総合医療センターに参加依頼を掛けまして2名参加の返事をいただき計36名となっております。今回は事前

登録制ですので、登録されていない理事の方は参加登録をお願いいたします。当日の森会員へのお祝いの言葉に関しましては、島田市立総合医療センターのどなたがやっていただけるかについては現在返答待ちの状態です。記念品、花束の手筈はとれております。

##### 高橋会長

ありがとうございます。タイムスケジュールを見ていただいて、自分の役割確認をお願い致します。何か気になる所は御座いますか。

##### 佐藤副会長

アール祭の中締めがタイムスケジュールだと私になっていますが、前回の常任理事会で牛場副会長に決まったと思います。

##### 中村理事

失礼致しました。変更しておきます。

#### II. 令和6年度静岡県放射線技師学会及び総会について

##### 高橋会長

最初に大会テーマを決めます。

- ①技術の躍進～現在の放射線医療～
- ②県民の健康に寄り添う放射線技術の進展
- ③伝えよう、診療放射線技師、技術の革新の3点です。

- ①：0人 ②：8人 ③：4人

多数決で②に決まりました。

##### 大多和組織理事

大会2ヶ月前に会場の方と最終打ち合わせの予定です。まだ予約日は決まっていません。最終打ち合わせの日の下見を合わせるか、下見は別日にするか検討中です。下見の報告は4月の常任理事会で報告いたします。

ランチオンセミナーですが、富士プラザの方で

契約している仕出しやで注文していただければ、弁当の搬入と回収を全てやっていただけるとの事なので、ご検討下さい。

#### 寺田理事

会場は何人収容可能ですか。

#### 大多和組織理事

全部で350名可能です。ホール形式にしますと、会場での飲食が出来ませんので、後面を土間形式にし、長机を並べて飲食する方法にしようかと考えています。

#### 寺田理事

会場全てを土間には出来ないのですか。

#### 大多和組織理事

長机の数に限りがありまして、100席程しか御用意出来ません。前列のホール形式の席が150席ありますので、去年の参加人数を考えれば足りると思います。

#### 高橋会長

下見は早めにしておいた方が良さそうですね。

#### 小林副会長

どのような形態で進めていくかは、一度下見をしてからの方が良いと思います。

#### 高橋会長

下見は2ヶ月前では厳しいと思いますので、年明け早々にでも下見をして来てください。

#### 大多和組織理事

承知しました。

#### 寺田理事

椅子で食事を取っては、いけないのですか。

#### 大多和組織理事

前列のホール形式の席での食事は禁止です。

#### 寺田理事

前日もランチョンセミナーだけ席を移動して、結構大変な思いをしましたので、それだけは避けたいと思います。

お弁当の数は150個でよろしいでしょうか。

#### 高橋会長

去年は150個用意してもらいました。

#### 寺田理事

何演題用意すれば良いか教えて頂けると助かります。締め切りが1月末なので、そろそろ考えていきたいと思います。

#### 高橋会長

ぜひ、各施設で1演題、2演題出して下さい。

今回は役員の改定もあります。総会に関しましては、今までハガキ採決でしたが、コロナも5類に下がりましたので、会場に来て質疑応答を受けて採決を取る形でやって行きたいと思いますが、どうですか。

#### 山本顧問

日放技は今後、電子投票を導入するか検討しています。日放技は代議員制で250人ですけど、静岡技師会は1000人を超えますので、大変だと思います。日放技は事業報告も報告事項になっていまして、審議事項ではないため、大きな審議議題がありませんので、それほど大変にはならないと思います。

定款改定や規定の改定が無い限り電子投票を検討しても良いかと思います。

北海道がこの間、使用したそうです。

#### 高橋会長

それは使えるのですか。

#### 山本顧問

e投票というアプリです。

ハガキ代を考慮すれば、採用しても、よろしいかと思います。

およそ10万円で出来ます。

#### 高橋会長

10万円なら、それほど高額ではありませんね。

#### 山本顧問

議案の審議にも使用可能です。

#### 高橋会長

今から考えて、使用するのは可能ですか。

#### 山本顧問

会員全員のメールアドレスが必要ですので、今からでは大変だと思います。

#### 高橋会長

やはり会場に集まって頂き、審議をし、質疑応答をし、最終的に挙手して賛否を取って行きたいと思います。

#### 中村組織理事

書面決済ではなく、議長一任の委任状でということでもよろしいですか。

#### 高橋会長

はい。その通りです。

#### 寺田理事

総会はWEBはやらないでよろしいでしょうか。

#### 高橋会長

昨年やったのですが、WEB参加が1名だけでしたので、今年はやりません。

#### 寺田理事

再来年度の日程を次回理事会時に教えて下さい。

#### 高橋会長

基本的には5月の最終日曜日に開催です。

#### 小林副会長

2025年ですと5月25日です。

#### 寺田理事

開催場所はアクトシティもしくはプレスタワーを予約しておきます。

#### 佐藤副会長

総会の議長の件は如何しますか。

#### 高橋会長

総会の議長に関しましては、当番地区以外の地区から1名ずつ選出となっていますので、今回は中部と西部から1名ずつ選出して下さい。

#### 小林副会長

選出はどのようにやるのですか。

#### 山本顧問

組織理事が選出して下さい。

### Ⅲ. 令和6、7年度役員改選について

#### 中山選挙管理委員長

来年度は役員の改正になります。役員選出規程第2条により、選挙管理委員会の設置に理事会の承認が必要となります。また、役員選挙規程第7条3項より、理事会選出理事の定数につきましても理事会の承認が必要となります。

本理事会での承認をお願い致します。

[定数]

地区会選出理事 8名

地区会選出理事 8名

監事 2名

### 高橋会長

採決を取ります。

反対：0名 保留：0名 賛成14名

(全会一致承認)

### 中山選挙管理委員長

1月8日付で告示をホームページに掲載する予定です。内容を確認して下さい。

各地区の推薦届は技師会会長と地区会会長宛にて、書類を添付致しまして、メールにて送信します。推薦届の他に、確認書と現職証明書、履歴書等も必要になりますので、一式メールにて送信します。

立候補、推薦候補届提出締め切り日時は令和6年2月9日(金)午後5時とします。

理事会推薦の場合、理事の推薦書署名が必要となりますので、第4回理事会前の2月9日を締め切りとしました。候補者の氏名の告示は令和6年の4月下旬予定です。決議は総会にて行います。

### 高橋会長

告示(案)について採決を取ります。

反対：0名 保留：0名 賛成14名

(全会一致承認)

賛成となりましたので(案)を抜いて下さい。

### 牛場副会長

昨年私たちが記載した書類はダウンロードではなく、紙が送られてきたのですが、やり方が変更したのですか。

### 高橋会長

立候補者のための書類で、立候補者達に告示をしなければなりません。

### IV. 企画申請書、報告書について

特になし。

### V. その他

特になし。

### 高橋会長

他に報告事項・協議事項等無いようなので以上をもちまして令和5年第3回理事会を終了します。

※議長が第3回理事会の終了を宣言したので、令和5年12月16日16時10分理事会を閉会。

議事録作成 福地 大介

# 令和5年度 第4回 理事会 議事録

1. 開催日時 令和6年2月17日(土)  
14:00～17:00
2. 場 所 技師会事務所+WEB会議
3. 出席者 (敬称略)  
高橋 真・牛場 克明・佐藤 正明・  
小林 秀行・中村 真也・河井 淑裕・  
福地 大介・野沢 滋幸・菅原 和仁・  
齋藤 忍・常葉 勇介・大多和純一・  
中村 英明・神谷 正貴・廣澤 賢一・  
寺田 理希・栗田 仁一・中山 修・  
山本 英雄(顧問)・和田 健(顧問)  
欠席者  
大倉 善郎

## 1. 会長挨拶

### 高橋会長

2023年度第4回理事会をはじめます。定款第6章の第34条に従いまして、会長の高橋が議長を務めさせていただきます。

議事録につきましては、総務庶務の河井理事にお願いをいたします。発言者以外はマイクをオフにしてください。

## 2. 報告事項

### I. 会長報告

1月1日に発生した能登半島地震における被災者およびお亡くなりになられた方に謹んでお悔やみを申し上げます。また現状も支援にあたっていただいている皆様に敬意を表したい。JARTから放射線技師の派遣なども行っているが、これについては後程報告を行う。

### JART報告

・本年10月よりインボイス制度が始まりJARTで

も対応している。下記の点について本会宛に費用請求される領収書、レシートについて留意ください。別紙参照

①店名及び必ずTで始まる13桁の番号の記載のあるもの ②年月日の記載 ③購入品・品目の記載

④税率(8%、10%)ごとに区分された額(税込もしくは税抜き)

⑤税率ごとに区分した消費税額又は適用税率(10%、8%)

領収書の宛先は「日本診療放射線技師会」と記載されていることを徹底下さい。

・12月下旬 原子力規制庁からJARTに、原子力災害時の対応についてのアンケート 対応可として返答

・1/1に発生した能登半島地震について 災害支援認定技師の派遣要請の準備依頼あり(有資格者県内5名)

・認定技師の災害派遣要請の事前調査について、牛場副会長より、県内5名の認定技師から承諾を得た旨を界外中日本地域理事に報告。

・能登半島地震義援金募集について(別紙参照)能登地域を中心とした多くの会員に被害が及んでいることから、義援金を配布したいと考えている。

義援金募集の趣旨をご理解いただき支援をお願いしたい旨の連絡があり、連絡網にて伝達を依頼。

### 中日本報告

・能登半島地震について

北陸3県会長と支援技師スケジュールを取り合い、要請があった施設への派遣調整を行っている。

JARTの江端理事と富田副会長が支援に入ったとの報告あり。

DVTに関するエコー検査の可能な放射線技師の派遣について相談があり、東海地区のとりま

とめである県立総合病院中村会員が対応。結果的に派遣は見送り。

- ・2/4 東海四県診療放射線技師学会大会について（別紙参照）

演者に対する旅費支給は不可能な規約となっているので再度周知を。

## 会長報告

- ・男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰について（別紙参照）

- ・1/21開催「基礎技術講習 乳房撮影講習会」をJART情報誌ネットワークナウ3月号への執筆依頼があり、曾我生涯教育委員長に依頼。

- ・12/21 県立ち入り検査実施（別紙参照）

1. 前回指摘された箇所については改善されており問題はなかった。
2. 臨時理事会の招集案内がない。規約通り7日以内に関係者に通達すること。
3. 新春公開講演などの下見についても、企画書・報告書を作成し、支出費用が出納帳の帳簿通りになっていることが確認できるようにすること。
4. 表彰委員会から依頼が出ているクオカード（10万円以上）は、会長の承認が必要であるがその記録がない。
5. 役員改選時の就任承諾書についてはコピーをとり、確認書とともにファイリングすること。

- ・1/13 新春公開講演会の中止について

- ・1/9 ちから会計事務所 令和6年度静岡県放射線技師会予算計画の策定

- ・1/30 原子力緊急時災害連絡を実施

- ・3/9 表彰委員会開催予定（第13回定時総会における永年表彰について）

- ・静岡医療科学大学より卒業式（3/9）の祝電依頼

- ・医師会より、医療事故調査等支援団体連絡協議会・研修会への参加要請（別紙参照）

## II. 副会長報告

### 東部（委員会報告）

#### 東部 牛場副会長

#### 災害対策委員会

○令和5年度静岡県原子力防災訓練実施  
2024/1/30-2/4

- ・1/30（火）原子力緊急時災害連絡網伝達訓練を実施

10:00高橋会長より

『浜岡原子力発電所において、大規模な火災が発生し傷病者が多数の一報が入りました。放射性物質による汚染が想定されますので各施設におかれましては除染を含めた傷病者の受け入れ体制をお願いします』の内容で発信しました。

#### 結果

施設名	担当者	連絡時間
・富士宮市立病院	玉田	11:30
・榛原総合病院	深津	12:00
・袋井市立聖隷袋井市民病院	疋野	11:32
・JA静岡厚生連遠州病院	筒井	10:55
・静岡市立清水病院	大瀧	11:05
・聖隷沼津病院	田沢	11:35

- ・2/4（日）実動訓練 中止

○静岡県原子力災害医療ネットワーク協議会の開催3/14（木）13:30-

#### ワークライフバランス検討委員会

○第8回ワークライフバランス検討委員会研修会

- ・1/27（土）14:00~16:20 WEB開催

新生涯教育システム（ラダーシステム）とSTAT画像報告について

参加者：131名（会員99名、非会員32名）

#### 企画調査委員会

○令和5年度静岡県放射線技師研修会

- ・2024年3月16日（土）WEB 14:00~16:00（受付開始 13:30）

講演1「コロナに対する啓発本作成経験」

講演2「画像診断レポートの既読管理」  
事前登録なし

## 中部（会務報告）

### 中部 佐藤副会長

報告事項なし。

## 西部（部会報告）

### 西部 小林副会長

○部会報告（12月～2月）

#### ☆超音波部会

・会議「令和5年度合同部会研修会打合せ」  
日時：2023年12月25日（月） 19：30～20：30  
方法：WEB

#### ☆管理士部会

・第52回放射線技師のためのセミナー  
日時：2024年1月27日（土） 13：30～17：10  
場所：静岡市立静岡病院 西館12階 講堂  
方法：ハイブリッド開催（会場+WEB）  
参加者：会員75名（会場28名、WEB47名 県内  
会員40名 県外17名、非会員14名、メーカー4名）

#### ☆予定

・MRI・アンギオ両部会の合同主催研究会  
日時：2024年3月16日（土）14：00～  
・超音波・乳腺画像両部会の合同主催研究会  
日時：2024年2月23日（金・祝）14：00～

#### ○活動方向

☆第64回東海四県診療放射線技師学術大会  
日時：2024年2月4日（日）  
場所：ミッドランドスクエアホール（名古屋）  
会長会議（12：30～13：30）へ参加  
当日12：00時点  
参加者265名 愛知162名 岐阜45名 三重43名  
静岡27名 学生10名 その他3名。事前登録280  
名で打ち切り（1/28）。

前回5年前220名の参加。250名で一度打ち切り、  
問い合わせがあり、280名まで増加。その後も問  
い合わせがあったが会場の問題で終了。当日受付  
を数名許可した。

県内から2名会員発表（聖隷浜松病院 長谷川会  
員、国際医療福祉大学熱海病院 森田会員）

・第63回東海四県診療放射線技師学術大会（静  
岡）について

収支報告を行いました。特に問題なし

・第65回東海四県診療放射線技師学術大会につ  
いて

2025/2/16（日）じゅうろくプラザ（岐阜）で  
開催が決定

・東海四県診療放射線技師学術大会規定の一部改  
正について

講師謝金の上限を44,000円から50,000円へ変更

## 寺田理事

これまで規定を見たことがない。学術委員会で  
今後協議する際に必要なので今回を機に役員に対  
し周知をお願いしたい。

## Ⅲ. 常任理事報告

### 総務 中村理事

先月開催されました新春公開講演会ならびに  
アール祭はお疲れさまでした。皆様のご協力のも  
と滞りなく終了できました。今後の予定としては来年  
度の賛助会員の調査と県のみ会員への会費請求で  
ある。

### 総務庶務 河井理事

公文書発番管理実績

令和5年12月15日（前回理事会）～令和6年2月  
16日（直近）まで

R05-06 公文書 原子力緊急時災害連絡網

R05-07 公文書 令和5年度静岡県原子力防災  
訓練における協力会員派遣

R05-08 後援申請 第27回静岡県理学療法学術大

会

## 庶務一般 福地理事

### 【報告事項】

- ・令和5年度事業報告原稿依頼を近日中にメールにて依頼します。締め切りは3月22日です。関係各位に於きましては原稿作成をお願いします。
- ・胃がん検診従事者講習会の県への報告を3月中～下旬に行いますので、各組織理事の方に於きましては講習会終了後、速やかに必要書類の提出をお願いします。

### 【会員動静】

(令和5年12月01日から令和6年01月31日まで)

- ・新入会申請 2名  
飯塚 竜也(東部) 山下 あいり(東部)
- ・転入 1名  
伊藤 光代(西部)
- ・転出 1名  
中平 賢志(中部)
- 新入会2名、転入1名、転出1名  
以上4名につきまして、定款第3章第6条に基づき、本理事会での承認をお願いします。

## 高橋会長

採択を取ります。

反対：0・保留：0・賛成：17

(全会一致承認)

## 庶務会員管理 野沢理事

会員数と今年度の会費納入状況を報告致します。  
総会員数1068名、東部298名、中部314名、西部448名、県外8名。

年会費未納者リスト2023年12月納入分までの資料で、

2年未納者5名、1年未納者51名、合計56名。

納入率 全体94.8%。

納入率 東部93.6% 中部95.9% 西部95.0%

日本放射線技師会より令和5年度会員資格喪失

者(除籍)は2月の理事会で承認され、4月1日が除籍退会日となります。

会員数及び、2023年度会費納入状況(会費は12月納入分まで)は資料のごとく。

## 会計 斎藤理事

### 【報告事項】

- ・会計より  
3/4より静岡銀行の両替が有料化されることに伴い、両替のかかる費用が実績より7,500～10,000円かかる見込み。運用変更はせず、次年度の実績をもとに次々年度の予算に組込む方向。
- ・能登支援募金に関して  
現在8,800円集まっている。本日をもって一度締め切り、支援金として送る予定。
- ・委託事業報告  
乳がんに関する委託事業を1/28県立がんセンターにて。乳腺超音波検査の内容を含め開催した。初めて臨床検査技師会へ案内をして頂き開催し、医師11名、診療放射線技師36名、臨床検査技師33名、計80名参加。

## 高橋会長

デジタルマンモグラフィについては、関係部署と連携して、名称変更について継続的に検討を続けていきたいと思います。

## 編集 常業理事

- ・総会、学術大会 原稿担当予定  
表紙、裏表紙：編集理事  
第13回定時総会式次第：総務理事  
令和5年度事業報告：庶務一般理事  
会計報告：会計理事  
監査報告：監事  
令和6年度事業計画：会長  
収支予算書：会計理事  
学術大会プログラム：学術理事  
発表演者、座長へのご案内：学術理事

## 賛助会員一覧：総務理事

\*事業報告は庶務一般理事が3月初旬に各理事、部会、委員会に原稿依頼。締め切りは3月下旬。会計報告は会計理事が会計事務所の方から原稿をもらいます。監査報告は会計報告をもとに監査を4月上旬～中旬に行います。収支報告、監査報告が届き次第、メールにて松本印刷に送り、印刷作業を開始します。学術大会プログラム、予稿集は学術委員会で作成します。賛助会員募集を総務理事が3月上旬に募集し、下旬に締め切り。それをまとめ、議案集にリストを掲載する。

各々が担当した原稿を編集理事に送り、まとめて議案集の形にして印刷、製本します。4月末～5月初頭の発送に間に合わせるため原稿ができ次第編集理事へご寄稿下さい。各担当者で作成された原稿は編集では誤字脱字等の修正はしません。提出頂く際には間違いのないようにチェックまでお願いします。

- ・次号ジャーナル発行3/22(金) 18:00～  
同封書がありましたら事前に連絡の上、必要部数を発送前日までにご用意ください。
- ・総会がきレイアウト案についての協議を後程  
お願いします。

## 広報 菅原理事

### 【報告事項】

常任理事 広報

12/24 アール祭申込者問い合わせ。入金確認の依頼

1/9 HP緊急掲載 新春公開講演会中止のお知らせ

1/10 ジャーナル行事予定 令和6年度4月～7月 修正依頼

1/12 新春公開講演会 後援依頼先への中止連絡とチラシ配布先への撤去連絡11か所

1/31 学術大会 会場(富士市交流プラザ)下見参加

## 情報管理

12/18 HP掲載期限延期

・セミナー申込：第30回アール祭(叙勲祝賀会)の期限「1月25日まで延期」

・その他おしらせ：「削除」

■誤送信メールのお詫び

■当会ホームページへのSSL導入のお知らせ

■カウント付与反映遅延について(お詫び)「削除」

12/28 HP専用ページ作成

・候補者推薦届、理事会推薦理事候補者届 書類ダウンロードページ

・告示文

1/12 告示文ダウンロード方法の説明追加

・必要書類一括ダウンロード「安全にダウンロードすることが出来ません」と表示される対処法

1/26 ワークライフバランス検討委員会・管理士部会 リマインドメール依頼

1/27 ワークライフバランス検討委員会 事務所にて使用機器説明

1/27 管理士部会(ハイブリット開催・配信補助)

1/27 ワークライフバランス検討委員会 開催規模500名に変更

1/27 第18回静岡県MRI技術研究会・第58回静岡県アンギオ部会合同研修会 参加募集掲載依頼

1/30 管理士部会 ZOOM参加者レポート 提出

2/1 令和5年度第2回胃がん検診X線撮影従事者講習会放射線セミナー ZOOM URL発行

2/13 第28回学術大会発表者利用OneDriveホルダー作成

・セミナー募集開始

1/19 令和5年度静岡県放射線技師研修会 募集開始

1/24 第39回乳腺画部会 第82回超音波部会 合同研修会 募集開始

2/5 第18回静岡県MRI技術研究会・第58回静岡県アンギオ部会合同研修会

求人求職

・なし

#### IV. 地区選出理事報告

##### 東部 大多和組織理事

活動報告

R5/12/16 東部地区会たよりvol.3をメールにて配信

R6/1/27令和5年度第2回放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会をWEB配信にて開催

参加51名（東部地区会員49名、非会員1名、県外講師1名）

R6/2/8 第4回 東部地区幹事会を開催

今後予定

R6/2月中旬 東部地区会たよりvol.4及び東部地区会総会資料、決裁用ハガキを郵送

R6/3月上旬 東部地区会第62回通常総会をハガキ決裁により開催予定

R6/3月下旬 次年度東部地区会事務局との引継ぎ予定

##### 中部 中村組織理事

中部地区会理事会活動報告

2024/1/12(金)

3/2の第2回放射線セミナー、胃がん検診X線撮影従事者講習会の会場の下見（島田市立総合医療センター）参加者5名（島田医療センターの協力者の方も含む）

当日セミナーのPC配置、LANコンセント、プロジェクター、音響、講堂までのルート、ZOOM接続など諸々確認してきました。

2024/1/19(金)

来期中部地区選出理事、地区会幹事の係の割り振り会議（技師会事務所）

現理事、次期理事、現地区会幹事（幹部）、次期地区会幹事に参加していただき担当する役職などを決めました。現職と新任合わせて26ポスト、24

名の参加者

2024/1/26(金)

第6回中部地区会幹事会開催、3/2の第2回放射線セミナー、胃がん検診X線撮影従事者講習会、令和5年度中部地区会総会について検討。

(ZOOM)

2024/2/3

地区会ニュース（新春号）発行、総会資料（議案書）郵送

今後の予定

2024/2/22

第7回中部地区会幹事会開催、3/2の放射線セミナー胃がん講習会の直前打ち合わせ、総会の打ち合わせ（ZOOMにて）

日時：2024/3/2(土) 14時～16:30

令和5年度第2回胃がん検診X線撮影従事者講習会、放射線セミナー、総会開催予定。（島田市立総合医療センターよりHYBRID開催）

プログラム

第2回胃がん検診X線撮影従事者講習会

「デジタルX線透視撮影システムの最新画像処理技術と、装置の機構について」

富士フイルムヘルスケア株式会社

須賀 健悟 様

「X線透視装置 CUREVISTA Openの使用経験」:

島田市立総合医療センター 村松 恵太 技師

「当院の胃部X線撮影検査の業務の現状と課題」:

静岡済生会総合病院 栗原 春雄 技師

第2回放射線セミナー

島田市立総合医療センター施設概要説明、見学（現地参加者のみ）

2024/4月上旬

令和6、7年度新幹事への送り

## 西部 神谷組織理事

### 経過報告

#### ① 令和6年1月

編集委員会

西部TIPS 2023年度 第2号を発行

### 今後の予定

#### ① 令和6年3月2日(土)

勉強委員会

令和5年度 静岡県放射線技師西部地区会勉強会  
・胃がんX線撮影従事者講習会開催予定

日時：令和6年3月2日(土) 14:00~16:20

場所：コンgresセンター52・53・54会議室

形式：ハイブリッド開催

内容：演題1、14:00~15:00

「X線TV装置を用いた消化器インターベンションについて」

講師 聖隷三方原病院 消化器内科

大原 和人 先生

演題2、15:10~16:10

「急性腹症のCT — 予期しない、危険な疾患を見逃さないための6つのcheck point —」

講師 藤沢市民病院 放射線診断科

専門医長 谷掛 雅人 先生

共催：GEヘルスケアファーマ株式会社

#### ② 令和6年3月2日(土)

西部地区総会

日時：令和6年3月2日(土) 16:30~17:10

場所：コンgresセンター53・54会議室

#### ③ 令和6年3月

編集委員会

西部TIPS 2023年度 第3号を発行予定

#### ④ 令和6年3月19日(火)

西部地区会幹事会 役員引継ぎ

日時：令和6年3月19日(土) 18:00~

場所：浜松医科大学 杏林堂スマイルテラス2階

## V. 常設委員会理事報告

### 寺田理事

11から12月の間に学術委員会メール会議にて学術大会ランチョンセミナー内容をシーメンスとGEに決定。今月中に演題名を決めていただく。公開講演は認知症についての講演を聖隷三方原病院の磯貝先生に依頼し承諾済み。一般演題は31演題あり、後程協議をお願いする。

### 企画調査

### 廣澤理事

報告事項なし。

## VI. 監事報告

### 栗田監事

報告事項なし。

### 顧問報告

### 和田顧問

報告事項なし。

### 山本顧問

震災におけるJARTから応援の件について。震災発生3日後からJART江端理事が県庁に入っている。その後富田副会長も現地入りし、現場で実働業務を行っていたとの事である。実際の応援は災害認定技師である必要はなく、普通に業務が出来れば十分力になる。

JARTで6月に総会があり信任投票が行われる。次回から新たなWEB投票システムとなる予定。

## 3. 協議事項

### 高橋会長

協議事項です。

## I. 令和6年度事業計画(案)承認の件

事業計画案について読み上げる。

### 2024年度 事業計画書

#### はじめに

2024年度は、医療保険の診療報酬・介護保険の介護報酬・障害福祉サービスの報酬、3制度の改正が同時に行われます。改定率は、診療報酬全体で実質的な本体改定率はプラス0.46%（診療報酬本体+0.88% 薬価等▲1.00%）、介護報酬改定の改定率はプラス1.59%、障害福祉サービス報酬改定率はプラス1.12%と、処遇改善を踏まえた改定となっており、高齢化社会の進行による医療費の増大や、医療・介護人材の不足などの課題解決が目的となっています。この改定にあたり喫緊の課題となっているのが2025年問題、2040年問題です。2025年度には『団塊の世代』がすべて75歳以上の後期高齢者となり、医療・介護のニーズが急速に増大することが想定されております。更に2025年を過ぎて2040年にかけては生産年齢人口が急激に減少し、医療・介護の支え手となる人材の確保がより一層難しくなるともいわれております。このような情勢において、2024年4月からは医師の働き方改革がスタートします。また、日本診療放射線技師会が掲げるJART Vision2040では、本会の組織率の向上を踏まえた長期目標として「国民から求められる新たな役割の獲得」として、「放射線業務以外の拡大」「病院以外の業務拡大の必要性」などが掲げられており、我々診療放射線技師は、業務移管の遂行を推し進め、新たな業務拡大を目指す必要があります。本会としても、まずは2024年度も昨年の事業を継承し、告示研修（令和3年厚生労働省告示第273号研修）を通じ働き方改革の推進を推し進め、各種研修会、学術大会など、会員の技術向上を図ってまいります。県民に向けては、引き続き魅力ある内容で公開講演会を開催し、また、ふれあい広場などの広報活動や、ホームページを通じての放射線の正しい情報や被ばく

相談も実施してまいります。本年1月1日の発生した能登半島地震が記憶に新しいところではありますが、このような大規模な自然災害を含め、静岡県との連携を踏まえた静岡県原子力災害時防災訓練へ積極的に参画し、診療放射線技師の役割を強化してまいります。

本会は、診療放射線技師としての資質の向上と職業倫理の高揚に努め、安全で質の高い医療の提供を行い、県民の医療に対する期待に応えていくことを目指しています。

2024年度事業内容は、下記に示す通りです。公益目的事業の更なる推進に向けて関連の職種や県民に参加を広く呼び掛けてまいります。

#### (事業内容)

##### 1. セミナー等による診療放射線技術の向上発展のための研修事業

###### (1) 講演・学術大会

○第28回静岡県放射線技師学術大会 2024年5月26日 於 富士市 富士交流センター  
大会テーマ「県民の健康に寄り添う放射線技術の進展」

公開講演、及び日常業務の改善を含んだ会員研究発表会を開催し、会員・非会員が参加して診療放射線技師としての技術の修得と、技術的な意見交換を図る。

###### 地方学術大会への参加

○第1回 日本放射線医療技術学術大会 (JCRTM2024)

(第40回 日本診療放射線技師学術大会・第52回 日本放射線技術学会秋季学術大会合同大会)

2024年10月31日～11月3日 於 沖縄県 沖縄コンベンションセンター

大会テーマ「ゆいまーる～診療放射線技術の共創～」

本学術大会は、日常業務に直結した学術研究発表の場として、また画像診断の読影補助に関する取組みや、医療の原点である診療報酬改定に関す

る情報収集や専門部会活動などを通して、放射線技術の向上と診療放射線技師としての資質の向上を図る。

○第16回中部放射線医療技術学術大会 2024年12月7日～8日 於 岐阜県 じゅうろくプラザ  
大会テーマ「技術の革新と叡智の伝承 -放射線医療の新たな使命-

本学術大会は、診療放射線技師・学生・工学者などの最新の研究や、多岐にわたる分野の学術研究発表等により情報交換の場として開催し、高度な放射線技術学の研鑽を深めて医療現場に応用する。

○第65回東海四県放射線技師学術大会 2025年2月17日 於 岐阜県じゅうろくプラザ

本学術大会は、専門分野の更なる追究や、最新の学術的特別講演を主にして日常業務の情報交換を行い、放射線技術の向上を図る。

## (2) 研修・講習事業

○放射線技師研修会 2025年3月会場未定

会員・非会員を対象にして、診療放射線技師としての質的向上に関する画像診断学の修得を図る。

○第13回新人教育セミナー（フレッシュャーズセミナー）2024年7月 於 静岡県放射線技師会事務所

新人診療放射線技師（会員・非会員）に対して、技師会定款・諸規程や技師会入会案内、エチケット・マナー講座、医療安全講座、感染対策講座、気管支解剖講座、胸部単純撮影講座などを受講させ人材の育成を図る。

○デジタルマンモグラフィ講習会2024年 会場未定

マンモグラフィ撮影認定技師を対象に、デジタルマンモグラフィの品質管理に関する講義、実習を行い、検査精度の向上を図る。

○放射線セミナーおよび胃がん検診従事者講習会（東部・中部・西部地区開催）

東部・中部・西部地区の会員・非会員、そして関連メーカーを対象に、放射線検査等に使用され

る医薬品の最新情報や胃がん検診に関する診断学、病理学など専門的な情報の習得を図る。

○業務拡大による告示研修（開催年10回）2024年6、7、9、11月、2025年2月 於 東部・中部・西部 各地

2021年診療放射線技師法改正に伴い厚労省から指定された、「令和3年厚生労働省告示第273号研修（告示研修）」を県内すべての診療放射線技師を対象に実施する。

## (3) 専門部会の活動

○超音波、MRI、アンギオ、乳腺画像、管理士部会の5部会活動

それぞれの部会が年2回、専門的かつ最新の情報を習得するための研修や、関係メーカーや医師からの診断学の講演、会員・非会員、そして他職種も参加しての情報交換を行い、医療機関において修得した技術の応用を図る。

## (4) 出版物等による情報提供

○静岡県放射線技師会誌「しずおかジャーナル（年3回）」の発行

講演内容や部会活動の報告、委員会活動報告、そして理事会報告を会員だけに限らず、賛助会員をはじめ関係団体、そして他県放射線技師会へ活動内容を広報する。

○静岡県放射線技師学術大会抄録集（年1回）の発行

静岡県放射線技師学術大会での研究論文を、会員・非会員、そして賛助会員へ情報発信し、その成果を共有することにより医療機関での技術学の研鑽に寄与する。

○ホームページによるセミナーや研修会等の情報公開

会員・非会員への企画情報手段として、従来の会告案内と併せてホームページ上での広報も充実する。

## (5) 周年記念事業

○今後、大きな節目となる時期に過去の足跡を振り返り、その時代の高度な技術を県民に還元する

内容等の講演会や記念誌発刊等を企画していく。

## 2. 体験活動、講演、相談等の事業による放射線検査に関する知識の普及啓発事業

### (1) 体験活動

○第44回静岡ふれあい広場での活動 2024年9月  
於 静岡市 青葉シンボルロード

中部地区市民を対象にした乳がん検診啓発活動、腹部超音波無料体験や骨密度測定無料体験、そして放射線被ばく相談等により市民の健康増進と健康不安の解消に務める。

○東部地区ふれあい広場での活動 2024年11月  
東部地区市民を対象にした乳がん検診啓発活動、骨密度測定無料体験や放射線被ばく相談等により、市民の健康増進と健康不安の解消に務める。

○西部地区ふれあい広場での活動 2024年10月

○メディアメッセージ2024での活動 2024年10月26日～27日 於 静岡市 ツインメッセ静岡  
県民を対象にしたMRI装置体験、3D画像体験、乳がん検診啓発活動、放射線被ばくに関する相談コーナーを設けて、市民の健康増進と健康不安の解消に務める。

### (2) 一般公開講演

○新春公開講演会 教育・公開講演開催 2025年1月11日 於 静岡市

会員・非会員・一般および関連メーカーを対象にした、疾病予防対策や画像診断に関する講演等について、高名な専門医から日常生活での健康管理に役立つ最新情報の習得を図る。

○レントゲン週間事業（秋季公開講演会） 2024年11月2日 静岡県産業経済会館

県民対象にがん検診啓発活動の一環として第一線でご活躍の先生をお迎えして、最新の治療方法と予防対策等についての講演等を行い、がん検診受診率向上を目指す。

### (3) インターネットの利用

○ホームページによる放射線検査の説明、相談  
ホームページを利用して放射線に関する情報公

開や放射線被ばく相談等により、県民の健康不安の解消に務める。

## 3. 研修、訓練等による放射線管理及び安全推進事業

### (1) 研修・講習会

○原子力災害緊急時対策研修会 2024年11月16日  
会場未定

会員・非会員を対象に、中部電力の協力による放射線汚染に対する被ばく測定の実地訓練や、GMサーベイやホールボディカウンター等の取り扱い方の周知徹底を図り、有事に備える。

### (2) 防災訓練

○静岡県原子力防災実働訓練への参加 2025年2月 スクリーニング会場  
静岡県主催の地域住民参加型の原子力防災訓練に対して、放射線汚染測定スクリーニングのため、診療放射線技師を県防災訓練指定地区等に派遣し、汚染測定の実地訓練を行う。

○原子力災害想定の情報伝達訓練 2025年1月  
会員・非会員を対象に、原子力災害を想定した机上情報伝達訓練を施行して、万が一に備える。

○GMサーベイメータの点検・校正  
放射線汚染測定実地訓練のため、年1回点検及び校正を行う。

## 4. 会員に対する相互扶助事業

○表彰事業 2024年5月26日総会時 20年永年勤続、35年永年勤続表彰、松本賞、感謝表彰

○アール祭 2025年1月11日 会員、賛助会員、非会員との情報交換の場

前回提示したものに対し若干の修正を加えた。確認いただき、指摘事項があれば申し出ていただきたい。

### 高橋会長

採択を取ります。

反対：0・保留：0・賛成：17

(全会一致承認)

## II. 令和6年度収支計画(案)承認の件

### 斎藤理事

令和6年予算案について、まず各事業について説明。令和4年度5年度を参考に作成。昨年の事業の再開に伴い、旅費交通費、通信運搬費、会議費、賃借料を増額し、消耗品費は昨年実績額にあわせて減額している。

#### 公1事業

給料手当：事務員時給UP分 11,100円追加し268,100円。

旅費交通費：昨年度の実績額に合わせて100,000円追加し330,000円。

通信運搬費：昨年度の実績額に合わせて74,000円追加し470,000円。

賃借料：昨年度の実績額に合わせて300,000円追加し570,000円。

#### 公2事業

給料手当：事務員時給UP分 3,700円追加し88,700円。

通信運搬費：昨年度の実績額に合わせて58,000円追加し88,000円。

#### 公3事業

給料手当：事務員時給UP分 3,700円追加し88,700円。

会議費：昨年度の実績額に合わせて23,000円追加し100,000円。

旅費交通費：昨年度の実績額に合わせて50,000円追加し100,000円。

通信運搬費：昨年度の実績額に合わせて45,000円追加し74,000円。

消耗品費：昨年度の実績額に合わせて180,000円減額し10,000円

#### 相互扶助事業

給料手当：事務員時給UP分 3,700円追加し88,700円。

通信運搬費：昨年度の実績額に合わせて42,000円追加し72,000円。

#### 経常収益

正会員受取会費：会員数に合わせて160,000円増額。

#### 経常費用

給料手当、福利厚生費：事務員増員と時給UP分で増額。会議費、旅費交通費、通信運搬費、賃借料：昨年度実績額に合わせて増額

消耗品費：昨年実績額に合わせて減額とし、772,700円増額。

経常収益計11,791,500円、経常費用計 12,327,000円となり経常増減額535,500円となる。

特別費用準備資金の600,000円を周年事業費として使用するため、その金額を引くと増減額は64,500円となる。

続いて議案集用の内容について説明。

令和4年度・5年度を参考に作成、昨年の事業の再開に伴い、旅費交通費、通信運搬費、会議費、賃借料を増額し、消耗品費は昨年実績額にあわせて減額している。

#### 1. 経常収益

正会員受取会費会員数に合わせて160,000円増額し8,650,000円。

経常収益計11,791,500円。

#### 2. 経常費用

事業費－給料手当：事務局員時給UP分 22,200円増額し534,200円。

事業費－会議費：昨年度の実績に合わせて23,000円増額し713,000円。

事業費－旅費交通費：昨年度の実績に合わせて150,000円増額し791,000円。

事業費－通信運搬費：昨年度の実績に合わせて  
219,000円増額し704,000円。

事業費－消耗品費：昨年度の実績に合わせて  
180,000円減額し710,000円。

事業費－賃借費：昨年度の実績に合わせて  
300,000円増額し670,000円。

管理費－給料手当：事務局員時給UP分 14,800  
円増額し358,800円。

管理費－会議費：昨年度の実績に合わせて  
200,000円増額し1,000,000円。

管理費－通信運搬費：昨年度の実績に合わせて  
196,000円増額し276,000円。

管理費－消耗品費：昨年度の実績に合わせて  
250,000円減額し300,000円。

管理費－保険料：役員交代登録費用として23,000  
円増額し28,000円。

管理費－租税公課：役員交代登録費用として  
54,700円増額し95,000円。

経常費用計12,327,000円。

### 3. 経常増減額 64,500円

経常収益計1,791,500円、経常費用計12,327,000円  
となり経常増減額535,500円となるが、特別費用  
準備資金の600,000円を周年事業費として使用する  
ためその金額を引くと増減額は64,500円となる。

## 高橋会長

採択を取ります。

反対：0・保留：0・賛成：17

(全会一致承認)

## Ⅲ. 理事会選出理事候補者承認の件

### 中山選挙管理委員長

役員改選について、地区会推薦理事8名と監事  
2名、理事会推薦理事8名の推薦届を確認しまし  
た。

候補者を紹介します。

### 東部地区会推薦

牛場克明 富士脳障害研究所附属病院

上棚稔之 有隣厚生会富士病院

嶋崎龍洋 富士宮市立病院

### 中部地区会推薦

天野守計 藤枝市立総合病院

中村元哉 静岡県立総合病院

### 西部地区会推薦

小林秀行 聖隷健康診断センター

寺田理希 磐田市立総合病院

鈴木康太 聖隷三方原病院

### 理事会推薦

高橋 真 すずかけセントラル病院

中本伊織 桜ヶ丘病院

鈴木啓洋 焼津市立総合病院

平入哲也 順天堂大学医学部附属病院

吉野将史 静岡赤十字病院

野末恭弘 島田市立総合医療センター

三浦 篤 静岡市立静岡病院

澤根隆文 湖西病院

### 監事

佐野祐二 国際医療福祉大学熱海病院

斎藤 忍 聖隷予防検診センター

以上18名です。

理事会推薦の8名について、理事会の承認をお  
願いします。

## 高橋会長

理事会推薦の8名について採択を取ります。

反対：0・保留：0・賛成：17

(全会一致承認)

## 中山選挙管理委員長

公示について4月末にHPに掲載され総会で決議となります。

## IV. 総会における採決の件

### 高橋会長

今回は書面採決でなく会場採決となる。WEB配信はしない。総会欠席者に対する決済はがきの内容について確認。誤植のみ修正したもので進める。

## V. 令和6年度静岡県放射線技師学術大会及び総会について

### 大多和理事

先日実施した下見の結果、前方ホール、後方平土間形式とした。リハーサルの際にこのレイアウトにて行う。ホール席で150席、後方スペースで200席以上は設置可能。リハーサルを3/29金曜17:50に予定。スクリーンは2重となっておりそのうち奥の方を使用する。横断幕は板に張り付けるタイプ。紙とするか看板とするかは検討中だがスクリーンの投影に被らないようにする。垂れ幕は手配に1か月以上はかかりそうなので早めにサイズを確認し業者に依頼する。参加者受付場所・弁当受け渡し場所の提示や役員名簿・役付けなどについては準備中。臨時理事会は会議室2を確保し30名程度収容可能。また控室1、2とその間のスペースが使用可能。弁当手配数は180食程度を想定。会場最終確認・打ち合わせを3月初旬に行う予定。補足だが、現地で現金を徴収する場合、会場に手数料を支払う必要があるとの話があった。ただし、あくまでも営利目的での会場使用の場合と思われる。

### 高橋会長

今年は総会中に扉を閉める形となる。3/14常任理事会にて詰めた内容について牛場副会長から提示していただき、4/11常任理事会で大多和理

事に出席いただき最終の報告をお願いする。

### 寺田理事

会告の確認をお願いする。通常は発表7分、質疑応答3分の10分刻みであるが今回は演題数が31題であり、それぞれ2分ずつ短縮とし8分刻みとすることで全演題を採用したい。演者・座長とも時間厳守を徹底するようお願いしたい。ランチョンセミナー・公開講演の座長は学術委員会の方から選出する。一般演題の座長は大多和理事に依頼済み。選出が東部地区で不足する場合は中部地区にも協力を依頼する。公開講演の演題名も含めて今月中には決めたい。また、企画申請書を学術分記載して提出してあるので、予算分を大多和理事に記載していただき常任理事会で承認をお願いする。

### 牛場副会長

現状の座長の決定状況は？

### 寺田理事・大多和理事

現時点ではセッション1、3、6で未だ決まっていない。各演題はOneDriveを使用し共有する予定である。

### 菅原理事・廣澤理事

配線図の確認とPC5台での運用を想定。配信の説明レイアウト2案でリハーサルを実施する。

### 中村理事

会告案について確認を。

### 高橋会長

その他の項目だけ追加して下さい。

## VI. 企画申請書、報告書について

なし

## Ⅶ. その他

### 菅原理事

配布資料内容を参照。Microsoft365契約更新で値上げ、値上げ前に翌年分を予め契約する。

ZOOMオプション割引終了

- ・静岡県放射線技師会にて使用中のMicrosoft 365利用料金における価格改定が行われます。  
契約会社名：GMOインターネットグループ株式会社

サービス名：お名前.comのレンタルサーバーサービス

理由と価格：

日本マイクロソフト株式会社におきまして、日本円の為替変動等に伴う法人向けソフトウェアおよびクラウドサービスの価格改定が行われ、2024年3月ご請求分（4月ご利用分）から提供価格を変更いたします。

M365 Std/12M 2024年4月～2025年3月ご利用分 26,277円

上記商品にて改定前に年間契約を締結いたします。

- ・ZOOMオプションについて（学術大会の開催準備）

〈3月まで、現在の契約 大規模ミーティング出席者の定員500名まで増員

¥ 6,700/月（←価格から3月まで50パーセント割引）

〈4月から2か月間、例年同様 ビデオ ウェビナー 定員500名 ¥ 10,700/月

上記内容にて契約見直しいたします。

### 高橋会長

若干の支出増になってしまいますが今年度の使用実績を鑑みて問題ないと判断します。

### 斎藤理事

会場における参加費の直接徴収について、会場

側に支払いが生じるとすれば、前提としているWEBによる事前入金者との実際の国会への入金額に差が出ることになってしまうが、今後どのように対応すべきか。

### 高橋会長

本会の事業は部会活動も含めて営利目的ではないのでこの件に関しては考慮する必要はないと判断する。

### 高橋会長

他に報告事項・協議事項等無いようなので以上をもちまして令和5年度第4回理事会を終了します。

※議長が理事会の終了を宣言したので、令和6年2月17日午後5時00分理事会を閉会。

議事録作成 河井 淑裕

# 令和6年度 静岡県放射線技師会事業計画(案)

開催予定日	令和6年度静岡県放射線技師会事業計画	開催日	令和5年度静岡県放射線技師会事業経過
令和6年	医療被ばく相談【常設】	令和5年	医療被ばく相談【常設】
4月		4月	
20日	第1回 理事会	22日	第1回 理事会
5月		5月	
26日	第13回 (公社)静岡県放射線技師会定時総会(富士市富士交流プラザ)	28日	第12回 (公社)静岡県放射線技師会定時総会(静岡市 あざれあ)
26日	第28回 静岡県放射線技師学術大会(富士市富士交流プラザ)	28日	第27回 静岡県放射線技師学術大会(静岡市 あざれあ)
6月		6月	
未定	第87回 (公社)日本診療放射線技師会定時総会	10日	第86回 (公社)日本診療放射線技師会定時総会
22日	第1回 告示研修(実技研修)	24日	第50回 放射線技師のためのセミナー
23日	第2回 告示研修(実技研修)		
7月		7月	
13日	第53回 放射線技師のためのセミナー	22日	第1回 告示研修(実技研修)
未定	第13回 フレッシュアップセミナー	23日	第2回 告示研修(実技研修)
未定	第3回 告示研修(実技研修)	28日	ジャーナルVol.33 No.1発行
未定	第4回 告示研修(実技研修)		
26日	ジャーナルVol.34 No.1発行		
8月		8月	
24日	第2回 理事会	19日	第38回 乳腺画像部会研修会
		26日	第2回 理事会
9月		9月	
未定	第42回 静岡ふれあい広場(静岡市)	29日～	第39回 日本診療放射線技師学術大会(熊本)
未定	第83回 超音波部会研修会	10月1日	
未定	第1回 放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会(東部)	2日	第12回 フレッシュアップセミナー
		9日	第1回 放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会(東部)
		10日	第41回 静岡ふれあい広場(静岡市)
		30日	第81回 超音波部会研修会
10月		10月	
未定	第1回 放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会(中部)	7日	第1回 放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会(中部)
未定	可美公園まつり(西部)	14日	第17回 静岡県MRI技術研究会
未定	第59回 アンギオ部会研修会	14日	第3回 告示研修(実技研修)
未定	第19回 静岡県MRI技術研究会	15日	第4回 告示研修(実技研修)
未定	第5回 告示研修(実技研修)	21日	可美公園まつり(西部)
未定	第6回 告示研修(実技研修)	21日	第57回 アンギオ部会研修会
26～27日	メデイメッセ2024(中部 ツインメッセ静岡)	28～29日	メデイメッセ2023(浜松 アクトシティ)
31日～	第1回 日本放射線医療技術学術大会		
11月3日	(第40回 日本診療放射線技師学術大会)(沖縄)		
11月		11月	
2日	秋季公開講演会	11日	西部地区会勉強会・第1回放射線セミナー・胃がん検診X線従事者講習会(西部)
未定	第40回 乳腺画像部会研修会	18日	原子力緊急時災害対策研修会・第51回放射線技師のためのセミナー
16日	原子力緊急時災害対策研修会・第54回 放射線技師のためのセミナー	18日	第5回 告示研修(実技研修)
29日	ジャーナルVol.34 No.2発行	19日	第6回 告示研修(実技研修)
未定	メデイメッセ2023(西部)	23日	秋季公開講演会
		24日	ジャーナルVol.33 No.2発行
		25～26日	第15回 中部放射線医療技術学術大会(福井県)

<p>12月</p> <p>7～8日 第16回 中部放射線医療技術学術大会(岐阜県)</p> <p>未定 第18回 医療安全セミナー</p> <p>21日 第3回 理事会</p> <p>未定 西部地区会勉強会・第1回放射線セミナー・胃がん検診X線従事者講習会(西部)</p> <p>未定 第7回 告示研修(実技研修)</p> <p>未定 第8回 告示研修(実技研修)</p>	<p>12月</p> <p>9日 第17回 医療安全セミナー</p> <p>16日 第3回 理事会</p> <p>16日 第7回 告示研修(実技研修)</p> <p>17日 第8回 告示研修(実技研修)</p>	<p>12月</p> <p>9日 第17回 医療安全セミナー</p> <p>16日 第3回 理事会</p> <p>16日 第7回 告示研修(実技研修)</p> <p>17日 第8回 告示研修(実技研修)</p>
<p>令和7年 1月</p> <p>未定 新春公開講演</p> <p>未定 アール祭</p> <p>未定 第55回 放射線技師のためのセミナー</p> <p>未定 第2回 放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会(東部)</p> <p>未定 原子力災害想定情報伝達訓練</p> <p>未定 基礎技術講習(MRI)</p>	<p>令和6年 1月</p> <p>13日 新春公開講演</p> <p>13日 アール祭</p> <p>21日 基礎技術講習(乳房撮影)</p> <p>27日 第8回 ワークライフバランス検討委員会研修会</p> <p>27日 第52回 放射線技師のためのセミナー</p> <p>27日 第2回 放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会(東部)</p> <p>30日 原子力災害想定情報伝達訓練</p>	<p>令和6年 1月</p> <p>13日 新春公開講演</p> <p>13日 アール祭</p> <p>21日 基礎技術講習(乳房撮影)</p> <p>27日 第8回 ワークライフバランス検討委員会研修会</p> <p>27日 第52回 放射線技師のためのセミナー</p> <p>27日 第2回 放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会(東部)</p> <p>30日 原子力災害想定情報伝達訓練</p>
<p>2月</p> <p>未定 第65回 東海四県放射線技師学術大会(岐阜県)</p> <p>15日 第4回 理事会</p> <p>未定 静岡県原子力防災実動訓練</p> <p>未定 第9回 ワークライフバランス検討委員会研修会</p> <p>未定 第41回 乳腺画像部会研修会</p> <p>未定 第9回 告示研修(実技研修)</p> <p>未定 第10回 告示研修(実技研修)</p>	<p>2月</p> <p>4日 第64回 東海四県放射線技師学術大会(愛知県)</p> <p>17日 第4回 理事会</p> <p>17日 第9回 告示研修(実技研修)</p> <p>18日 第10回 告示研修(実技研修)</p> <p>23日 第39回 乳腺画像部会・第82回超音波部会 合同研修会</p>	<p>2月</p> <p>4日 第64回 東海四県放射線技師学術大会(愛知県)</p> <p>17日 第4回 理事会</p> <p>17日 第9回 告示研修(実技研修)</p> <p>18日 第10回 告示研修(実技研修)</p> <p>23日 第39回 乳腺画像部会・第82回超音波部会 合同研修会</p>
<p>3月</p> <p>未定 中部地区総会</p> <p>未定 第2回 放射線セミナー(中部)</p> <p>未定 第2回 胃がん検診X線撮影従事者講習会(中部)</p> <p>未定 東部地区通常総会</p> <p>未定 第46回 西部地区総会</p> <p>未定 第2回 放射線セミナー(西部)</p> <p>未定 第2回 胃がん検診X線撮影従事者講習会(西部)</p> <p>未定 第20回 静岡県MRI技術研究会</p> <p>未定 静岡県放射線技師研修会</p> <p>21日 ジャーナルVol.34 No.3発行</p> <p>未定 第60回 アンギオ部会研修会</p>	<p>3月</p> <p>2日 中部地区総会</p> <p>2日 第2回 放射線セミナー(中部)</p> <p>2日 第2回 胃がん検診X線撮影従事者講習会(中部)</p> <p>2日 第46回 西部地区総会</p> <p>2日 第2回 放射線セミナー(西部)</p> <p>2日 第2回 胃がん検診X線撮影従事者講習会(西部)</p> <p>9日 東部地区通常総会</p> <p>16日 第18回 静岡県MRI技術研究会・第58回 アンギオ部会研修会</p> <p>16日 静岡県放射線技師研修会</p> <p>22日 ジャーナルVol.33 No.3発行</p>	<p>3月</p> <p>2日 中部地区総会</p> <p>2日 第2回 放射線セミナー(中部)</p> <p>2日 第2回 胃がん検診X線撮影従事者講習会(中部)</p> <p>2日 第46回 西部地区総会</p> <p>2日 第2回 放射線セミナー(西部)</p> <p>2日 第2回 胃がん検診X線撮影従事者講習会(西部)</p> <p>9日 東部地区通常総会</p> <p>16日 第18回 静岡県MRI技術研究会・第58回 アンギオ部会研修会</p> <p>16日 静岡県放射線技師研修会</p> <p>22日 ジャーナルVol.33 No.3発行</p>

太字の事業は、日本放射線技師会主催事業・■は土曜日・■は日曜・祭日

# 行事予定カレンダー

(2024年4月～2024年7月)

4 月		5 月		6 月		7 月	
1	月	1	水	1	土	1	月
2	火	2	木	2	日	2	火
3	水	3	金 憲法記念日	3	月	3	水
4	木	4	土 みどりの日	4	火	4	木
5	金	5	日 こどもの日	5	水	5	金
6	土	6	月 振替休日	6	木	6	土
7	日	7	火	7	金	7	日
8	月	8	水	8	土	8	月
9	火	9	木 第3回 常任理事会(事務所)	9	日	9	火 編集委員会(二校)
10	水	10	金	10	月	10	水
11	木 第1回 常任理事会(事務所)	11	土	11	火	11	木 第7回 常任理事会(事務所)
12	金	12	日	12	水	12	金
13	土	13	月	13	木 第5回 常任理事会(事務所)	13	土 第53回 放射線技師のためのセミナー
14	日	14	火	14	金	14	日
15	月	15	水	15	土	15	月 海の日
16	火	16	木	16	日	16	火
17	水	17	金	17	月	17	水
18	木	18	土	18	火	18	木
19	金	19	日	19	水	19	金
20	土 第1回 理事会	20	月	20	木	20	土
21	日	21	火	21	金	21	日
22	月	22	水	22	土 第1回告示研修(実技研修)	22	月
23	火	23	木 第4回 常任理事会 (WEB会議)	23	日 第2回告示研修(実技研修)	23	火
24	水	24	金	24	月	24	水
25	木 第2回 常任理事会 (WEB会議)	25	土	25	火 編集委員会(初校)	25	木 第8回 常任理事会 (WEB会議)
26	金	26	日 第13回(公社)静岡県放射線技師会 定時総会 第28回静岡県放射線技師学術大会	26	水	26	金 編集委員会(発送)
27	土	27	月	27	木 第6回 常任理事会 (WEB会議)	27	土
28	日	28	火	28	金	28	日
29	月 昭和の日	29	水	29	土	29	月
30	火	30	木	30	日	30	火
		31	金			31	水

\*都合により変更になる場合があります。県技師会・各地区会の広報誌もしくは静岡県技師会ホームページにてご確認ください。  
\*日放技主催の生涯学習セミナー・ADセミナー等は、JARTまたはNetwork Nowをご覧ください。

# 編集後記

- \* Vol.219を持ちまして私が2度目に編集理事を担当する最後のジャーナルとなりました。お忙しい中原稿を作成して頂いた多くの理事、役員、部会長など関係各位の皆様のご助力で無事に発行することができました。そして各編集委員の皆様には、校正および発送作業において多大なる協力を頂きました。今期も長いようで短い充実した2年間を再び過ごすことが出来ました。それでは改めて皆様ご協力ありがとうございました。来年度からは再び編集委員となり、次期編集理事をサポートしていきますので、何卒よろしく願いいたします。 常葉
- \* 本日は1月に開催されましたアール祭で起きた伝説について書かせて頂きます。会も終盤に差し掛かり中締めが佐藤副会長によって始まりました。佐藤副会長と言えば必ずウケを狙って、何か差し込んできて逆にスベルで有名です。そんな佐藤さんでも流石に今日は畏まった会なので、大人しくするだろうと思っていたその時です、語尾が急に「あ〜る」になったのです。ん？どうした？会場に居られた方は全員そう思ったはずです。皆さんはお気づきになられましたか？そうです。アール祭にかけて語尾を「あ〜る」にしたのです。そして珍しく爆笑でした。あの場面でやれる佐藤さんは、やはり天才です。めちゃくちゃ尊敬します。伝説が生まれた日に立ち会う事ができて本当に良かったです。 福地
- \* この場で我が家の野菜栽培・収穫情報をお知らせしてきましたが、今回で最後になってしまいました。先日、やっと大きくなりかけた玉ねぎをサルにやられてしまいました。悲しいです。もうすぐタケノコの最盛期を迎えます。毎日掘らないと大変なことになるので仕事前に1時間ほど掘ってから出勤しています。この時期は、タケノコの事が気になって仕事に集中できません。今回も無人販売を行って一攫千金を狙います。常任理事に続き編集委員合わせて4年間務めさせてもらいました。 堀
- \* 編集委員を12年ほどやらせていただきました。県技師会の事務所にも何回も足を運び、他施設の技師の方ともたくさん知り合いになることができました。このジャーナルの発送をもって編集委員を一区切りとさせていただき、今後は1歳のチビのお世話に注力していこうと思います。微力でしたが技師会の活動に貢献できたかと思えます。今後も技師会のイベントやジャーナルが届くことを楽しみにしています。 杉山
- \* 先日、5年ぶりに大学時代の友人と会いました。卒業してから約20年も経つのに大学時代の思い出話から近況報告など話は尽きず、寝る間も惜しんで麻雀を打ち、楽しい時間はあっという間に過ぎました。今回でジャーナルを担当するのが最後になりました。編集委員会のメンバーには感謝しかありません。またいつかこのメンバーで会いましょう。4年間、本当にありがとうございました。 遠藤
- \* 来年度から編集委員の新しいスタッフが加わります。70歳になったので、そろそろと思いましたが、もう少し頑張ってみます。健康&感謝を忘れないで仕事も元気に・・・。 三輪

会誌「しずおかジャーナル」Vol.33 No.3 2024 令和6年3月22日発行

発行所 : 〒420-0064 静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202

公益社団法人 静岡県放射線技師会

発行人 : 高橋 真

編集者 : 常葉 勇介

印刷所 : 松本印刷株式会社 〒420-0054 静岡市葵区南安倍1丁目1番18号

TEL(054)255-4862 FAX(054)253-2309

## 事務所案内

執務時間 : 月曜日～金曜日 午前10時より午後1時まで TEL(054)251-5954

執務時間外は留守番電話にてお受けいたします。 FAX(054)251-9690

URL <http://shizuhogi.jp>

E-mail address : [info-shizuokahousya@shizuhogi.jp](mailto:info-shizuokahousya@shizuhogi.jp)